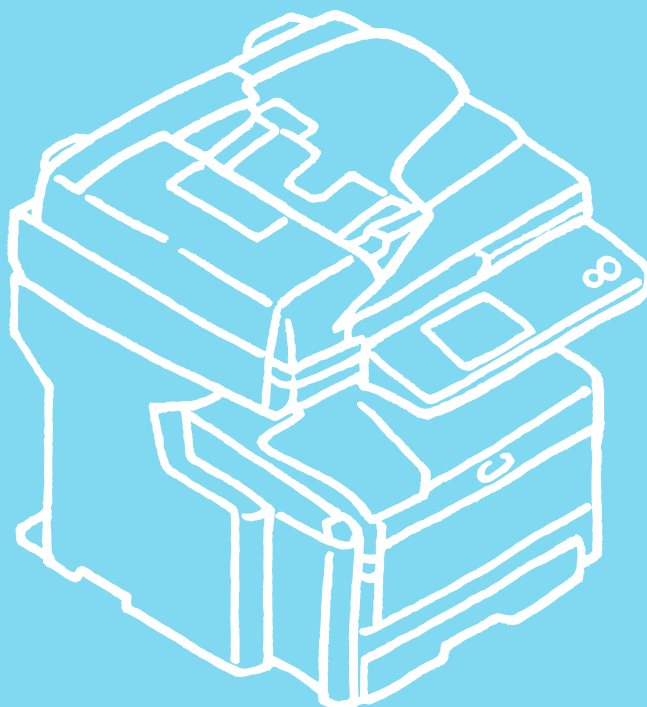
OKI

ユーザーズマニュアル

プリンター、コピー、ファクス、スキャナーを使ってみよう

基本操作編

MC852dn
MC862dn
MC862dn-T

COREFIDO コアフィード

○本マニュアルは、いつでも見られるように大切にお手元に保管してください。

マニュアルの構成

本製品には以下のユーザーズマニュアルが付属しています。

電子のマニュアルは、ソフトウェア DVD-ROM に格納されています。

Step 1 最初にお読みください

・冊子
・電子

本体を設置しよう

セットアップ編

本機を安全に使用するための注意事項を記載しています。ご利用前に必ずお読みください。
また、本機の設置手順や用紙のセット方法など、使用する前に必要な準備について説明しています。

- 製品を確認する
- 本機を設置する
- 電源を入れる/切る
- 用紙について
- 原稿について
- 操作パネルを使用して文字を入力する
- 各機能を使用する

Step 2 本機のセットアップが終了したあとにお読みください

・冊子
・電子

プリンター、コピー、ファクス、スキャナーを使ってみよう

基本操作編（本書）

各機能を使用するための設定と、基本的な使い方について説明しています。
また、アドレス帳の登録方法についても説明しています。

- プリントする
- コピーする
- ファクスする
- スキャンする
- 本機で利用できる ユーティリティーソフトウェア

Step 3 目的に応じてお読みください

・電子

とことん使いこなそう

便利な機能/本体の設定編

集約や仕分けなど、各機能の便利な使い方を説明しています。ジョブメモリー、カラー調整、ユーザー認証、アクセス制御など、高度な機能についても説明しています。
また、操作パネルから設定できる項目や、ネットワークに関する設定についても説明しています。

- いろいろなプリントのしかた
- いろいろなコピーのしかた
- いろいろなファクスのしかた
- いろいろなスキャンのしかた
- よく使う機能や設定の登録
- カラー調整
- 機器設定/レポート印刷
- ユーザー認証・アクセス制御
- メニュー一覧・装置仕様

・冊子
・電子

わからないときやお手入れのときに

困ったときには/日々のメンテナンス編

用紙や紙がつまったとき、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法を説明しています。消耗品やメンテナンスユニットの交換方法、また清掃などの日常のお手入れについても説明しています。
付録に本機の仕様が記載されています。

- 困ったときには
- メンテナンス
- 消耗品/オプション/推奨紙

・電子

パソコンから管理/設定しよう

ユーティリティーソフトウェア編

Windows や Macintosh で利用できるユーティリティーソフトウェアのインストール方法や使い方を説明しています

- 本機で利用できる ユーティリティーソフトウェア
- Windows/ Macintosh用ユーティリティー
- Windowsユーティリティー
- Macintoshユーティリティー

マニュアルについて

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- Microsoft® Windows® 7 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows 7 (64bit 版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows Vista® 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista (64bit 版) ※
- Microsoft® Windows Server 2008 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008 (64bit 版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → Windows XP (x64 版)※
- Microsoft® Windows Server® 2003　x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003 (x64 版) ※
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版 → Windows 7 ※
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista※
- Microsoft® Windows Server 2008 operating system 日本語版 → Windows Server 2008※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → Windows XP※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003 の総称 → Windows
- PostScript3 エミュレーション→ PSE、POSTSCRIPT3 エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION

※ 特に記載がない場合は、Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003 には 64bit 版も含みます。（Windows Server 2008 には、64bit 版、および Windows Server 2008 R2 も含みます。）

本書では、特に記載のない限り、Windows の場合は Windows 7、Mac OS X の場合は Mac OS X 10.7、本機は MC862dn を例にしています。

お使いの OS やモデルによって、本書の記載と異なることがあります。

マーク

! 注

- 本機を正しく動作させるための注意や制限です。誤った操作をしないため、必ずお読みください。

メモ

- 本機を使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。お読みになることをお勧めします。

参照

- 参照ページです。詳しい情報や関連する情報を知りたいときにお読みください。

⚠警告

- この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意

- この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

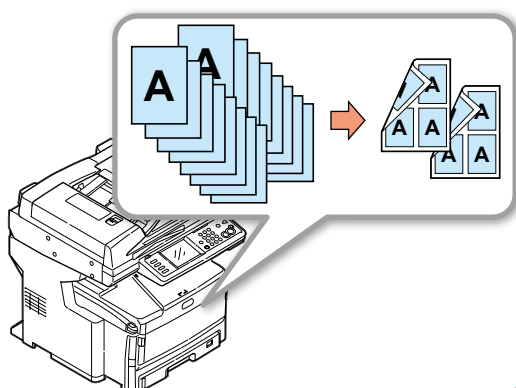
前へ 次へ 戻る 索引へ 検索する

目次

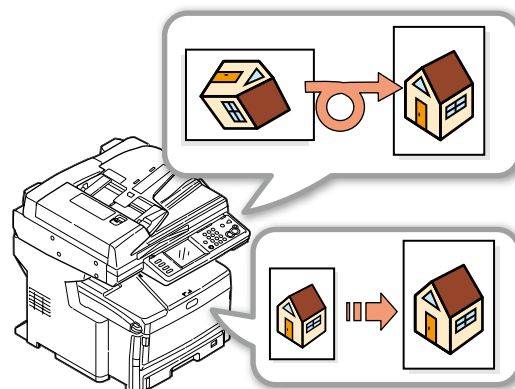
こんなことができます

用紙を節約してコピーできます

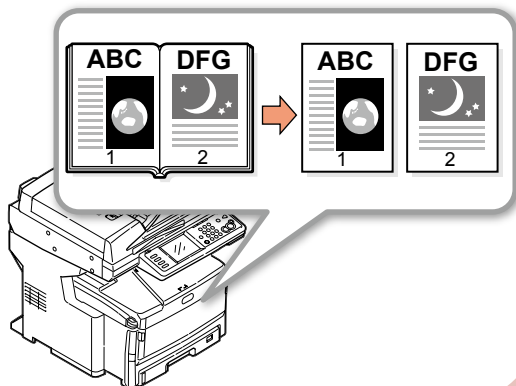
両面コピー機能や集約コピー機能を使うと、複数枚の原稿を 1 枚の用紙にまとめることができます。たとえば 16 枚の片面原稿を片面に 4 枚ずつ集約して両面コピーすると、片面コピーしたときに比べて 14 枚の用紙を節約できます。

（本書 51 ページ）
（便利な機能 / 本体の設定編）

送信原稿や受信原稿のデータを自動的に回転します

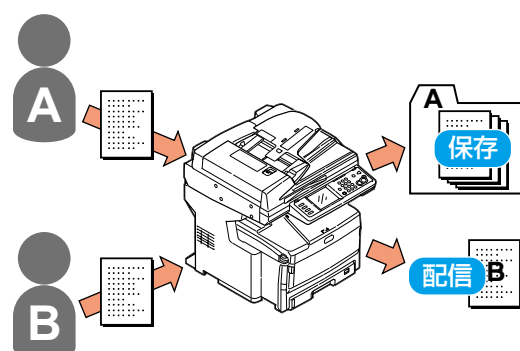
原稿をファクス送信するときに画像を回転したり、受信したファクス文書と用紙の方向が違う場合でもセットしてある用紙から最適な用紙を自動的に選択したりします。用紙サイズや原稿の向きを気にせずに送受信できます。

（便利な機能 / 本体の設定編）

見開き原稿を 1 枚ずつわけてコピーできます

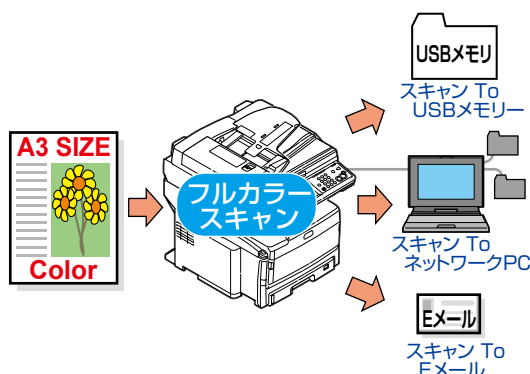
本や雑誌などの見開き原稿を、ページごとに 1 枚ずつわけてコピーできます。見開きで A3 サイズの原稿を、ページごとに A4 サイズのコピーにしたいときに、ページごとに原稿を置き直す必要がありません。

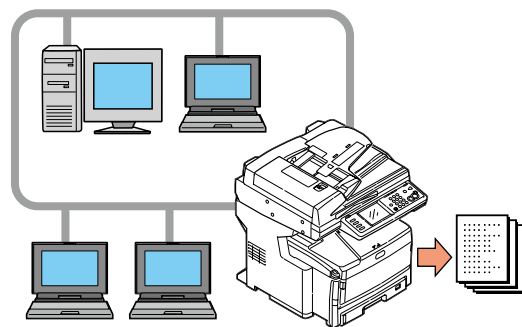
（便利な機能 / 本体の設定編）

受信したファクスの配信や送受信したメールの添付ファイルの保存ができます

自動配信を設定すると、特定の宛先からファクスや E メールを受信したときに、受信したファクスやメールの添付ファイルを配信します。
外出中でも受信したファクスをノートパソコンに送信して確認することができます。
通信データ保存を設定すると、送受信したファクスや E メールの添付データをあらかじめ設定した保存先に保存できます。

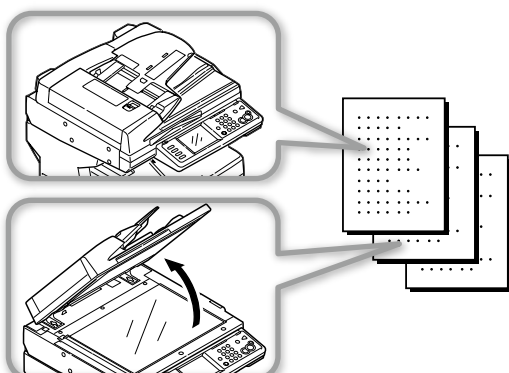
（便利な機能 / 本体の設定編）

紙の文書を電子化できます

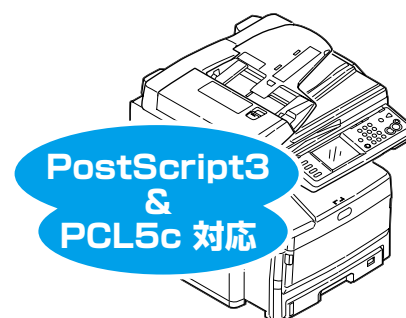
本機のフルカラースキャナーで、A3 サイズまでの原稿を電子化できます。読み取ったデータはコンピューターの共有フォルダーや USB メモリーに保存したり（スキャン To ネットワーク PC、スキャン To USB メモリー）、添付ファイルとしてメール送信したりできます（スキャン To E メール）。

（本書 133 ページ）

ネットワークプリンターとして活用できます

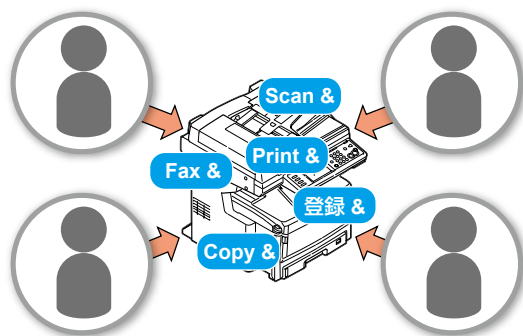
様々なアプリケーションから高画質の高速プリントができます（A4< ヨコ > のとき、カラー印刷で MC862：26 枚 / 分、MC852：22 枚 / 分、モノクロ印刷で 34 枚 / 分）。ネットワークに接続して複数のパソコンから印刷できるため、オフィスの省スペース化とコストダウンを実現します。

簡単に原稿を読み取れます

自動原稿送り装置で原稿を読み取ったあと、ガラス面で原稿を読み取ったり、またはガラス面で原稿を読み取ったあとに自動原稿送り装置で原稿を読み取ったりできます。ステープルされている原稿とステープルされていない原稿が混じっているときなどに便利です。

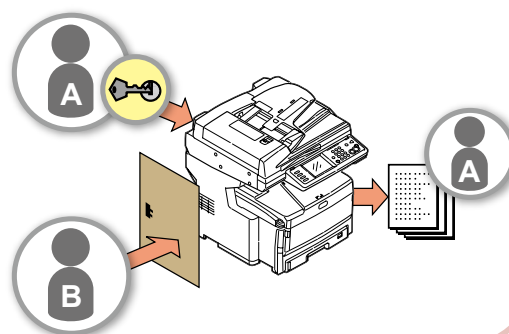
（本書 44 ページ）
（便利な機能 / 本体の設定編）

様々なアプリケーションから印刷できます

PostScript3 エミュレーションと PCL5c エミュレーションを搭載しており、幅広いアプリケーションから印刷できます。

複数の動作を同時に実行できます

コピーしながらファクスを送信する、スキャンしながらコンピューターから印刷するなど、複数の動作を同時に実行できます。そのため、複数のユーザーが同時に本機を使用できます。

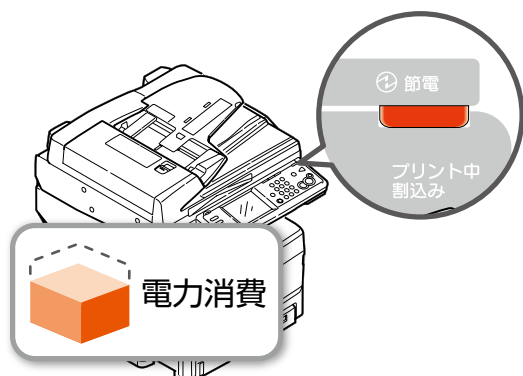
（セットアップ編）

本機を使用できるユーザーやユーザーが使用できる機能を限定します

ユーザー認証を設定すると、管理者が許可したユーザーだけが本機を使用できます。使用者を限定することで不特定多数の人物が使用する機会が減り、情報の流出を防ぐことができます。
アクセス制御を設定すると、ユーザーごとに使用できる機能を設定できます。使用できる印刷機能を制限することで不要な印刷をする機会が減り、トナーや用紙の消費を抑えることができます。

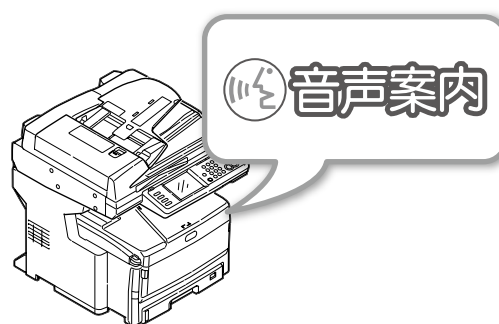
（便利な機能 / 本体の設定編）

本機を使用していないときの電力消費を抑えます

しばらく本機を使用しないと自動的に節電モード（パワーセーブモード）になり、電力の消費を抑えることができます。<節電>キーを押して手動で節電モードにすることもできます。節電モード中は、<節電>キーが赤色に点灯します。

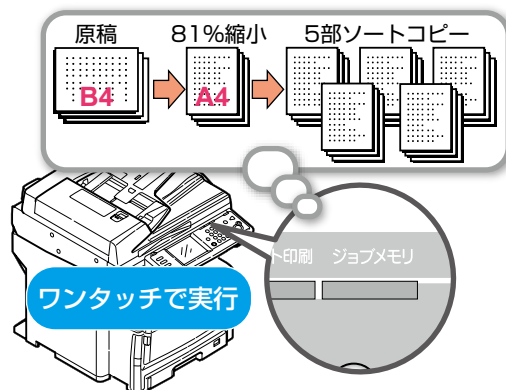
（セットアップ編）

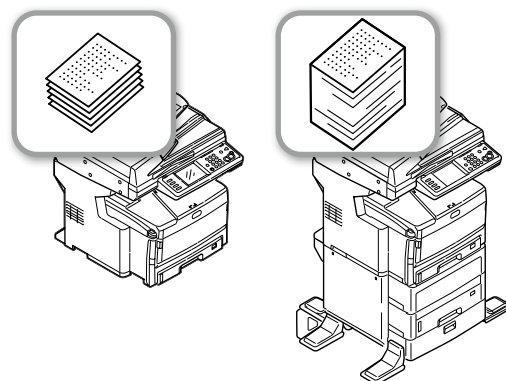
COPY FAX SCAN

操作方法を音声で説明します

短縮ダイヤルの登録方法や紙づまりの解除方法などを、パネルの表示に合わせて音声で説明します。音声案内ができる場面では、<音声案内>キーが点滅します。
画面やマニュアルを見ながらの操作が苦手な方でも簡単に操作できます。

（セットアップ編）

よく使用する機能や設定を登録できます

・ジョブメモリキー
定期的に行う一連の作業をジョブメモリキーに登録できます。
「複数の B4 原稿を A4 に 81%縮小してから、ソートしたコピーを 5 セットつくる」など、複数のキー操作をまとめてジョブメモリキーに登録しておくと、ワンタッチで実行できます。何度もキー入力する手間を省き操作を簡略化できます。
・ご愛用スイッチキー
よく使用する機能を画面のご愛用スイッチに割り当てることができます。
両面コピーや集約コピーなど、応用機能キーを押して設定する機能をご愛用スイッチに登録しておくと、キーを操作する回数が減ります。

（便利な機能 / 本体の設定編）

給紙できる用紙の量やメモリーサイズを増やせます

オプションの増設トレイユニットや増設メモリーを取り付けると、大量の連続印刷や複雑なデータの印刷をスムーズに実行できます。

1
プリントする

便利なプリンタ機能

● Windows マシンや Macintosh マシンから印刷できます

文書を印刷する P.31
MP トレイから印刷する P.33

●原稿の画像サイズを大きくしたり小さくしたりできます

「ページを拡大 / 縮小する」
「複数枚の用紙に拡大して印刷する（ポスター印刷）」
「小冊子用にページを並べ替えて印刷する（製本印刷）」

●用紙やトナーを節約できます

「1 枚の用紙に複数のページを印刷する（マルチページ印刷）」
「両面印刷する」
「トナーを節約して印刷する」

●はがきや封筒、OHP シートなどに印刷できます

「はがき、往復はがき、封筒に印刷する」
「ラベル紙、OHP フィルムに印刷する」
「任意の用紙サイズに印刷する（カスタムページ / 長尺印刷）」

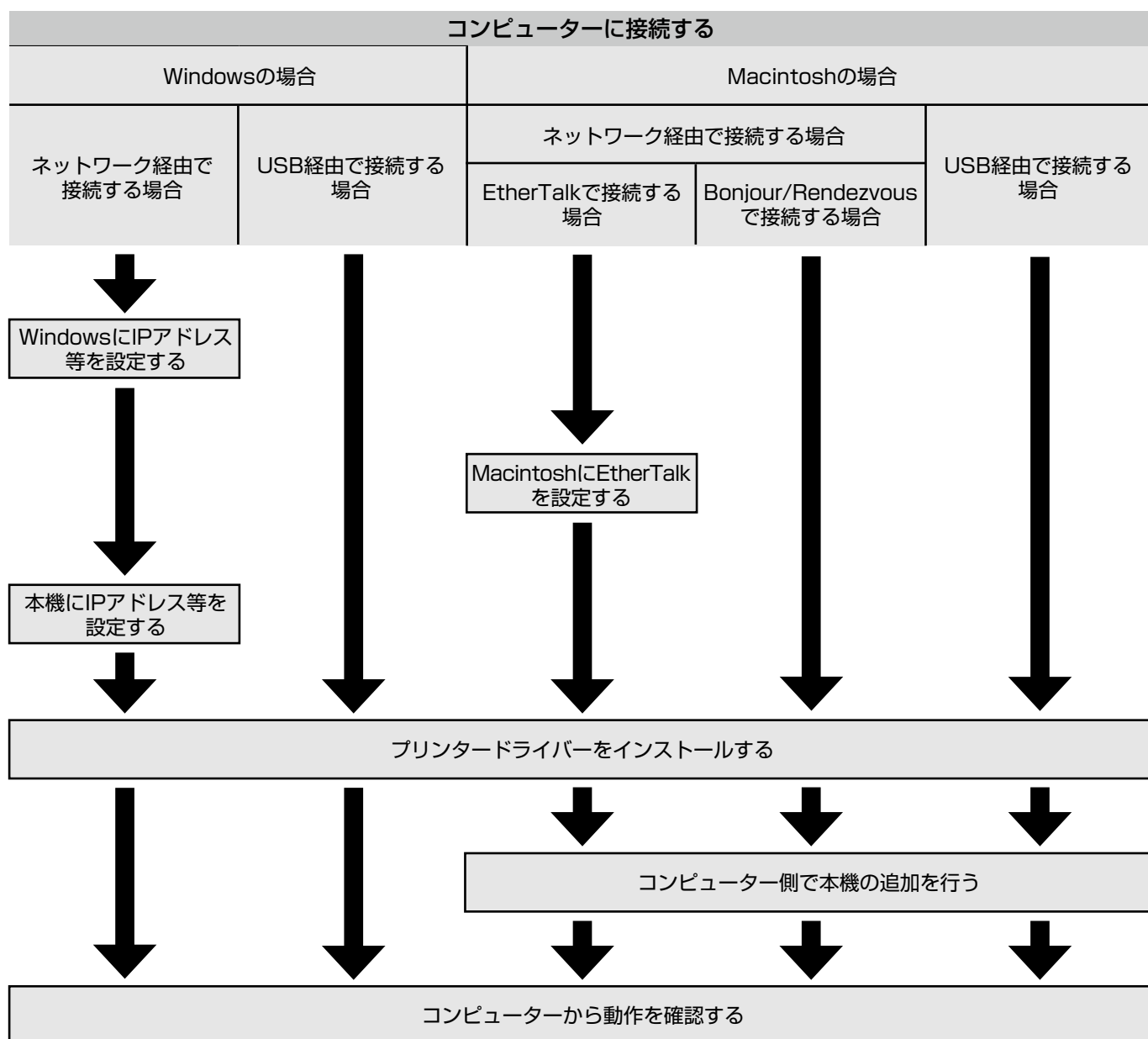
●用紙を仕分けしたり、印刷の仕上がりを変更できます

「部単位で印刷する」
「写真をより鮮明に印刷する（フォトモード）」

●用紙を仕分けしたり、印刷の仕上がりを変更できます

「パスワードを入力して印刷する（認証印刷）」
「機密文書を印刷する（暗号化認証印刷）」

かぎ括弧がついている項目は、便利な機能 / 本体の設定編を参照してください。

コンピューターにドライバーをインストールする流れ

動作環境

Windows の動作環境

- Windows 7/Windows 7 (64bit 版) 日本語版
- Windows Server 2008 R2 日本語版
- Windows Vista/Windows Vista (64bit 版) 日本語版
- Windows Server 2008/Windows Server 2008(64bit 版) 日本語版
- Windows XP/Windows XP (x64 版) 日本語版
- Windows Server 2003/Windows Server 2003 (x64 版) 日本語版

注

- Windows 3.1/NT3.51/NT4.0/Me/98/95/2000 では動作しません。
- プリンタードライバーのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

Macintosh の動作環境

注

- プリンタードライバーのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

- MacOS X 10.3.9 ～ 10.7 日本語版

Windows から印刷するための準備

ネットワーク経由でセットアップする（Windows）

セットアップの流れ

本機とコンピューターの電源を ON にします。

コンピューターに IP アドレス等を設定します。

本機に IP アドレス等を設定します。

本機に添付の「ソフトウェア DVD-ROM」からドライバー、Standard TCP/IP Port をインストールし、ネットワークプリンターを設定します。

セットアップする

ネットワーク上に DHCP サーバーや BOOTP サーバーがない場合、手動でコンピューターや本機に IP アドレスを設定する必要があります。

また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルーターメーカーより決められた固有の IP アドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピューターや本機に IP アドレスを設定する必要があります。

本機に設定されている IP アドレスは、機器設定印刷を行なうか、操作パネルの<機器設定>キーを押し、［装置情報］ - ［[ネットワーク］ で確認します。

参照

- 機器設定印刷については、便利な機能 / 本体の設定編「装置の設定に関するリストを印刷する」をご覧ください。

注

- IP アドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりインターネットに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、インターネット接続しているプロバイダに、本機に設定できる IP アドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバー（DHCP など）は、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、インターネット接続しているプロバイダやルーターメーカーに確認してください。
- セットアップには管理者の権限が必要です。
- 「Windows にセットアップします」の記述は、特に表記がない限り、Windows 7 での操作手順を記載しています。OS によって画面や操作手順が異なる場合があります。

メモ

- 本機はネットワーク Plug&Play に対応しています。接続しているコンピューターがすべて Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008/Windows Server 2003 の場合や、接続しているルーターがネットワーク Plug&Play に対応している場合は、ネットワーク上にサーバーが存在しなくても自動的に IP アドレスを設定します。コンピューターと本機に IP アドレスを手動で設定する必要はありませんので、手順 4 からセットアップしてください。
- DHCP 等を使用して本機の IP アドレスを自動で割り当てている場合、本機を再起動したときに IP アドレスが変更され、ネットワークにつながらないことがあります。このような場合は、OKI LPR ユーティリティーを使用して IP アドレスを設定し直してください。詳しくは、ユーティリティーソフトウェア編「IP アドレスを自動的に設定する」を参照してください。
- コンピューター 1 台と本機 1 台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。
  - コンピューター

    IP アドレス : 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか

    サブネットマスク : 255.255.255.0

    ゲートウェイ : 0.0.0.0（使用しません）

    DNS: 使用しません
  - 本機

    IP アドレス ：192.168.0.1 ～ 254 のいずれか（コンピューターと異なるもの）

    サブネットマスク : 255.255.255.0

    ゲートウェイ : 0.0.0.0

    IP アドレス設定 : 手動

    LAN: SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

IP アドレス : 192.168.0.3（コンピューター）、
192.168.0.2（本機）

サブネットマスク : 255.255.255.0

ゲートウェイアドレス : 192.168.0.1

1 本機とコンピューターの電源を ON にします。

2 Windows に IP アドレス等を設定します。

注

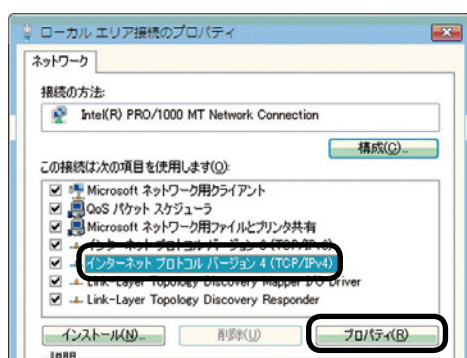
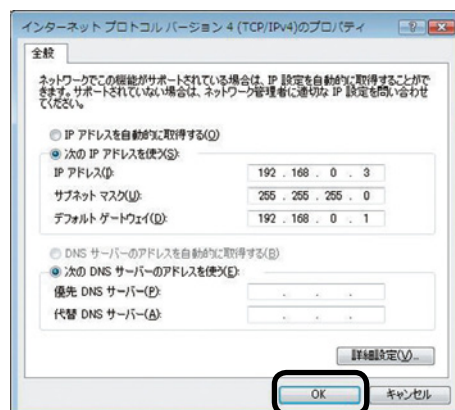
- すでに Windows に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 3 へ進みます。

(1) Windows を起動します。

(2)［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］を選択します。

(3)［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。

(4)［ローカルエリア接続］をクリックし、「ローカルエリア接続の状態」画面の「プロパティ」をクリックします。

(5)［インターネット　プロトコル　バージョン4(TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

(6) IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーを入力し、［OK］をクリックします。

メモ

- DHCP サーバーから IP アドレスを自動取得する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、IP アドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイや DNS サーバーを使用しない場合は、入力しません。

(7)［ローカルエリア接続］を閉じます。

3 本機に IP アドレス等を設定します。

メモ

- すでに本機に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 4 へ進みます。

(1) 本機の電源が ON で、Windows が起動していることを確認し、本機に添付の「ソフトウェア DVD-ROM」をセットします。

(2)［自動再生］が表示されたら、［Setup.exe の実行］をクリックします。

(3)［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

(4)「使用許諾契約」をよく読み、「同意する」をクリックします。

(5) 環境についてのアドバイスを読み、「次に進む」をクリックします。

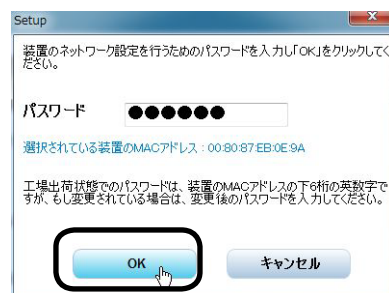
(6) 設定を行う装置を選択し、「次に進む」をクリックします。

(7)「ネットワーク接続」を選択し、「次に進む」をクリックします。

(8)「装置のネットワーク設定」をクリックします。

(9) 装置の検索が開始されます。対象の装置が検出されたら一覧から装置を選択し、「次に進む」をクリックします。

(10) ネットワークの設定情報を入力し、「設定」をクリックします。

(11) ネットワーク設定を行うためのパスワードを入力し「OK」をクリックします。

(12) 設定が完了すると装置は自動的に再起動し、画面はメニュー選択画面に戻ります。メニュー画面で「終了」をクリックすると終了します。

4 プリンタードライバーをインストールします。

(1) 本機の電源が ON で、Windows が起動していることを確認し、本機に添付の「ソフトウェア DVD-ROM」をセットします。

(2)［自動再生］が表示されたら、［Setup.exe の実行］をクリックします。

(3)［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

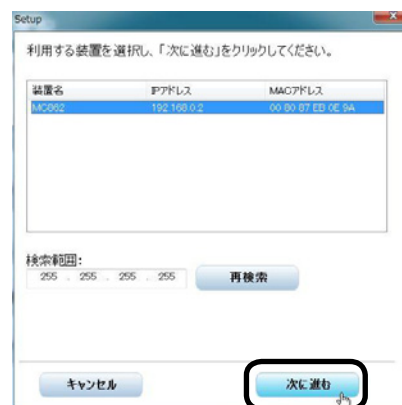
(4)「使用許諾契約」をよく読み、「同意する」をクリックします。

(5) 環境についてのアドバイスを読み、「次に進む」をクリックします。

(6) 利用する装置を選択し、「次に進む」をクリックします。

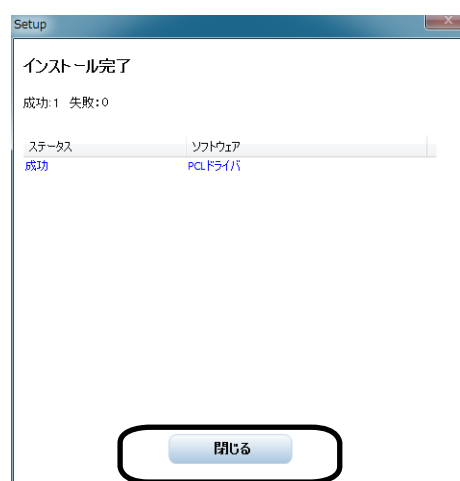
(7)「ネットワーク接続」を選択し、「次に進む」をクリックします。

(8)「おまかせインストール」をクリックします。

(9) 装置の検索が開始されます。対象の装置が検出されたら一覧から装置を選択し、「次に進む」をクリックすると、インストールが始まります。

(10) インストールが完了したら「閉じる」をクリックします。

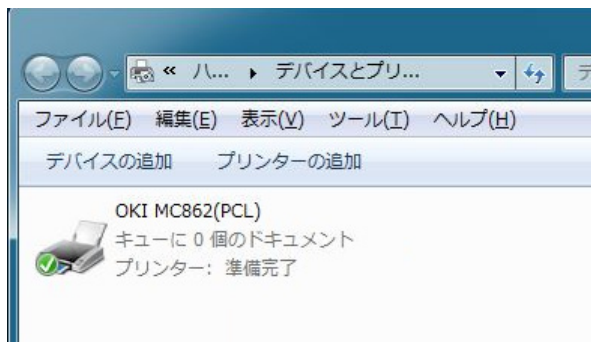
5 メニュー画面で「終了」をクリックすると終了します。

こんなことができます
1 プリントする 準備 使い方
2 コピーする
3 ファクスする 準備 使い方
4 スキャンする 準備 使い方
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

こんなことができます
1 準備 使い方 プリントする
2 コピーする
3 準備 使い方 ファクスする
4 準備 使い方 スキャンする
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

6 ［スタート］-［コントロールパネル］-［デバイスとプリンター］を選択します。

Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］を選択します。

Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。

［デバイスとプリンター］または［プリンタと FAX］フォルダにアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

USB 経由でセットアップする（Windows）

PCL プリンタードライバーをインストールする

注

- コンピューターの管理者の権限が必要です。
- 特に表記がない限り、Windows 7 での操作手順を記載しています。OS によって画面や操作手順が異なる場合があります。

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

本機の電源が ON になっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、［キャンセル］をクリックし、本機の電源を OFF にしてから次に進んでください。

2 本機に添付の「ソフトウェア DVD-ROM」をセットします。

3 ［自動再生］が表示されたら、［Setup.exe の実行］をクリックします。

4 ［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

5 「使用許諾契約」をよく読み、「同意する」をクリックします。

6 環境についてのアドバイスを読み、「次に進む」をクリックします。

7 利用する装置を選択し、「次に進む」をクリックします。

8 「USB 接続」を選択し、「次に進む」をクリックします。

9 「おまかせインストール」をクリックするとインストールが始まります。

10 インストールの途中で下の画面が表示されたら、装置と PC を USB ケーブルで接続し、装置の電源を ON にします。

11 インストールが完了したら「閉じる」をクリックします。

12 メニュー画面で「終了」をクリックすると終了します。

13 [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。

Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。

Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。

［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダにアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

Mac OS X から印刷するための準備

ネットワーク経由でセットアップする（Mac OS X）

注

- Mac OS X、プリンタードライバーのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

印刷する方法（プロトコル）を決める

Mac OS X から印刷するためには、EtherTalk を使用する方法、Bonjour（ボンジュール）/Rendezvous（ランデブー）を使用する方法の 2 種類があります。

まず、どちらを利用するか決めます。

印刷する方法	特　長
EtherTalk	Mac OS X が標準で持っている機能を使用します。
Bonjour（ボンジュール）Rendezvous（ランデブー）	Mac OS X 10.4 ～ (Mac OS X 10.3.9 では Rendezvous) が標準で持っている機能を使用します。EtherTalk が使用できないネットワークでは、こちらを使用します。

設定の流れ

印刷する方法によって、セットアップの手順が異なります。

EtherTalk

Macintosh に Ether Talk を設定します。

プリンタードライバーをインストールします。

ネットワークプリンターを作成します。

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方は、「Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方」(P.22) の「■ EtherTalk プロトコルを利用する」へ進みます。

Mac OS X 10.5 以降をお使いの方は、「Mac OS X 10.5 以降をお使いの方」(P.25) の「■ EtherTalk プロトコルを利用して装置の設定をする」へ進みます。

Bonjour
Rendezvous

プリンタードライバーをインストールします。

ネットワークプリンターを作成します。

Mac OS X 10.3.9～10.4.11 をお使いの方は、「Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方」(P.22) の「■ Bonjour (Rendezvous) を利用する」へ進みます。

Mac OS X 10.5 以降をお使いの方は、「Mac OS X 10.5 以降をお使いの方」(P.25) の「■ Bonjour を利用して装置の設定をする」へ進みます。

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方

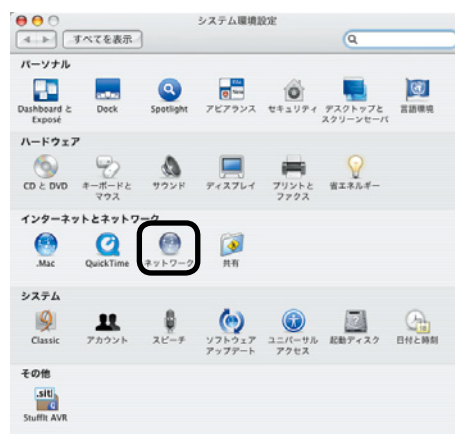
■ EtherTalk プロトコルを利用する

以下の説明は、Mac OS X 10.4.11 を例にしています。

1 本機の電源を ON にします。

2 Macintosh を設定します。

(1) Macintosh を起動します。

(2) ［システム環境設定］-［ネットワーク］を選択します。

(3) ［表示］-［ネットワークポート設定］を選択し、［内蔵 Ethernet］にチェックがついていることを確認します。

(4) [表示]-[内蔵 Ethernet]-[AppleTalk]タブを選択し、[AppleTalk 使用]にチェックがついていることを確認します。

3 プリンタードライバーをインストールします。

注

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

(1) 「ソフトウェア DVD-ROM」を Macintosh にセットします。

(2) [OKI] > [Drivers] > [PS] フォルダー内の [Installer for Mac OSX] をダブルクリックします。

(3) 画面の指示に従い、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

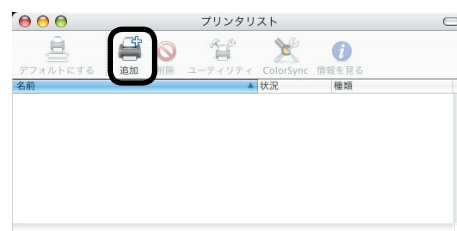
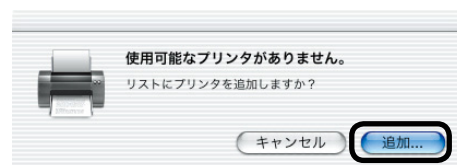
4 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

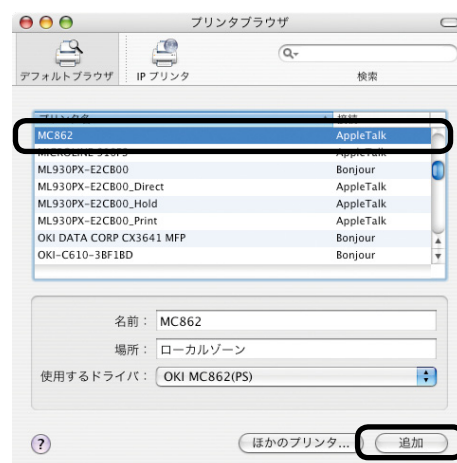
注

- プリンタ設定ユーティリティが起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

(1) [移動] メニューから[ユーティリティ]を選択し、[プリンタ設定ユーティリティ]をダブルクリックします。

(2) [追加] をクリックします。

メモ

- 新規に追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、[追加] をクリックします。

(3) [AppleTalk] を選択します。

(4) 装置名を選択し、[追加] をクリックします。

(5) [プリンタリスト] の名前と種類の欄に、追加した装置名、およびプリンタードライバー名が表示されたことを確認し、[プリンタ設定ユーティリティ] を閉じます。

■ Bonjour（Rendezvous）を利用する

注

● Mac OS X 10.3 ～ 10.3.8 では使用できません。

1 本機の電源を ON にします。

2 Macintosh を設定します。

(1) Macintosh を起動します。

(2) ［システム環境設定］-［ネットワーク］を選択します。

(3) ［表示］-［ネットワークポート設定］を選択し、［内蔵 Ethernet］にチェックがついていることを確認します。「Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方」（P.22）の「■ EtherTalk プロトコルを利用する」の手順 2 を参照してください。

3 プリンタードライバーをインストールします。

注

● ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

(1)「ソフトウェア DVD-ROM」を Macintosh にセットします。

(2) ［OKI］＞［Driver］＞［PS］フォルダー内の［Installer for Mac OSX］をダブルクリックします。

(3) 画面の指示に従い、管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

4 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

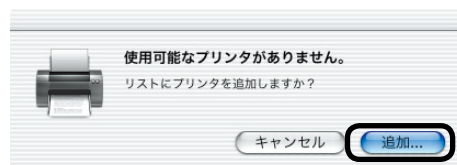
注

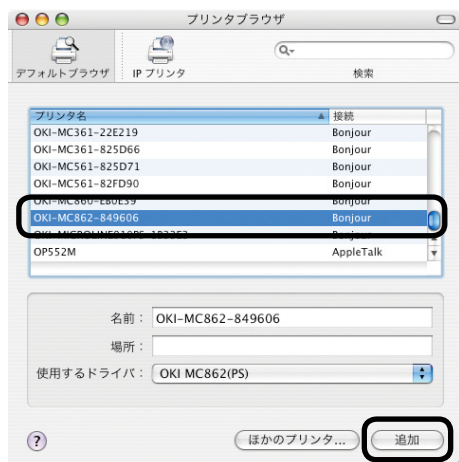
● プリンタ設定ユーティリティが起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

(1) ［移動］メニューから［ユーティリティ］を選択し、［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

(2) ［追加］をクリックします。

メモ

● 新規に追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

(3) Mac OS X 10.3.9 では［Rendezvous］を選択します。

(4) 装置名を選択し（Mac OS X 10.3.9 では、［プリンタの種類］で［Oki］を選択し、機種名のリストから装置名を選択します）、［追加］をクリックします。

メモ

- プリンター名は「OKI-MC8x2」+「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
- MAC アドレスは、操作パネルの［機器設定］キーを押し、［装置情報］-［ネットワーク］を押すと、表示されます。

(5) ［プリンタリスト］の名前と種類の欄に、追加した装置名、およびプリンタードライバー名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

Mac OS X 10.5 以降をお使いの方

1 本機の電源を ON にします。

2 プリンタードライバーをインストールします。

参照

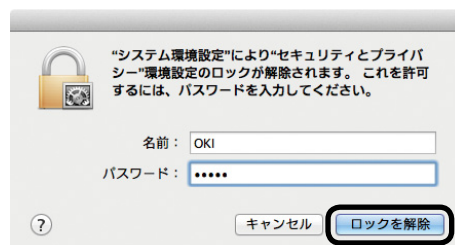
- Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方は、「Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方」（P.22）をご覧ください。

注

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

(1) 「ソフトウエア DVD-ROM」を Macintosh にセットします。

(2) ［OKI］＞［Drivers］＞［PS］フォルダー内の［Installer for Mac OSX］をダブルクリックします。

(3) 画面の指示に従い、管理者パスワードを入力し、［ロックを解除］をクリックします。

■EtherTalk プロトコルを利用する

参照

- Bonjour をご利用の方は、「■ Bonjour を利用する」に進んでください。

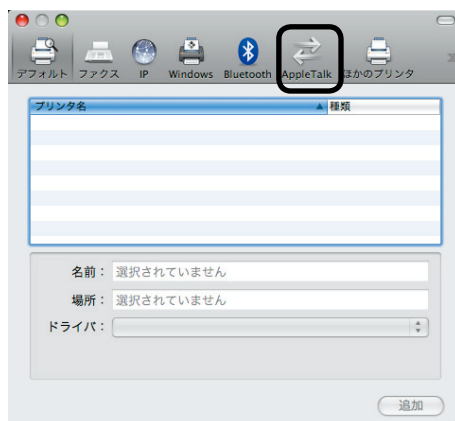
注

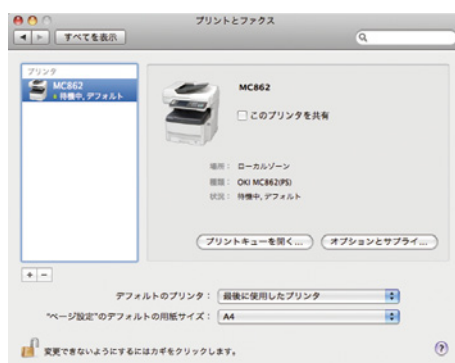
- ［プリンタとファクス］が既に開いている場合は、× をクリックして閉じてください。
- EtherTalk は、Mac OS X 10.6以降ではご利用できません。

(1) ［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

(2) ［プリントとファクス］をクリックします。

(3) ［+］をクリックします。

(4) ［AppleTalk］をクリックします。最初に設定する場合、装置名が表示されるまでにしばらく時間がかかります。

(5) 装置名を選択し、［ドライバ］メニューに正しい機種名が表示されたら、［追加］をクリックします。

(6) プリンタリストに追加した装置名が表示されたことを確認し、［プリントとファクス］を閉じます。

(7) ［種類］に、追加した装置名が正しく表示されていることを確認します。

注

- プリンタードライバーが PPD ファイルを正しく読み込まないと装置名が正しく表示されません。この場合は、一旦削除し、再度、登録してください。

■ Bonjour を利用をする

メモ

- EtherTalk プロトコル接続の方は、「■ EtherTalk プロトコルを利用をする」をご覧ください。

注

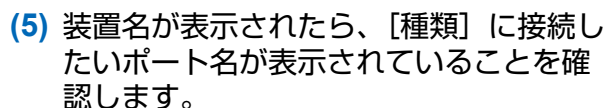
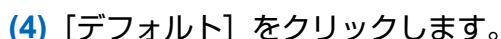
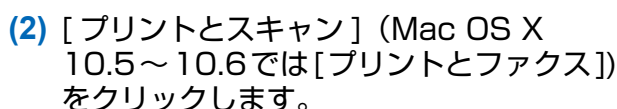
- ［プリントとファクス］が開いている場合は、X をクリックして閉じてください。

(1) ［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

(2) ［プリントとスキャン］（Mac OS X 10.5～10.6では［プリントとファクス］）をクリックします。

(3) ［+］をクリックします。

(4) ［デフォルト］をクリックします。

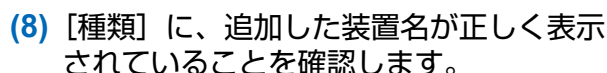
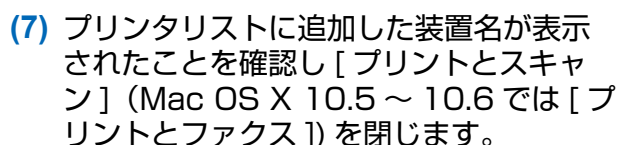
(5) 装置名が表示されたら、［種類］に接続したいポート名が表示されていることを確認します。

(6) 装置名を選択し、［ドライバ］メニューに正しい機種名が表示されたら、［追加］をクリックします。

メモ

- Bonjour 接続の場合、プリンター名は［OKI-MC8x2］＋［MAC アドレスの英数字下 6 桁］です。
- MAC アドレスは、操作パネルの［機器設定］キーを押し、［装置情報］-［ネットワーク］を押すと、表示されます。

(7) プリンタリストに追加した装置名が表示されたことを確認し［プリントとスキャン］（Mac OS X 10.5 ～ 10.6 では［プリントとファクス］）を閉じます。

(8) ［種類］に、追加した装置名が正しく表示されていることを確認します。

注

- プリンタードライバーが PPD ファイルを正しく読み込まないと装置名が正しく表示されません。この場合は、一旦削除し、再度、登録してください。

USB 経由でセットアップする（Mac OS X）

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方

1 本機の電源を ON にします。

2 プリンタードライバーをインストールします。

注

● ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

(1)「ソフトウェア DVD-ROM」を Macintosh にセットします。

(2) ［OKI］＞［Drivers］＞［PS］フォルダー内の［Installer for Mac OSX］をダブルクリックします。

(3) 画面の指示に従い、管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

3 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

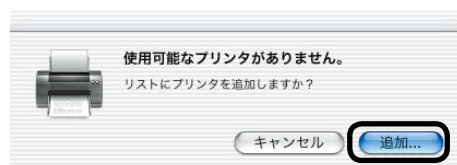
注

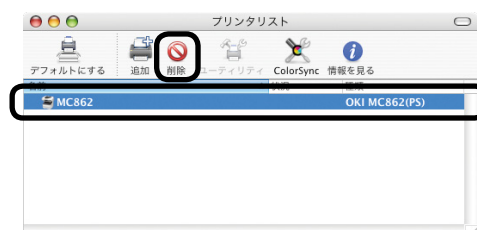
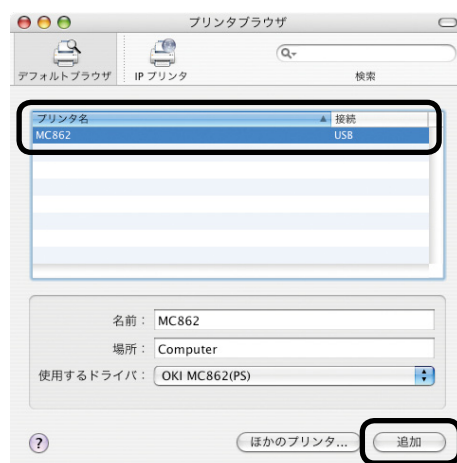
● プリンタ設定ユーティリティが起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

(1) ［移動］メニューから［ユーティリティ］を選択し［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

(2) ［追加］をクリックします。

メモ

● 新規に追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

注

● インストールしようとしている装置の名前がすでに表示されている場合は、装置名を選択して［削除］をクリックします。

(3) ［接続］に［USB］と表示されている装置名を選択し、［使用するドライバ］メニューに正しい機種名が表示されたら、［追加］をクリックします。

(4) ［プリンタリスト］の名前と種類の欄に、追加した装置名、およびプリンタドライバ名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

Mac OS X 10.5 以降をお使いの方

1 本機の電源を ON にします。

2 プリンタードライバーをインストールします。

参照

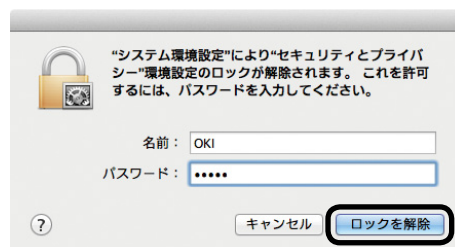
- Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方は、「Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 をお使いの方」（P.28）をご覧ください。

注

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

(1) 「ソフトウエア DVD-ROM」を Macintosh にセットします。

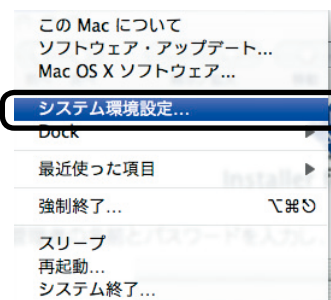
(2) ［OKI］＞［Drivers］＞［PS］フォルダー内の［Installer for MacOSX］をダブルクリックします。

(3) 画面の指示に従い、管理者パスワードを入力し、［ロックを解除］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

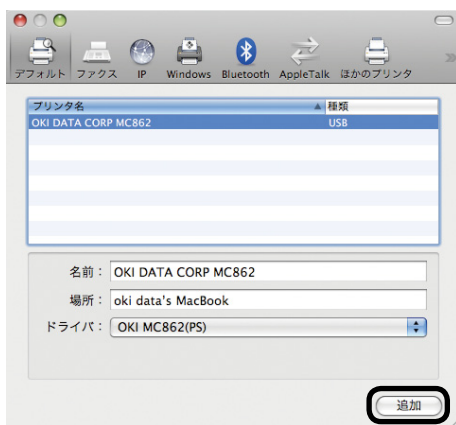
3 USB 接続でプリンターの設定をします

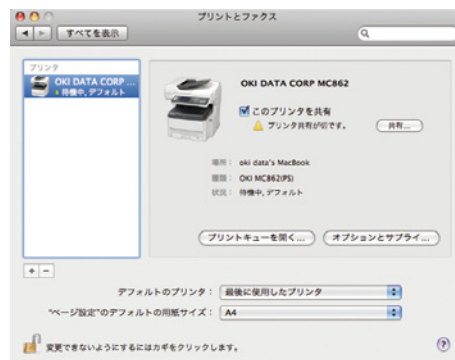
- ［プリントとファクス］が開いている場合は、X をクリックして閉じてください。

(1) ［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

こんなことができます
1 プリントする 準備 使い方
2 コピーする
3 ファクスする 準備 使い方
4 スキャンする 準備 使い方
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

(2) ［プリントとスキャン］（Mac OS X 10.5～10.6では［プリントとファクス］）をクリックします。

(3) [+] をクリックします。

(4) ［種類］に［USB］と表示されている装置名を選択し、［ドライバ］メニューに正しい機種名が表示されたら［追加］をクリックします。

(5) インストール可能なオプションの取得画面で、［構成 ...］をクリックしてプリンターオプションを選択します。

(6) プリンタリストに追加した装置名が表示されたことを確認し、［プリントとスキャン］（Mac OS X 10.5 ～ 10.6 では［プリントとファクス］）を閉じます。

(7) コンピューターを再起動します。

コンピューターから印刷する

文書を印刷する

1 印刷したいファイルを開きます。

2 プリンタードライバーで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［用紙厚］を選択し、印刷します。

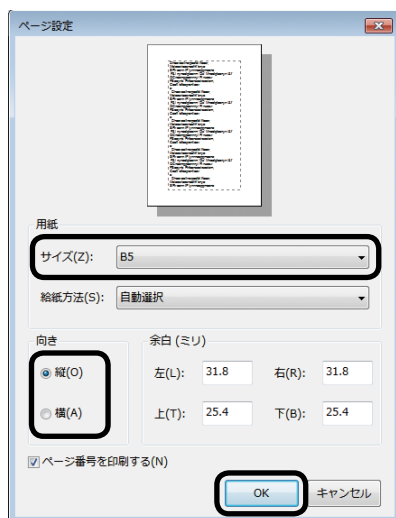
メモ

- ［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、便利な機能 / 本体の設定編「便利な機能を使って印刷する」の「トレイを自動的に選択する」を参照してください。

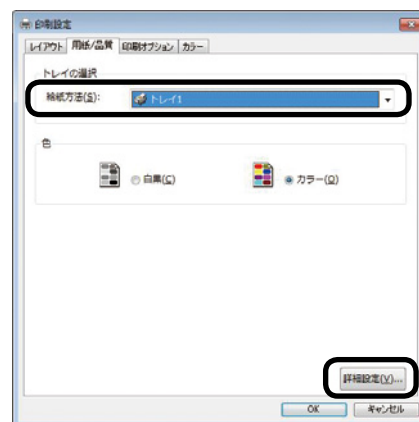
■ Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

ここでは［ワードパッド］を例にしています。

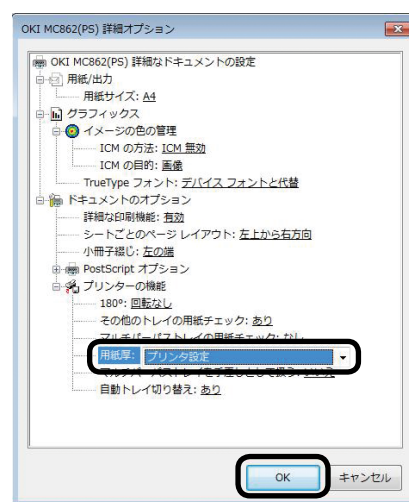
(1) ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

(2) ［サイズ］で［用紙サイズ］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

(3) ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

(4) ［詳細設定］をクリックします。

(5) ［用紙／品質］タブの［給紙方法］で使用するトレイを選択します。

(6) ［詳細設定］をクリックし、［用紙厚］で適当な値を選択し、［OK］をクリックします。

メモ

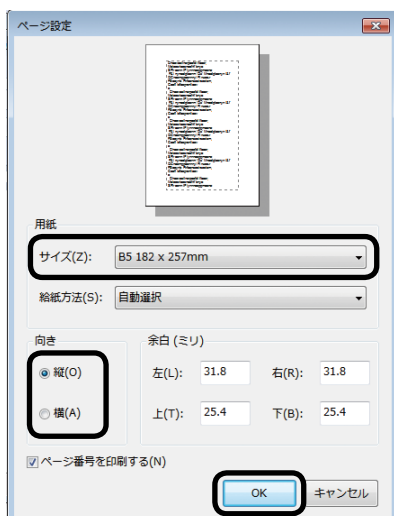
- 通常は［プリンタ設定］を選択します。［プリンタ設定］を選択すると、本機の操作パネルで設定した値になります。

(7) ［OK］をクリックします。

(8) 「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

■ Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

ここでは［ワードパッド］を例にしています。

(1) ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

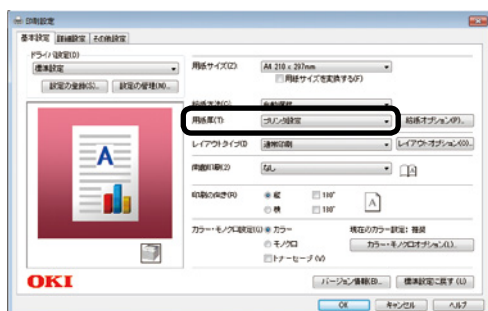
(2) [サイズ] で [用紙サイズ]、[印刷の向き] で[縦]または[横]を選択し、[OK] をクリックします。

(3) [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

(4) [詳細設定] をクリックします。

(5) [基本設定] タブの [給紙方法] で [用紙トレイ] を選択します。

(6) [用紙厚] で適当な値を選択します。

メモ

- 通常は [プリンタ設定] を選択します。[プリンタ設定] を選択すると、本機の操作パネルで設定した値になります。

(7) [OK] をクリックします。

(8) 「印刷」画面で [OK] または [印刷] をクリックし、印刷します。

■Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

(1) [ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。

(2) [用紙サイズ] で [用紙サイズ]、[方向] で適切な方向を選択し、[OK] をクリックします。

(3) [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

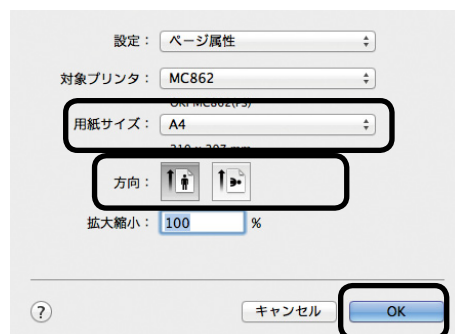
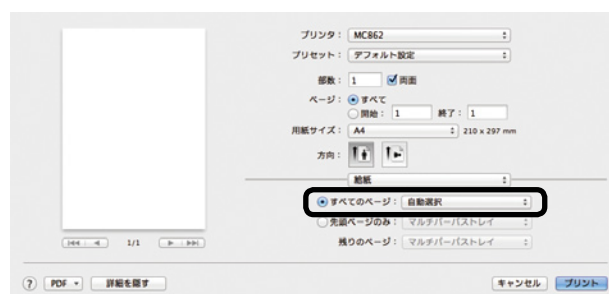
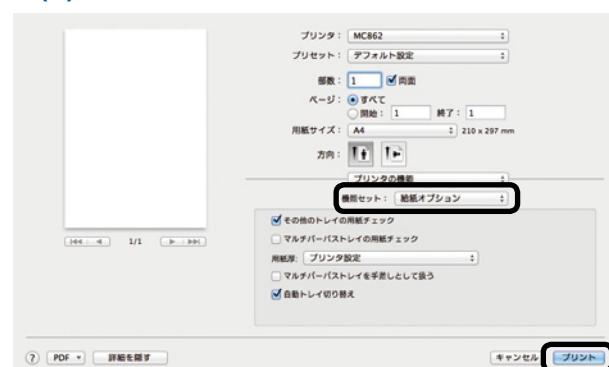
(4) [給紙] パネルで [用紙トレイ] を選択します。

(5) [プリンタの機能] パネルの [給紙オプション] 機能セットの [用紙厚] で適当な値を選択します。

メモ

- 通常は [プリンタ設定] を選択します。[プリンタ設定] を選択すると、本機の操作パネルで設定した値になります。

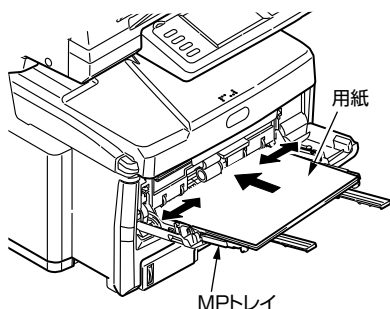
(6) [プリント] をクリックし、印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の [詳細を表示] ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、[プリンタ] メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

MP トレイから印刷する

MPトレイにセットした用紙に、1 枚ずつ印刷します。

1 枚印刷するごとに、操作パネルに「MP トレイに用紙をセットしてください」と表示するので、[印刷再開] を押し、印刷を開始します。

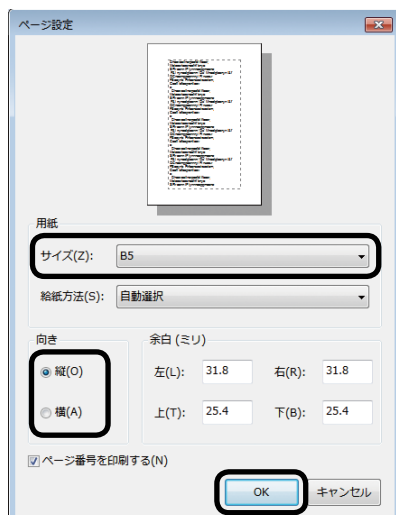
1 MP トレイに用紙をセットします。

2 印刷したいファイルを開きます。

3 プリンタードライバーで［手差し］を指定し、印刷します。

■ Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

ここでは［ワードパッド］を例にしています。

(1)［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

(2)［サイズ］で［用紙サイズ］、[印刷の向き] で［縦］または［横］を選択し、[OK] をクリックします。

(3)［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

(4)［詳細設定］をクリックします。

(5)［用紙／品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

(6)［詳細設定］をクリックし、[用紙厚］で［適当な値］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ

- 通常は［プリンタ設定］を選択します。[プリンタ設定］を選択すると、本機の操作パネルで設定した値になります。

(7)［OK］をクリックします。

(8)「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

こんなことができます
1 準備 プリントする 使い方
2 コピーする
3 準備 ファクスする 使い方
4 準備 スキャンする 使い方
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

■Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

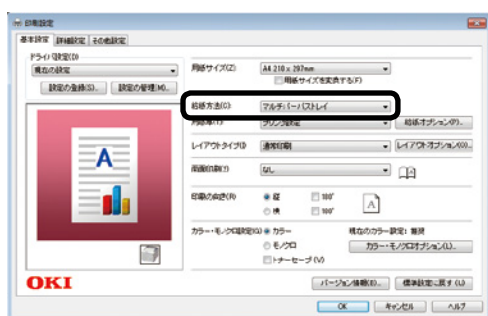
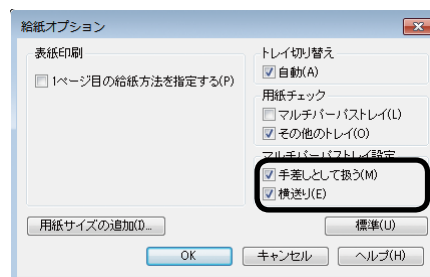
ここでは［ワードパッド］を例にしています。

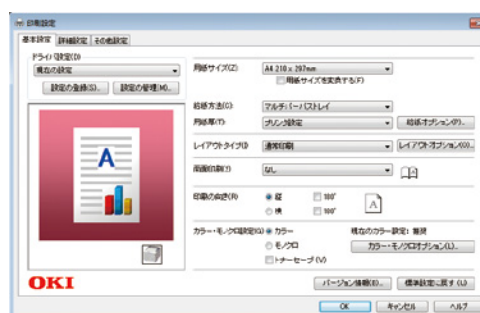
(1) ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

(2) ［サイズ］で［用紙サイズ］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

(3) ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

(4) ［詳細設定］をクリックします。

(5) ［基本設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

(6) ［給紙オプション］をクリックし、［マルチパーパストレイ設定］で［手差しとして扱う］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

(7) ［用紙厚］で適当な値を選択します。

- 通常は［プリンタ設定］を選択します。［プリンタ設定］を選択すると、本機の操作パネルで設定した値になります。

(8) ［OK］をクリックします。

(9) 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

■Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

(1) ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

(2) ［用紙サイズ］で［用紙サイズ］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

(3) ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

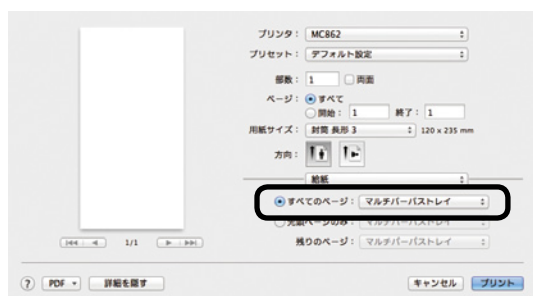
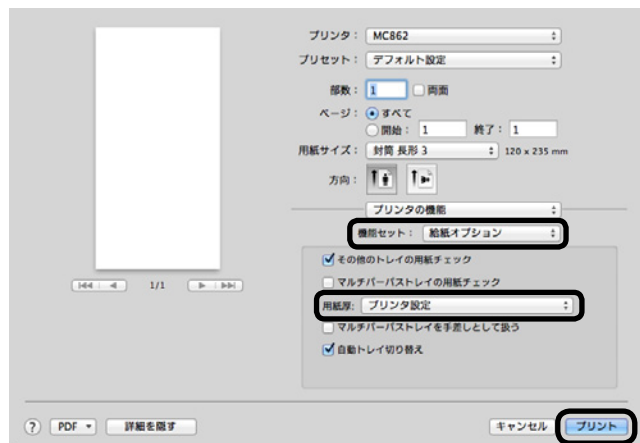
(4) ［給紙］パネルで［用紙トレイ］を選択します。

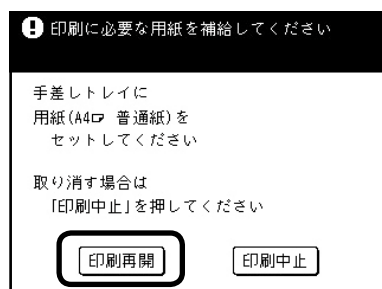
(5) ［プリンタの機能］パネルの［給紙オプション］機能セットの［用紙厚］で適当な値を選択します。

メモ

- 通常は［プリンタ設定］を選択します。［プリンタ設定］を選択すると、本機の操作パネルで設定した値になります。

(6) ［プリント］をクリックし、印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

4 操作パネルに下のメッセージが表示されたら、［印刷再開］を押し、印刷を開始します。

メモ

- 複数ページのデータのときは、1 ページ印刷する毎に上のメッセージを表示します。

印刷を中止する

印刷をキャンセルするには<ストップ>キーを押すか、ジョブリストからキャンセルしたいジョブを選択します。

コンピューターからの印刷中、コピー印刷中は、<ストップ>キーまたはジョブリストのどちらからでもキャンセルできます。

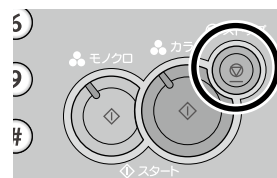
! 注

- 受信したファクスの印刷は、ジョブリストからキャンセル操作を行うことができ、一旦印刷を中断しますが、一定時間経過後に、1 ページ目から再印刷します。

<ストップ>キーを押してキャンセルする

1 <プリント>キーを押してプリント待機画面を表示します。

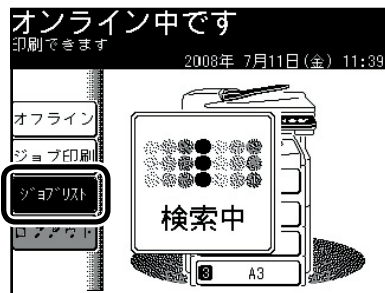
2 <ストップ>キーを押します。

! 注

- 印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。
- ［データ削除中］が長く続く場合はコンピューターで印刷ジョブを削除してください。

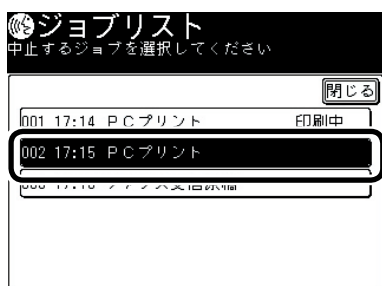
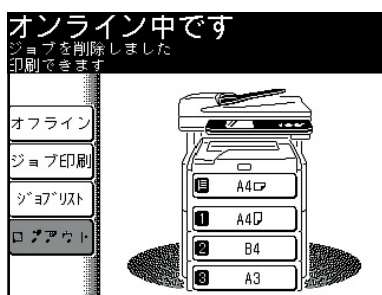
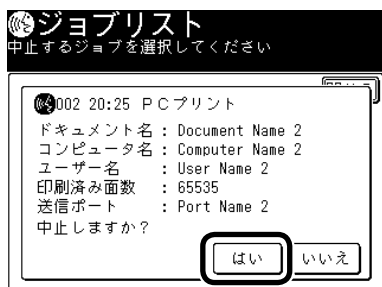
ジョブリストからキャンセルする

1 <プリンタ>キーを押します。

こんなことができます
1 プリントする 準備 使い方
2 コピーする
3 ファクスする 準備 使い方
4 スキャンする 準備 使い方
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

2 ［ジョブリスト］を押します。

メモ

- 検索をキャンセルしたいときは、<ストップ>キーを押します。

3 削除したいジョブを選択します。

4 ［はい］を押します。

メモ

- コンピューターからの印刷やファクス受信の印刷は、用紙無し等による印刷停止時、タッチパネルに表示される［印刷中止］ボタンを押すことで、キャンセルができます。

2
コピーする

便利なコピー機能

●簡単にコピーできます

●原稿の画像サイズを大きくしたり小さくしたりできます

●用紙を節約できます

●コピーを仕分けしたり、コピーの仕上がりを変更できます

かぎ括弧がついている項目は、便利な機能 / 本体の設定編を参照してください。

文書をコピーする

こんなことができます
1 準備 使い方 プリントする
2 コピーする
3 準備 使い方 ファクスする
4 準備 使い方 スキャンする
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

文書をコピーする

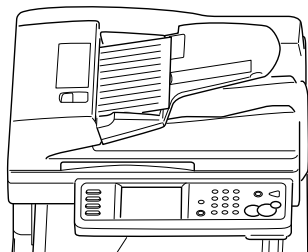
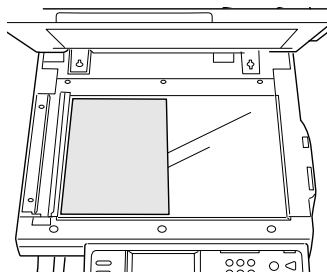
■操作の前に・・・・

- <コピー>キーを押して、コピー画面に切り替えておきます。
- 工場出荷時の設定では、拡大／縮小 100%、トレイ：自動、画質：文字 / 写真、濃度：0 でコピーされます。
- 「トレイ：自動」の場合は、原稿サイズに合わせて用紙を選択します。選択される用紙サイズは、A3、B4、A4 、A4 、B5 、B5 、A5 です。それ以外の用紙は自動選択されません。その場合、タッチパネルを押して、コピーしたい用紙がセットされているトレイまたは MP トレイを選択してください。
- リアルタイム送信を予約しているときは、コピーすることはできません。詳しくは、便利な機能 / 本体の設定編「送信時刻を指定する（時刻指定）」をご覧ください。

1 原稿をセットします。

- 自動原稿送り装置

- ガラス面

参照

- 原稿のセット方法については、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

2 必要に応じて画質や濃度を設定します。

参照

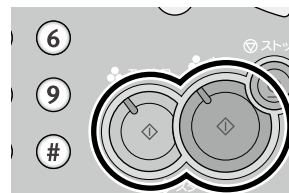
- 「コピー画質を調整する」（P.56）、「コピー濃度を調整する」（P.58）をご覧ください。

3 各コピー機能の設定を行います。

4 テンキーでコピー部数を入力します。

メモ

- 1 ～ 999 部まで設定できます。
- 間違えて入力したときは、上書きで入力し直してください。
- 部数を設定しないときは 1 部コピーされます。

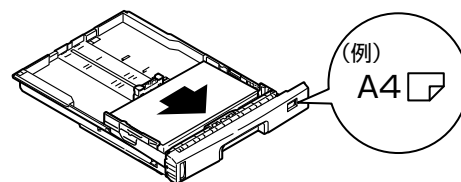
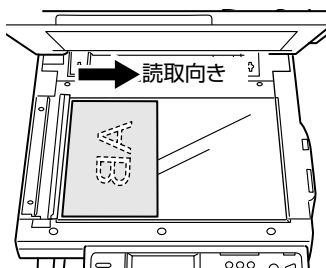
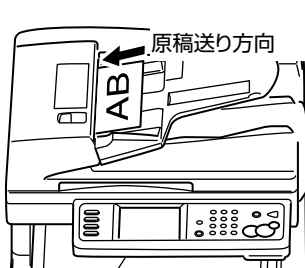
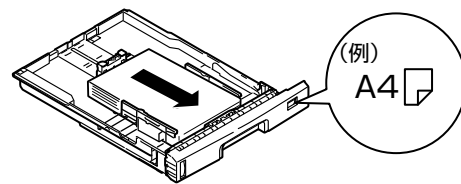
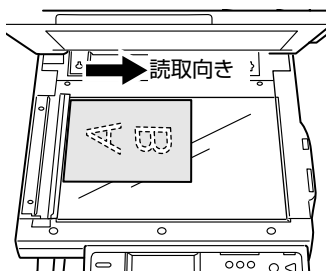
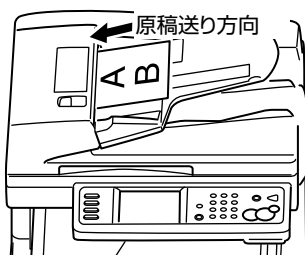
5 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

コピーが始まります。

■ コピー原稿と印刷用紙のセット方向

MC860dn/MC860dtn は、コピー原稿・印刷用紙ともに縦 / 横にセットすることができます。集約、拡大 / 縮小など複雑なコピーをうまく行うには、原稿の向きと用紙の方向を合わせます。

● 横長原稿をコピーするとき

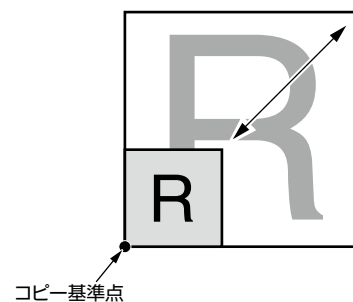
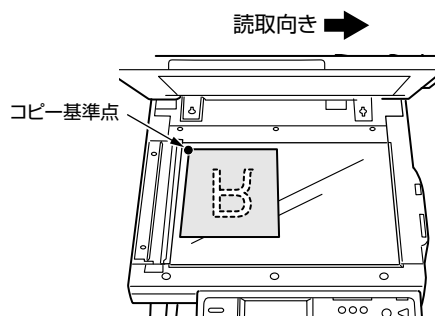
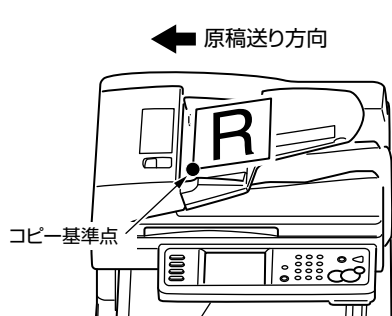
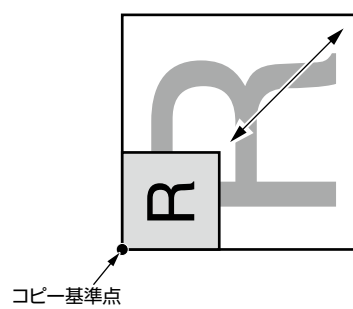
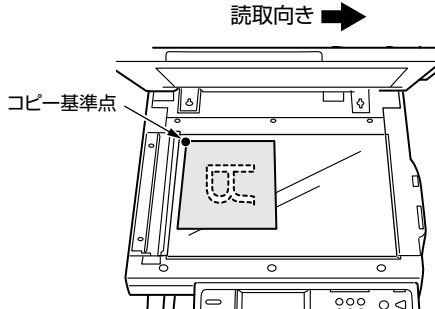
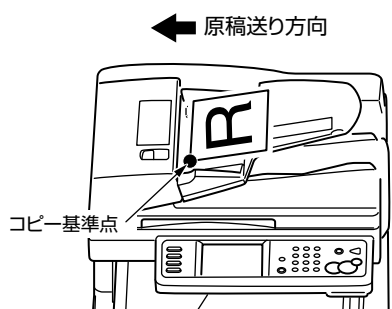
● 縦長原稿をコピーするとき

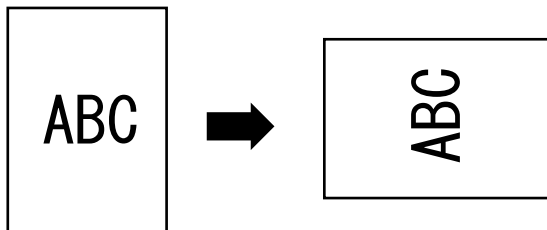
メモ

- A4 用紙を横にセットしたトレイと縦にセットしたトレイの両方がセットされているときに、トレイの選択を自動でコピーすると横にセットしたトレイが使用されます。縦にセットしたトレイを使用したいときは、操作パネルでトレイを指定してください。

■ 原稿のセット方向とコピー結果

● 原稿の側面から読み込むとき

● 原稿の上辺から読み込むとき

こんなことができます
1 プリントする 準備 使い方
2 コピーする
3 ファクスする 準備 使い方
4 スキャンする 準備 使い方
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

画像を回転させてコピーする（回転コピー）

- 原稿と同じ向きの用紙がセットされていなくても、自動的にコピー画像を回転させてコピーします。

- 回転方向は左回転になります。
- 拡大／縮小コピーでも、原稿が用紙におさまるときは回転されます。
- 不定形サイズの原稿や、原稿サイズを自動検知できないときは回転しません。
- 100%コピー時は、A4、B5 、A5 以外の用紙へは回転コピーしません。
- 使用するトレイを指定し、任意の倍率で拡大 / 縮小コピー（ズーム）を設定したときは、回転コピーしません。
- A3、A4、A5、B4、B5 サイズの原稿は、A3、A4、A5、B4、B5 以外の用紙へは回転コピーしません。また、レター、タブロイド、リーガルサイズの原稿は、レター、タブロイド、リーガル用紙へは回転コピーしません
例えば、A3 サイズの原稿を縮小し、A4（ ）用紙へ回転コピーすることはできますが、レター（ ）用紙へは回転コピーしません。

コピー中にメモリーオーバーしたとき

原稿読み取り中にメモリーオーバーしたときは以下のように対処してください。

■原稿の読み取り中にメモリーオーバーしたとき

コピーを中断し、メモリーの中のデータを削除します。自動原稿送り装置に原稿が残っている場合は、自動的に排出します。

［閉じる］を押すと待機画面に戻ります。

画質を変えるか、メモリーが空くまで待ってから再度コピーしてください。

設定をリセットする

■ 自動リセット
コピー操作後、一定時間何も操作をしないと初期状態に戻ります。

工場出荷時設定では 3 分後に画面がリセットされます。リセットされる時間を設定できます。

参照

● 便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。

■ <リセット>キーによる設定のリセット
<リセット>キーを押すと、初期値に戻ります。コピー終了後は、次に使用する人のため<リセット>キーを押して設定をリセットしてください。

コピーを中止する

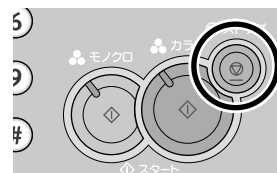
1 <コピー>キーを押してコピー待機画面を表示します。

コピー待機画面を表示しているときは 2 に進みます。

2 <ストップ>キーを押します。

注

● 印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。

こんなことができます
1 準備 使い方 プリントする
2 コピーする
3 準備 使い方 ファクスする
4 準備 使い方 スキャンする
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

原稿読み取りの設定を変更する

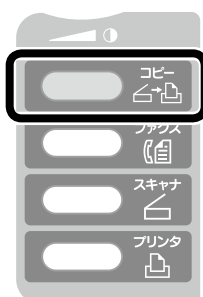
複数セットの原稿を 1 セットの原稿として読み取る（継続読取）

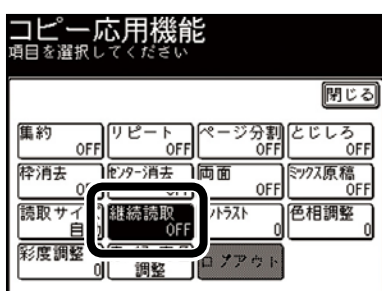
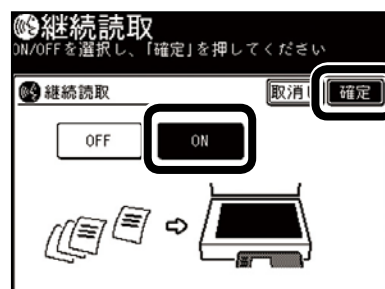
継続読取の設定を行うことにより、別の原稿を読み取ることができます。

ソートコピー・集約コピー・両面コピーをするときに設定すると便利です。

■ 操作の前に・・・・

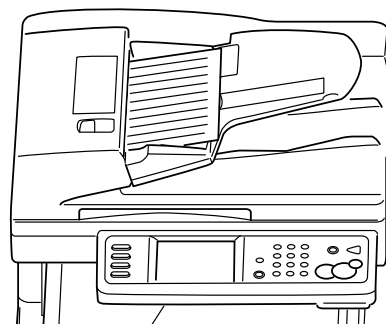
継続読取を [ON] にするには、以下の操作を行ないます。

1 ＜コピー＞キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

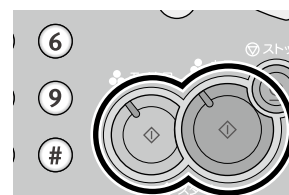
3 ［継続読取］を押します。

4 ［ON］を選択し［確定］を押します。

5 ［閉じる］を押してコピー待機画面に戻ります。

■ 自動原稿送り装置のとき

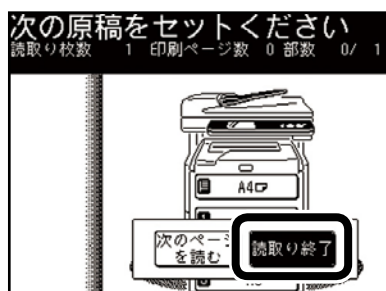
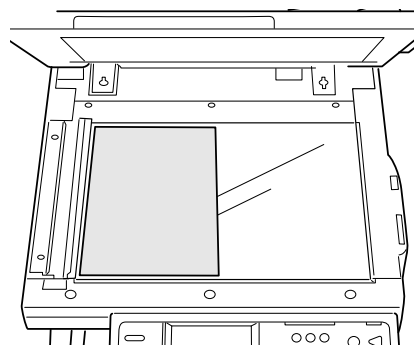
1 原稿をセットします。

参照

- 原稿のセット方法については、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

2 コピーの種類を設定します。

3 ＜カラースタート＞キーまたは＜モノクロスタート＞キーを押します。

4 「次の原稿をセットください」と表示されたら、次の原稿をセットします。

5 ［次のページを読む］を押します。次の原稿の読み取りを開始します。

6 全ての原稿の読み取りが終了したら［読取り終了］を押します。全てのコピーを開始します。

■ガラス面のとき

1 原稿をセットします。

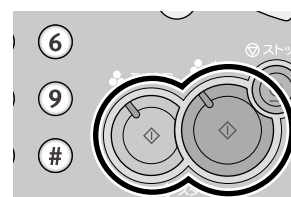
2 コピーの種類を設定します。

メモ

- 集約コピーと両面コピーの場合は、継続読取設定が OFF のときでも、原稿を読み取り後、「次の原稿をセットください」と表示されます。

3 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

メモ

- 読み取り終了後、1 部目のコピーを開始します。

4 「次の原稿をセットください」と表示されたら、次の原稿（本などの場合は次のページ）をセットします。

5 ［次のページを読む］を押します。次の原稿の読み取りを開始します。

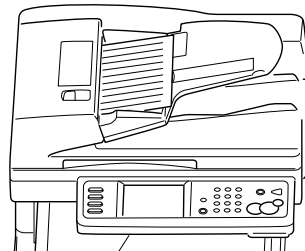
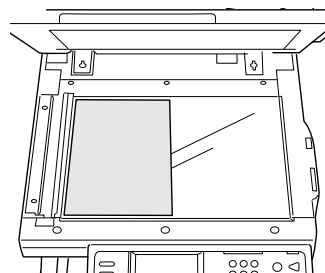
6 全ての原稿の読み取りが終了したら［読取り終了］を押します。全てのコピーを開始します。

7 ２部目以降のコピーが開始されます。

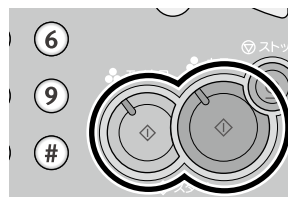
自動原稿送り装置とガラス面を併用して原稿を読み取る（混在コピー）

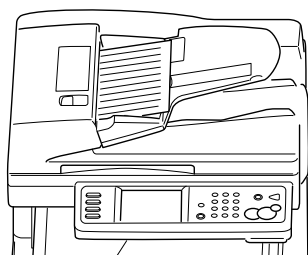
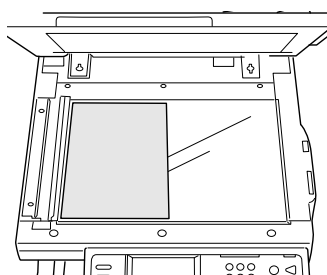
継続読取機能を応用すると、自動原稿送り装置で原稿を読み取ったあと、ガラス面で原稿を読み取る、または、ガラス面で読み取ったあとに自動原稿送り装置で読みとってコピーすることができます。

1 自動原稿送り装置、またはガラス面に原稿をセットします。

● 自動原稿送り装置

● ガラス面

2 コピーの種類を設定します。

3 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

4 「次の原稿をセットください」と表示されたら、次の原稿をセットします。

- 自動原稿送り装置

- ガラス面

メモ

- 原稿を自動原稿送り装置にセットするときは、ガラス面の原稿を取り除いてください。

5 ［次のページを読む］を押します。
次の原稿を読み取ります。

6 全ての原稿の読み取りが終了したら［読取り終了］を押します。

読み取りサイズを変更する（読取サイズ）

自動原稿送り装置、ガラス面とも A3、B4、A4、A4、B5、B5、A5、A5サイズ原稿を自動検知できます。

■原稿サイズが自動検知できないとき

原稿サイズ検知センサーが正しく動作しないときは、以下のメッセージが表示されます。

- 原稿サイズを押し、［確定］を押します。<カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

メモ

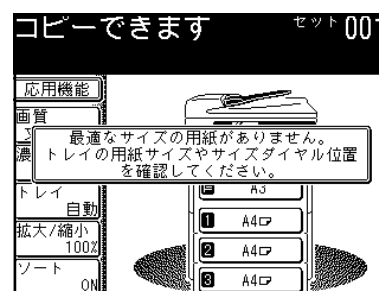
- 用紙によっては画像が欠けたり余白が出たりします。

- ［取消し］を押すと、操作を中断し待機表示に戻ります。

メモ

- コピーする用紙を選択したり、読み取りサイズを指定したりするなど、再度操作し直してください。

■自動検知されたが、適切な用紙がないとき

原稿にあった適切にコピーできる用紙がないときは、以下のメッセージが数秒間表示されます。

メモ

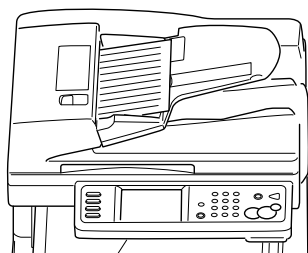
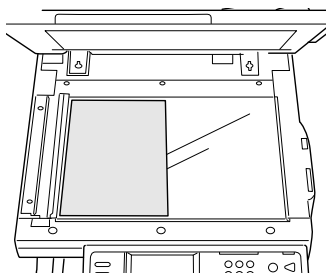
- 最適な用紙をトレイにセットするか、またはトレイを選択してください。詳しくは、困ったときには / 日々のメンテナンス編「メッセージが表示されたとき」の「コピー関連」をご覧ください。

コピー設定を変更する

用紙トレイを変更する

用紙トレイを変更する（給紙トレイ）

1 原稿をセットします。

● 自動原稿送り装置

● ガラス面

参照

● 原稿のセット方法については、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

● 必要に応じて画質や濃度を設定します。「コピー画質を調整する」（P.56）、「コピー濃度を調整する」（P.58）をご覧ください。

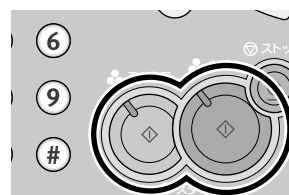
2 タッチパネルから、コピーしたい用紙がセットされているトレイを選択します。

参照

● MPトレイを使ってコピーする場合は、「MP トレイを使用する」（P.47）を参照してください。

メモ

● ［トレイ］を押してカセットを選択することもできます。

3 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

コピーが始まります。

■こんなときには？

用紙選択を自動にしたい。

1 ［トレイ］を押します。

2 トレイを自動で選択するように設定します。

(1) ［自動］を押します。

(2) ［確定］を押します。

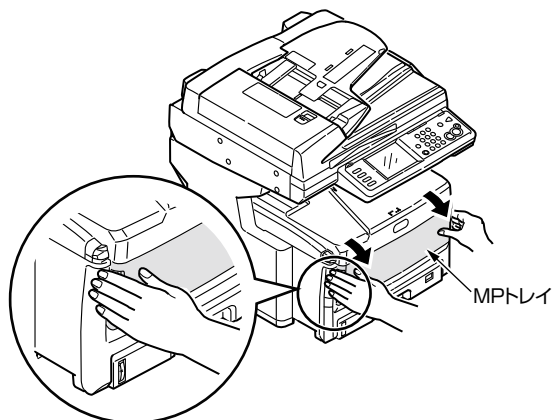
MP トレイを使用する

MP トレイを使用すると、MP トレイにセットされている用紙にコピーをすることができます。

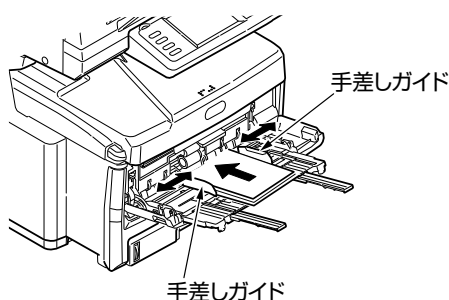
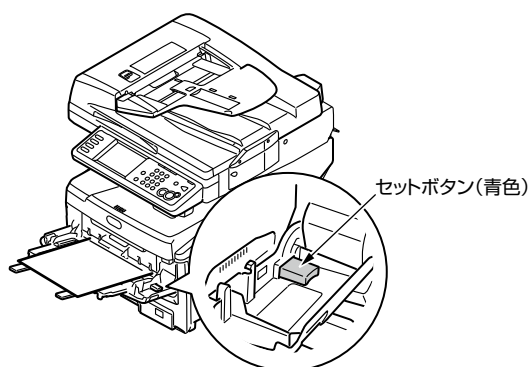
1 原稿をセットします。

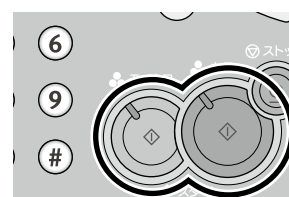
参照

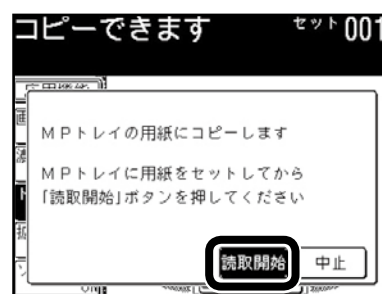
- 原稿のセット方法については、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

2 MP トレイの両端を持ち、手前に開きます。

3 手差しガイドを用紙サイズに合わせて調整します。印刷する面を上にして、コピーする用紙を止まる位置まで差し込みます。

参照

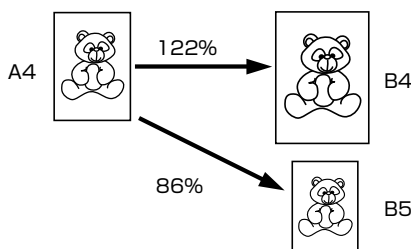
- MPトレイへの用紙のセット方法は、セットアップ編「MP トレイ（マルチパーパストレイ）に用紙をセットする」を参照してください。

4 MP トレイのセットボタン（青色）を押します。

5 画面の MP トレイを押します。

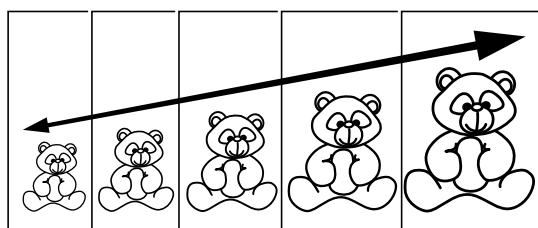
6 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

7 下の画面を表示するので、［読取開始］を押します。

こんなことができます
1 準備 使い方 プリントする
2 コピーする
3 準備 使い方 ファクスする
4 準備 使い方 スキャンする
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

拡大 / 縮小してコピーする（拡大 / 縮小）

拡大 / 縮小コピーについて

拡大／縮小コピーには、用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小する方法（自動倍率）と、倍率を設定して拡大／縮小する方法があります。倍率の設定方法には、あらかじめ設定されている固定倍率から指定する方法と、用紙指定任意倍率（ズーム）から設定する方法があります。

■ 固定倍率

■ 用紙指定任意倍率（ズーム）

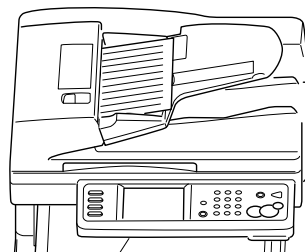
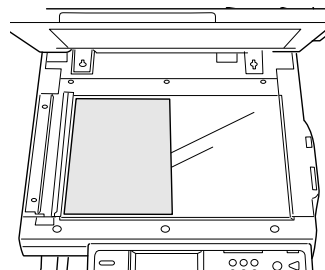
1%刻みに倍率を設定し、拡大／縮小コピーします。

［自動］を使用する

指定した用紙サイズに合わせて、自動的に倍率を選択し、拡大／縮小コピーします。

注

- A3、B4、A4、B5、A5 サイズ以外の用紙に、自動倍率でコピーすることはできません。

1 原稿をセットします。

- 自動原稿送り装置

- ガラス面

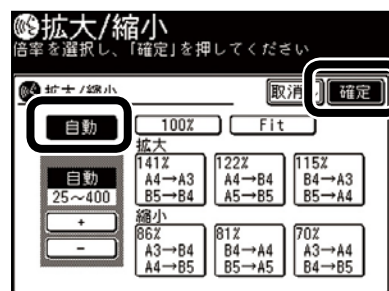
参照

- 原稿のセット方法については、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。
- 必要に応じて画質や濃度を設定します。「コピー画質を調整する」（P.56）、「コピー濃度を調整する」（P.58）をご覧ください。

2 拡大 / 縮小を設定します。

(1) ［拡大／縮小］を押します。

(2) ［自動］を押します。

(3) ［確定］を押します。

3 コピーしたい用紙を押します。

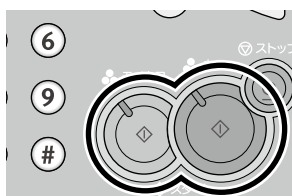
メモ

- 用紙設定を自動にすると、倍率が 100%に設定されます。その場合、手順 2 からやり直してください。

4 テンキーでコピー部数を入力します。

メモ

- 1 ～ 999 部まで設定できます。
- 間違えて入力したときは、入力し直してください。
- 部数を設定しないときは、1 部コピーになります。

5 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

固定倍率を選択する

あらかじめ設定されている倍率から選択して拡大／縮小コピーします。

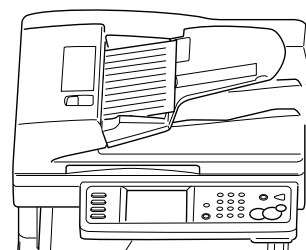
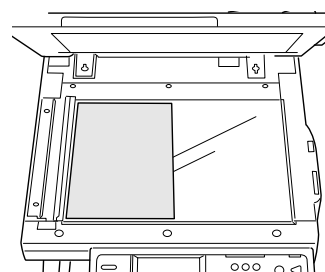
■操作の前に・・・・

- 選択した倍率によっては画像が欠けたり余白が出たりします。
- 倍率設定に応じて用紙は自動的に選択されます。用紙を選択したいときは、タッチパネルを押して用紙を選択してください。
- A3、B4、A4、B5、A5 以外の用紙がセットされているトレイは、用紙選択を自動に設定しても選択されません。タッチパネルからコピーしたい用紙がセットされているトレイを選択してください。

1 原稿をセットします。

- 自動原稿送り装置

- ガラス面

参照

- 原稿のセット方法については、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

2 用紙設定が「自動」になっていない場合は、以下の手順で「自動」に設定します。

(1) ［トレイ］を押します。

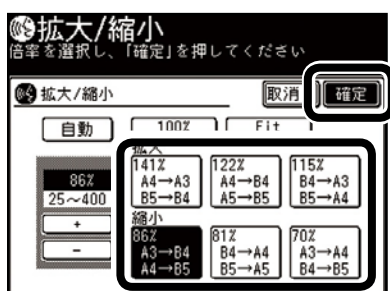
(2) ［自動］を押します。

(3) ［確定］を押します。

3 拡大 / 縮小を設定します。

(1) ［拡大／縮小］を押します。

(2) 倍率を選択します。

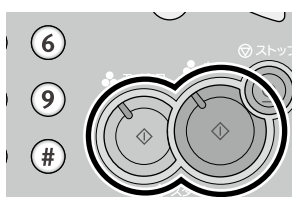
(3) ［確定］を押します。

メモ

- ［Fit］を設定すると、原稿サイズと用紙サイズが同じときに、原稿を縮小して印刷します。

4 テンキーでコピー部数を入力します。

メモ

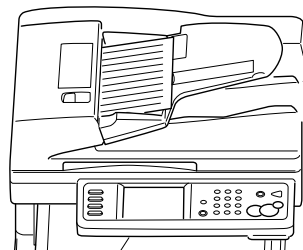
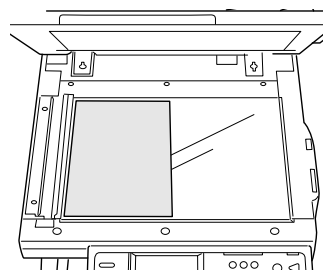
- 1 ～ 999 部まで設定できます。
- 間違えて入力したときは、入力し直してください。
- 部数を設定しないときは、1 部コピーになります。

5 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

テンキーで倍率を設定する

倍率を25%～400%の範囲で 1%きざみで指定でき、細かく拡大／縮小コピーすることができます。

<倍率>キーで指定したい倍率に近い倍率を選択してからズームで倍率を調整することもできます。

1 原稿をセットします。

- 自動原稿送り装置

- ガラス面

参照

- 原稿のセット方法については、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。
- 必要に応じて画質や濃度を設定します。「コピー画質を調整する」（P.56）、「コピー濃度を調整する」（P.58）をご覧ください。

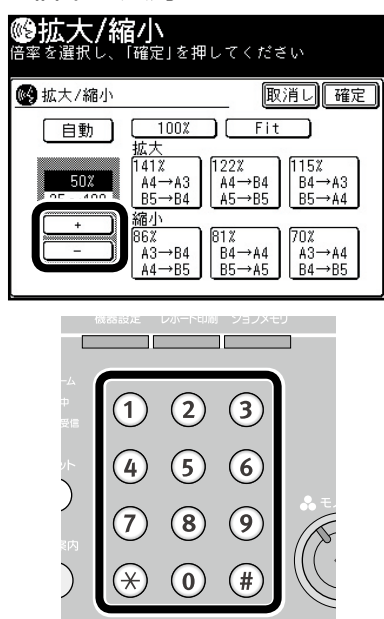
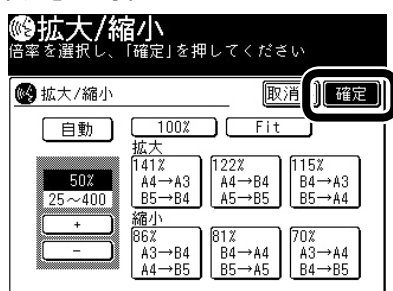
2 テンキーでコピー部数を入力します。

メモ

- 1 ～ 999 部まで設定できます。
- 間違えて入力したときは、入力し直してください。
- 部数を設定しないときは、1 部コピーになります。

3 拡大 / 縮小を設定します。

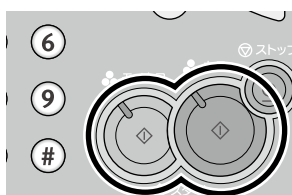
(1) ［拡大／縮小］を押します。

(2) タッチパネルの［+］［−］、またはテンキーにて倍率を入力します。

(3) ［確定］を押します。

メモ

- 入力を間違えたときは、上書きで入力します。
- 倍率は 25 ～ 400%までです。
- <リセット>キーを押すと、各種設定が解除されます。

4 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

両面にコピーする（両面）

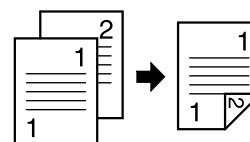
音声案内

■操作の前に・・・・

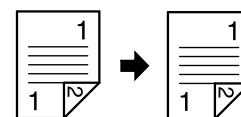
- 両面コピーは定形サイズの普通紙にコピーしてください。不定形サイズの用紙や普通紙以外の用紙（OHP フィルムやはがきなど）を使用した場合、両面印刷ユニットにて用紙がつまる恐れがあります。

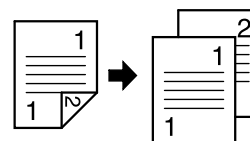
参照

- セットアップ編「使用できる用紙の種類」をご覧ください。

両面コピーの種類について

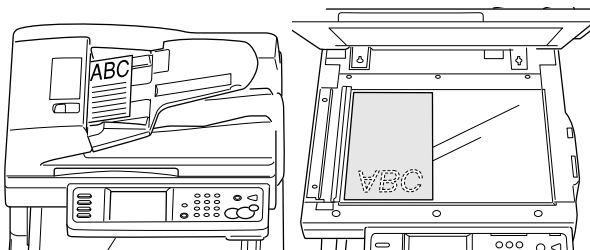
■片面原稿を両面コピーする

■両面原稿を両面コピーする

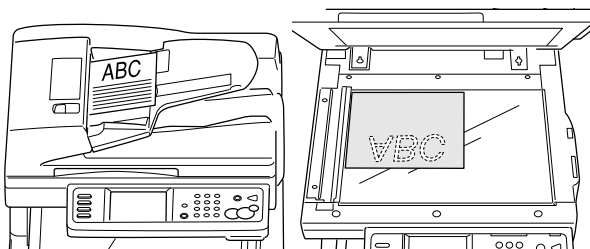
自動原稿送り装置を使って両面原稿を自動給紙し、両面コピーします。

■両面原稿を片面コピーする

自動原稿送り装置を使って両面原稿を自動給紙し、片面コピーします。

両面コピー時の原稿セットのしかた

両面コピーを行うときは、下のイラストを参考に、原稿を正面に向けてセットします。

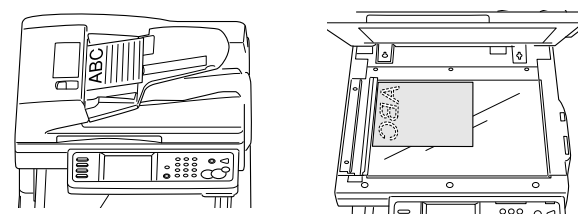
- 原稿が ▯ のとき

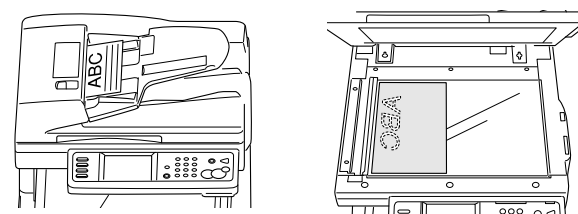
自動原稿送り装置　　　ガラス面置

- 原稿が ▭ のとき

自動原稿送り装置　　　ガラス面

■ 両面コピーと集約コピーを組み合わせる場合

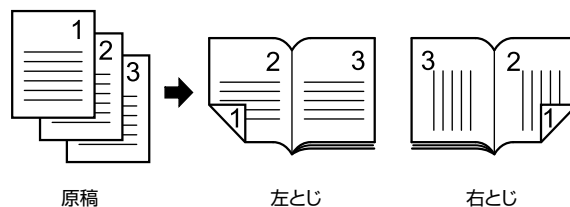
下記イラストを参考に、原稿を先頭から読み込むようにセットします。

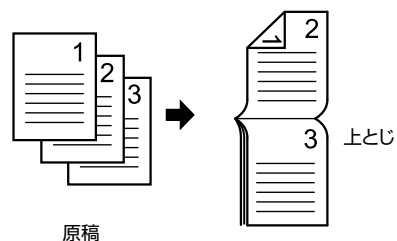
- 原稿が ▯ のとき

自動原稿送り装置　　　ガラス面

- 原稿が ▭ のとき

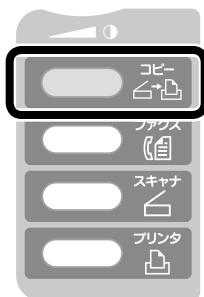
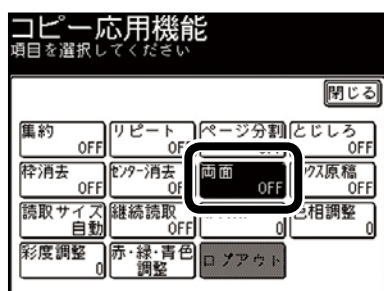
自動原稿送り装置　　　ガラス面

コピーのとじかたについて

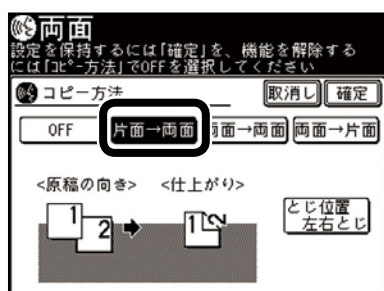
コピーを左側でとじる場合を左とじ、右側でとじる場合を右とじ、上側でとじる場合を上とじと呼びます。

■ 左または右とじ

- コピーを左右どちらかでとめるときに選択します。
- 縦書きの原稿は右側、横書きの原稿は左側でとじると冊子になります。
- とじしろを設定すると、とめる個所に余白を設けることができます。便利な機能 / 本体の設定編「とじしろを設定する（とじしろ）」をご覧ください。

■ 上とじ

- コピーを上側でとめるときに選択します。
- コピーの裏面は表面と 180 度回転してコピーされます。
- とじしろを設定すると、とめる個所に余白を設けることができます。便利な機能 / 本体の設定編「とじしろを設定する（とじしろ）」をご覧ください。

片面原稿を両面コピーする

1 <コピー>キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

3 ［両面］を押します。

4 ［片面→両面］を押します。

5 とじ位置を設定します。

設定しない場合は、6 へ進みます。

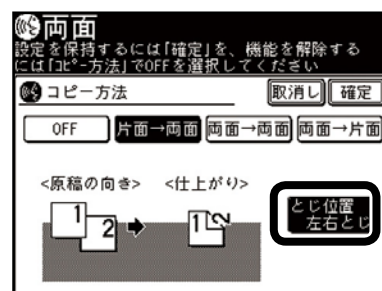
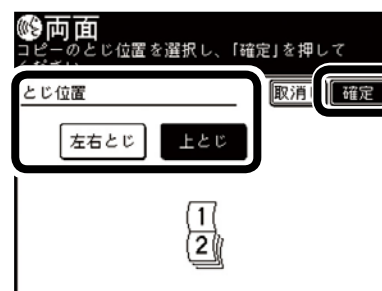
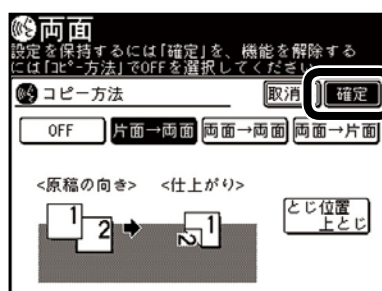
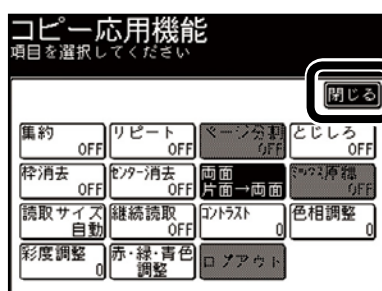
(1) とじ位置を設定する場合は、［とじ位置］を押します。

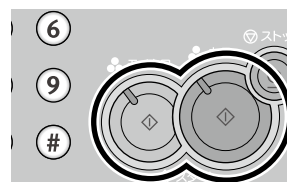
(2) ［左右とじ］または［上とじ］を押します。

(3) ［確定］を押します。

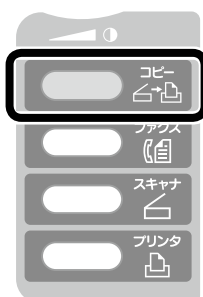
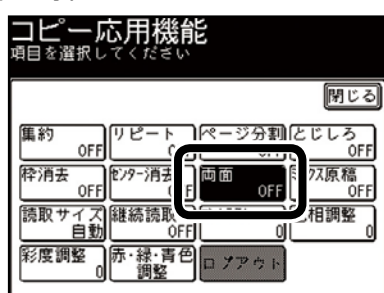
6 ［確定］を押します。

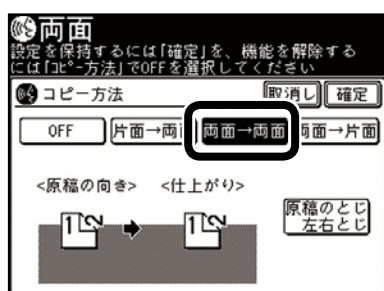
7 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ

● <リセット>キーを押すと、両面コピー設定が解除されます。

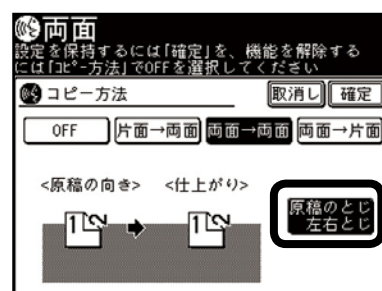
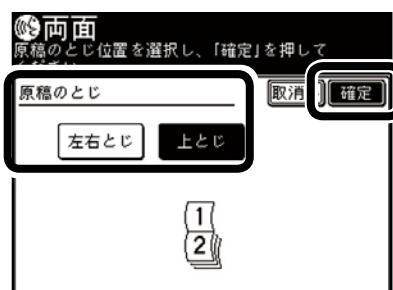
8 原稿をセットし、<カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

両面原稿を両面コピーする

原稿の表裏を読み取り、用紙の両面へコピーします。

1 <コピー>キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

3 ［両面］を押します。

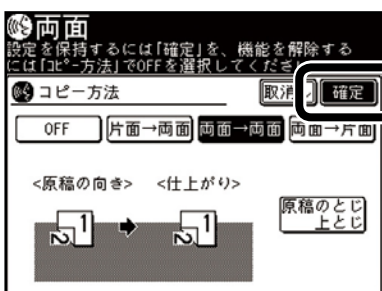
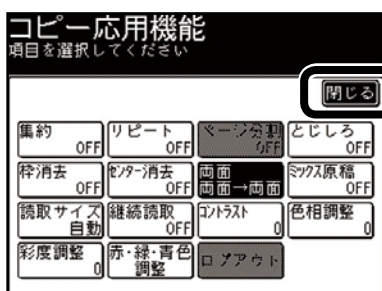
4 ［両面→両面］を押します。

5 原稿のとじ位置を設定します。

設定しない場合は、6 へ進みます。

(1) 原稿のとじを設定する場合は、［原稿のとじ］を押します。

(2) ［左右とじ］または［上とじ］を押します。

(3) ［確定］を押します。

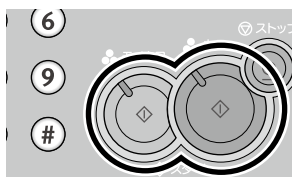
メモ

- とじしろを設定していない場合には、［左右とじ］と［上とじ］のどちらを設定しても、同じコピー印刷結果になります。

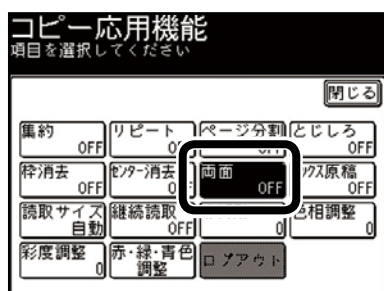
6 ［確定］を押します。

7 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ

- <リセット>キーを押すと、両面コピー設定が解除されます。

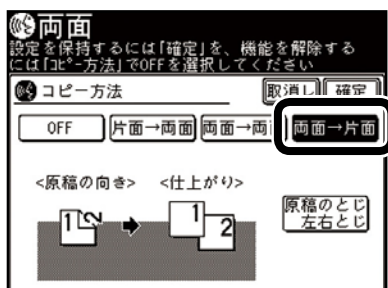
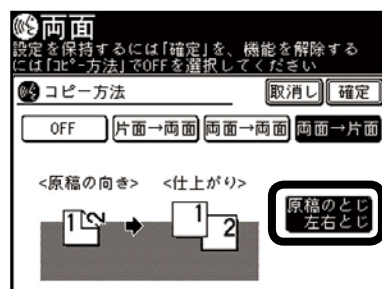
こんなことができます
1 準備 プリントする 使い方
2 コピーする
3 準備 ファクスする 使い方
4 準備 スキャンする 使い方
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

8 自動原稿送り装置に両面原稿をセットし、<カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

両面原稿を片面コピーする

原稿の表裏を読み取り、用紙に片面ずつコピーします。

1 <コピー>キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

3 ［両面］を押します。

4 ［両面→片面］を押します。

5 原稿のとじ位置を設定します。

設定しない場合は、6 へ進みます。

(1) 原稿のとじを設定する場合は、［原稿のとじ］を押します。

(2) ［左右とじ］または［上とじ］を押します。

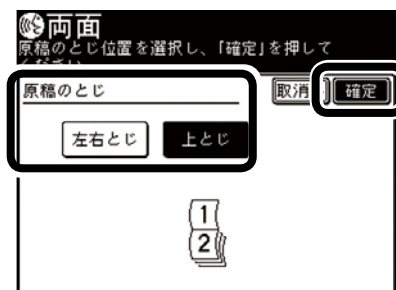
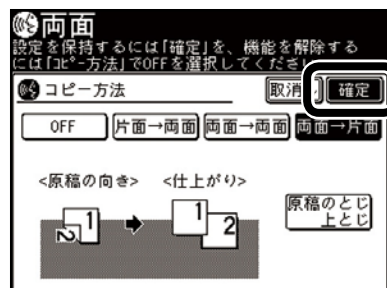
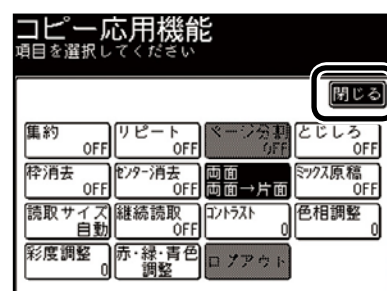
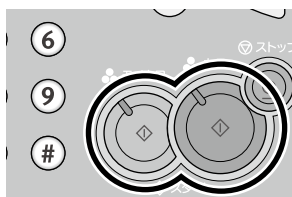
(3) ［確定］を押します。

6 ［確定］を押します。

7 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ

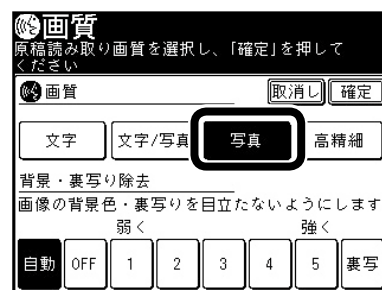
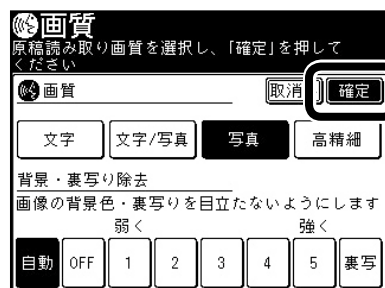
- <リセット>キーを押すと、両面コピー設定が解除されます。

こんなことができます
1 プリントする 準備 使い方
2 コピーする
3 ファクスする 準備 使い方
4 スキャンする 準備 使い方
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

8 自動原稿送り装置に両面原稿をセットし、＜カラースタート＞キーまたは＜モノクロスタート＞キーを押します。

コピー画質を調整する

原稿や文字に合わせて、画質を選択します。

1 ［画質］を押します。

2 希望の画質を押します。

- 文字：文字の原稿に適した設定で読み取ります。
- 文字 / 写真：写真や絵と文字が混ざった原稿に適した設定で読み取ります。（初期値）
- 写真：写真や絵の原稿に適した設定で読み取ります。
- 高精細：写真や絵と文字が混ざった原稿に適した設定です。高解像度で読み取ります。
- 背景除去：画像の背景（下地）色を目立たないようにします。
- 裏写り除去：裏写りを目立たないようにします。

3 ［確定］を押します。

注

- 背景除去と裏写り除去を同時に設定することはできません。

参照

- 画質の初期値を変更できます。変更方法は便利な機能 / 本体の設定編「コピー機能の初期値を変更する」を参照してください。

4 選択した画質に変更されます。

コピー濃度を調整する

原稿や文字に合わせて、濃度を選択します。

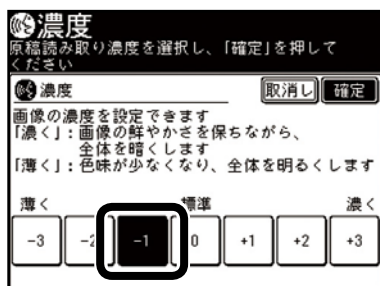
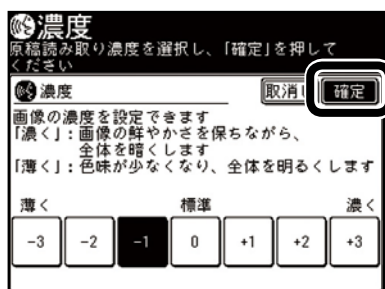
1 ［濃度］を押します。

2 希望の濃度を押します。

原稿に合わせて、７段階に濃度を選びます。

- 濃く（+1 ～ +3）：画像の鮮やかさを保ちながら、全体を暗くします。
- 標準：普通の原稿のとき（初期値）
- 薄く（-1 ～ -3）：色味が少なくなり、全体を明るくします。

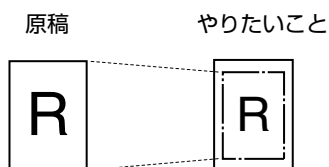
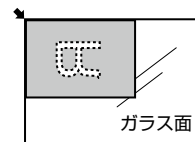
3 ［確定］を押します。

参照

- 濃度の初期値を変更できます。変更方法は便利な機能 / 本体の設定編「コピー機能の初期値を変更する」を参照してください。

4 選択した濃度に変更されます。

こんなことができます
1 準備 プリントする 使い方
2 コピーする
3 準備 ファクスする 使い方
4 準備 スキャンする 使い方
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

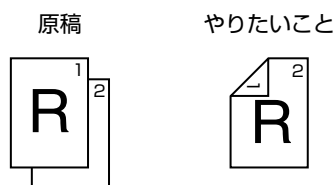
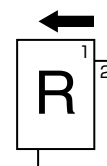
コピー設定のこつ

■ ガラス面で A4 サイズに全面印刷された原稿を端が欠けないように A4 用紙にコピーしたい

1 原稿をセットします

2 操作パネルで設定します

[拡大／縮小] の設定
　Fit

■ 自動原稿送り装置で A4 サイズに片面印刷された原稿を A4 用紙に両面コピーしたい

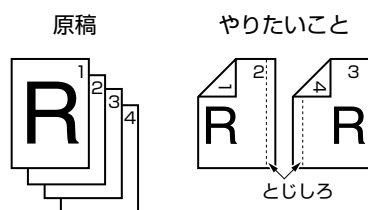
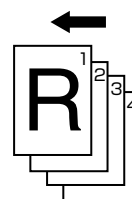
● 左右とじのとき

原稿

1 原稿をセットします

2 操作パネルで設定します

[両面] の設定
　片面⇒両面
　左右とじ

● 左右とじで 15mm のとじしろを付けて原稿の端が欠けないようにするとき

原稿

1 原稿をセットします

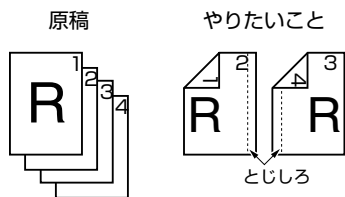
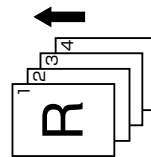
2 操作パネルで設定します

[両面] の設定
　片面⇒両面
　左右とじ

[とじしろ] の設定
　表面：左幅 ＋15mm
　裏面：左幅 －15mm

[拡大／縮小] の設定
　87%

■自動原稿送り装置で A3 サイズに縦長、片面印刷された原稿を A3 用紙に両面コピーしたい

● 左右とじで 15mm のとじしろを付けるとき

1 原稿をセットします

2 操作パネルで設定します

[両面]の設定
片面⇒両面
上とじ

[とじしろ]の設定
表面：上幅 −15mm
裏面：上幅 +15mm

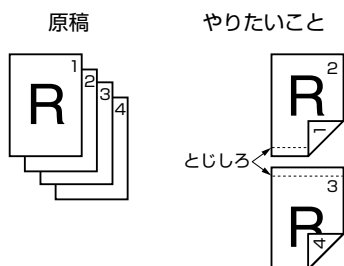
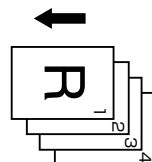
● 上とじで 15mm のとじしろを付けるとき

1 原稿をセットします

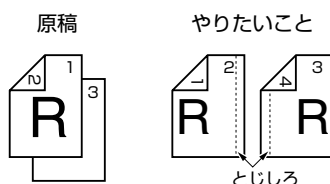
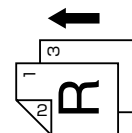
2 操作パネルで設定します

[両面]の設定
片面⇒両面
左右とじ

[とじしろ]の設定
表面：左幅 −15mm
裏面：左幅 +15mm

こんなことができます
1 プリントする 準備 使い方
2 コピーする
3 ファクスする 準備 使い方
4 スキャンする 準備 使い方
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

■ 自動原稿送り装置で A3 サイズに縦長、左右とじで両面印刷された原稿を A3 用紙に両面コピーしたい

● 左右とじで 15mm のとじしろを付けるとき

原稿　やりたいこと

1 原稿をセットします

2 操作パネルで設定します

[両面] の設定
　両面⇒両面
　左右とじ

[とじしろ] の設定
　表面：上幅 −15mm
　裏面：上幅 −15mm

● 上とじで 15mm のとじしろを付けるとき

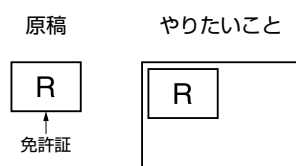
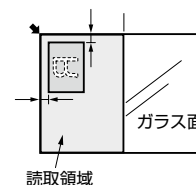
原稿のセット方法
左右とじと同じ（上図）

1 原稿をセットします

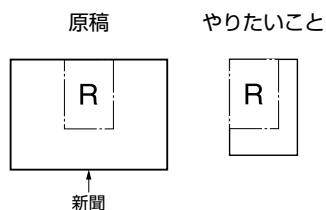
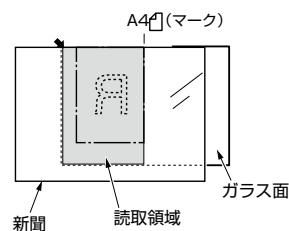
[両面] の設定
　両面⇒両面
　上とじ

2 操作パネルで設定します

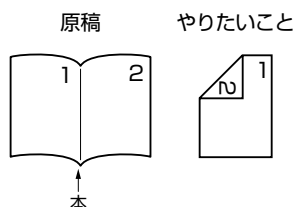
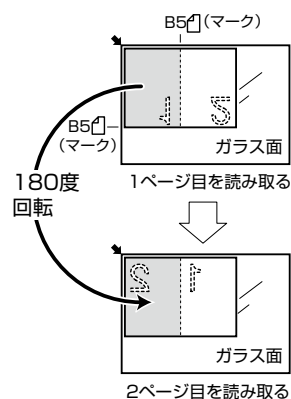
[とじしろ] の設定
　表面：左幅 +15mm
　裏面：左幅 +15mm

■ ガラス面で免許証の全面を A4 用紙の左隅に等倍でコピーしたい

1 端から 6mm くらい離してセットします

2 操作パネルで設定します

[読取サイズ] の設定
A4

■ガラス面で新聞の一部分を A4 用紙に等倍でコピーしたい

1 スキャナの原稿サイズのマークに合わせてセットします

2 操作パネルで設定します

[読取サイズ]の設定
A4

■ガラス面で本（B5 サイズ）の複数ページを B5 用紙に両面コピーしたい

1 原稿をセットします

2 操作パネルで設定します

[両面]の設定
片面⇒両面
上とじ

[継続読取]の設定
ON

[読取サイズ]の設定
B5

こんなことができます
1 プリントする 準備 使い方
2 コピーする
3 ファクスする 準備 使い方
4 スキャンする 準備 使い方
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

3 ファクスする

便利なファクス機能

●宛先表や短縮ダイヤルを使って送信できます

●ファクス専用機として使ったり、電話とファクスを兼用したりできます

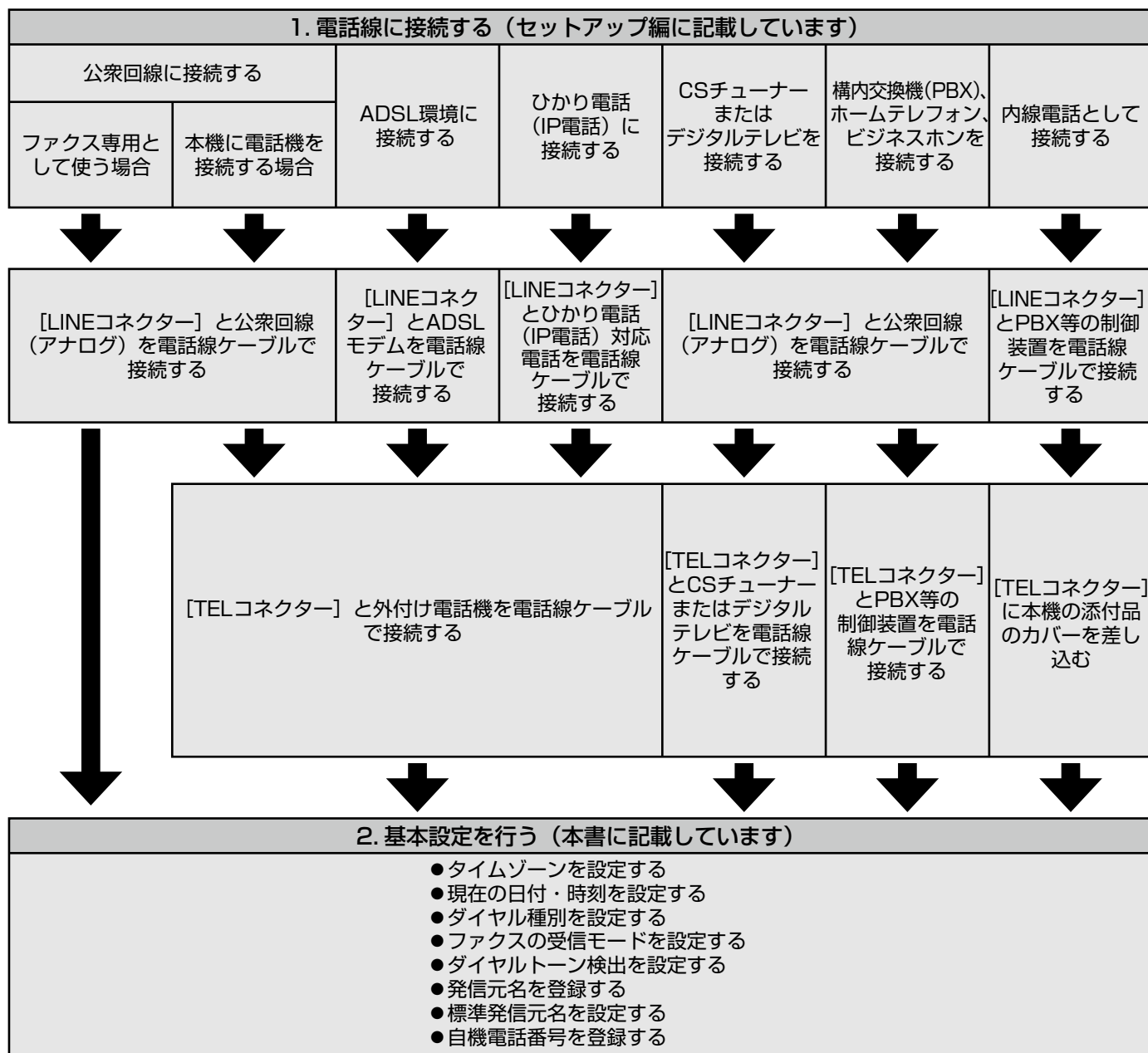
●よく送信する相手先の電話番号を登録できます

●ペーパーレスでファクスを送信できます

「コンピュータからファクスを送信する」

「電話帳にファクス番号を追加する」

かぎ括弧がついている項目は、便利な機能 / 本体の設定編を参照してください。

ファクスの初期設定の流れ

ファクスを送信するための準備（設置モード）

設定する項目について

設置モードで登録する項目は以下の通りです。

● タイムゾーン

タイムゾーンの設定を行います。

「タイムゾーンを設定する」（P.66）をご覧ください。

● 時刻設定

ディスプレーの時刻を正しく設定します。時刻指定送信や通信管理などファクスすべての基準になります。

西暦、月日、時分を入力します。時刻は 24 時間制で入力します。

「現在の日付・時刻を設定する」（P.67）をご覧ください。

● ダイヤル種別

接続する回線の種類に合わせて設定します。設定が合っていない場合は、電話やファクスが使用できません。

「ダイヤル種別を設定する」（P.67）をご覧ください。

● ファクス受信モード

ファクス待機、電話／ファクス待機、ファクス／電話待機、留守／ファクス待機、電話待機から、ご使用に合わせた受信モードを選びます。

「ファクスの受信モードを設定する」（P.68）をご覧ください。

● ダイヤルトーン検出

ダイヤルトーン検出の設定を行います。

「ダイヤルトーン検出を設定する」（P.69）をご覧ください。

● 発信元名

相手先に発信元名を表示させたり、相手先の受信原稿にプリントしたりして、受信側でどこから送信された原稿なのかを確認しやすくできます。発信元名の設定には、3 種類登録できます。

発信元名は半角文字では 22 文字、全角文字では 11 文字まで登録できます。

「発信元名を登録する」（P.69）をご覧ください。

● 標準発信元名

登録した 3 種類の発信元名のうち、常に使う発信元名を標準発信元名として登録できます。

「標準発信元名を設定する」（P.70）をご覧ください。

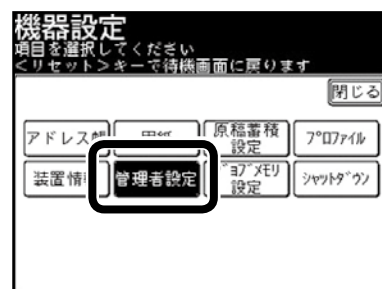
● 自機電話番号

相手先に本機のファクス番号を通知したり、相手先の受信原稿にプリントしたりできます。20 桁まで登録できます。

「自機電話番号を登録する」（P.71）をご覧ください。

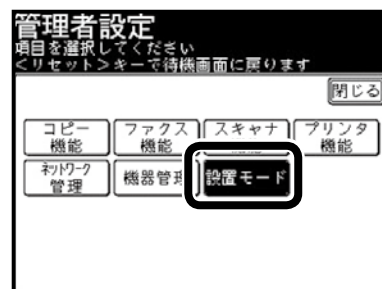
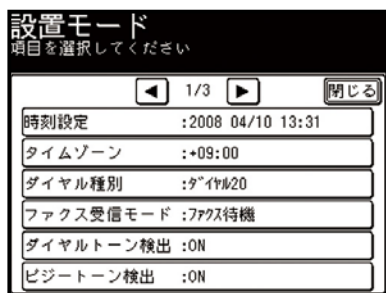
設置モードへの入りかた

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

● 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［設置モード］を押します。

5 設置モードの一覧が表示されます。

メモ

- 画面を切り替えるには、カーソルキー◀▶を押します。

6 各項目を登録していきます。「設定する項目について」（P.65）をご覧ください。

7 すべての項目を登録後、<リセット>キーを押し、待機画面に戻します。

8 <レポート印刷>キーを押し、機器設定を印刷し、登録内容が正しいか確認します。

参照

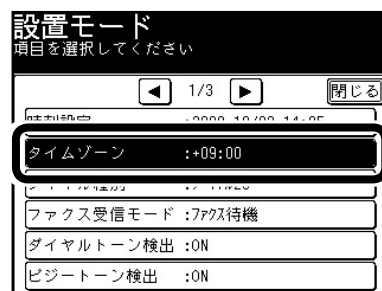
- 機器設定印刷の詳しい手順は、便利な機能 / 本体の設定編「装置の設定に関するリストを印刷する」をご覧ください。

タイムゾーンを設定する

タイムゾーンを設定します。

1 ［タイムゾーン］を押します。

参照

- 設置モードへの入りかたは、「設置モードへの入りかた」（P.65）をご覧ください。

2 テンキーを使って、タイムゾーンを入力します。

3 入力後、［確定］を押します。

メモ

- 日本国内で使用する場合は、[+09：00] に設定します。

現在の日付・時刻を設定する

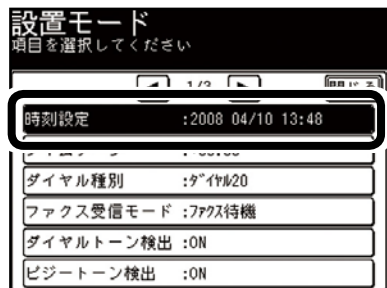
現在の時刻を、年（西暦 4 桁）、月（2 桁）、日（2 桁）、時（24 時間制 2 桁）、分（2 桁）の順に入力します。

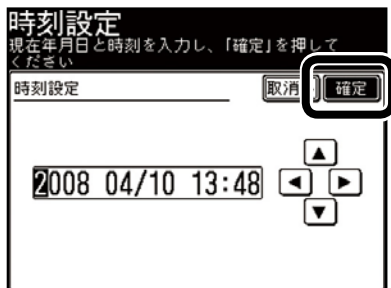
注

● タイムゾーンを設定してから、現在の時刻を入力してください。

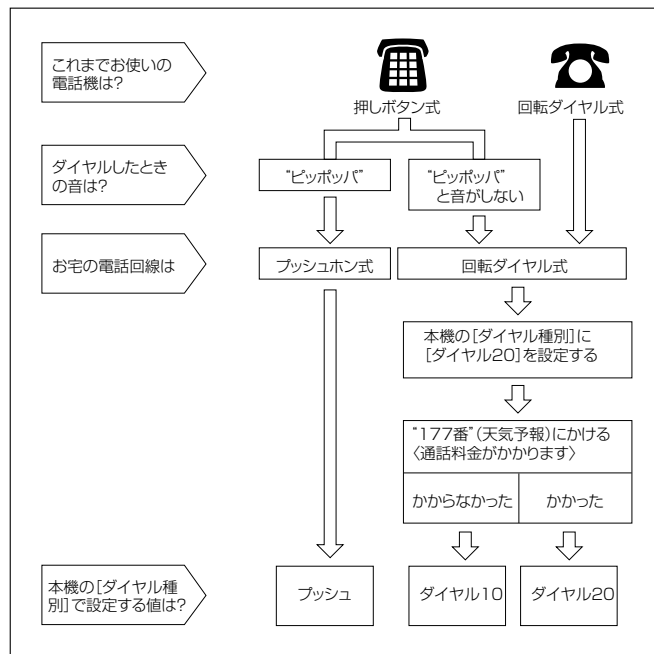
1 ［時刻設定］を押します。

参照

● 設置モードへの入りかたは、「設置モードへの入りかた」（P.65）をご覧ください。

2 テンキーまたはカーソルキーを使って、現在時刻を入力します。

3 入力後、［確定］を押します。

ダイヤル種別を設定する

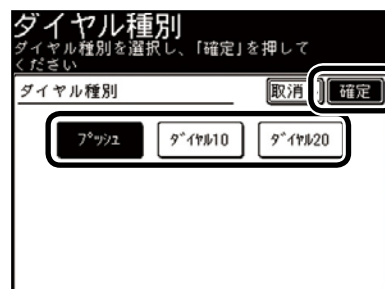
接続する回線の種類に合わせて設定します。

■通信回線の見分けかた

1 ［ダイヤル種別］を押します。

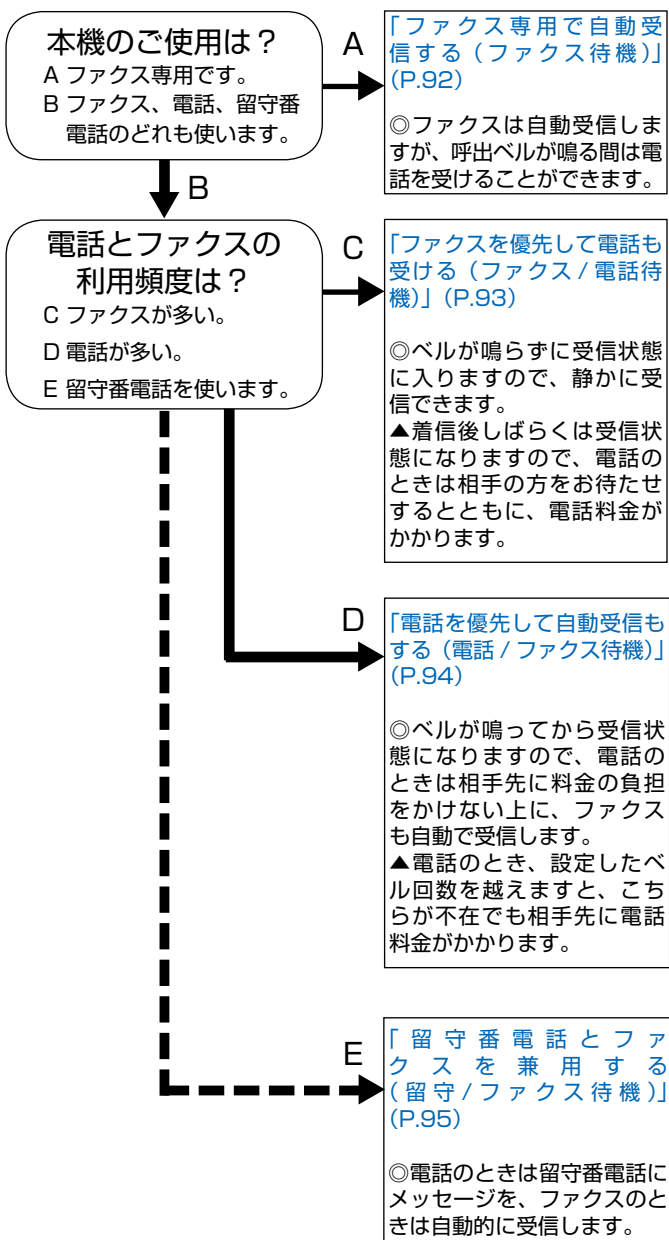
参照

● 設置モードへの入りかたは、「設置モードへの入りかた」（P.65）をご覧ください。

2 ダイヤル種別を選択します。

3 選択後、［確定］を押します。

ファクスの受信モードを設定する

ファクス受信モードの選びかた

ご使用に合わせてファクス受信モードをお選びください。以下の質問にお答えいただくと、どのファクス受信モードが最良か選択できるようになっています。

ファクス受信モードを設定する

ご利用のしかたに合わせ、受信モードを選択します。

参照

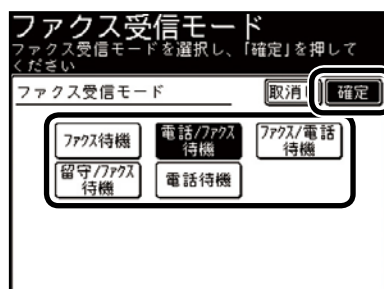
- 受信モードの選びかたについては「ファクス受信モードの選びかた」（P.68）をご覧ください。

1 ［ファクス受信モード］を押します。

参照

- 設置モードへの入りかたは、「設置モードへの入りかた」（P.65）をご覧ください。

2 受信モードを選択します。

3 選択後、［確定］を押します。

ダイヤルトーン検出を設定する

ON に設定すると、必ずダイヤルトーンの検出を行います。

メモ

● 工場出荷時の設定では、［ON］になっています。

1 ［ダイヤルトーン検出］を押します。

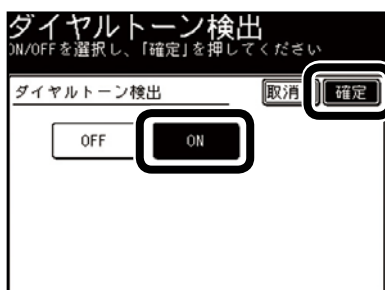
メモ

● ダイヤルトーンとは受話器を上げたときに聞こえる「ツー」という音です。

参照

● 設置モードへの入りかたは、「設置モードへの入りかた」（P.65）をご覧ください。

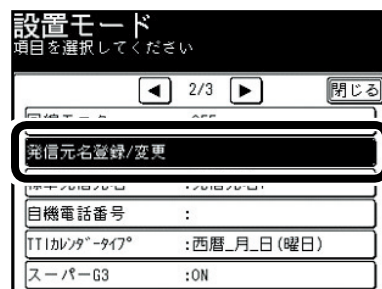
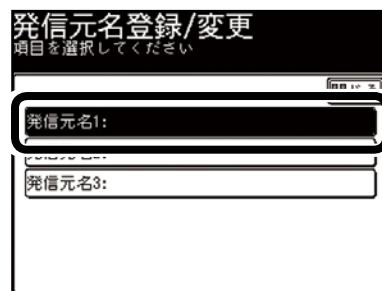
2 ダイヤルトーンの検出を行う場合は、［ON］を押します。

3 ［確定］を押します。

発信元名を登録する

3 種類登録できます。

1 ［▶］を押して［設置モード］の［2/3］を表示して［発信元名登録／変更］を押します。

参照

● 設置モードへの入りかたは、「設置モードへの入りかた」（P.65）をご覧ください。

2 ［発信元名 1］を押します。

3 発信元名を入力します。

4 入力後、［確定］を押します。

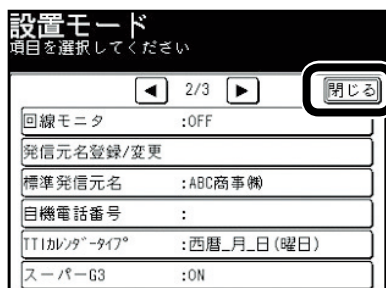
参照

● 文字入力についてはセットアップ編「文字を入力する」を参照してください。

メモ

● 半角文字では 22 文字まで、全角文字では 11 文字まで登録できます。

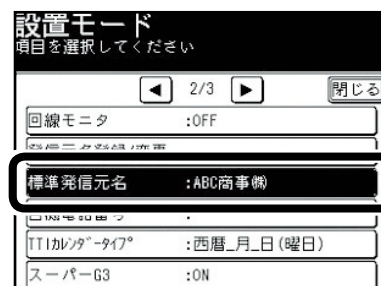
5 2 と同様の手順で、［発信元名 2］、［発信元名 3］を入力します。

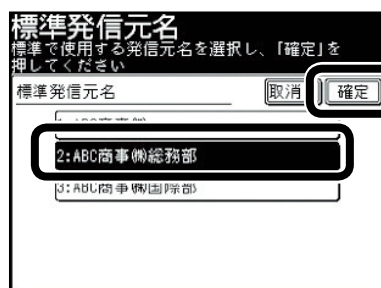
6 ［閉じる］を押します。

標準発信元名を設定する

登録してある発信元名から、通常使用する発信元名を選びます。

1 ［標準発信元名］を押します。

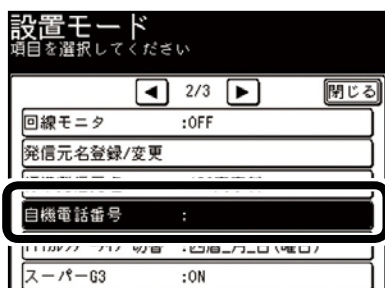
参照

- 設置モードへの入りかたは、「設置モードへの入りかた」（P.65）をご覧ください。

2 標準で使用する発信元名を選択します。

3 ［確定］を押します。

自機電話番号を登録する

1 ［自機電話番号］を押します。

参照

- 設置モードへの入りかたは、「設置モードへの入りかた」（P.65）をご覧ください。

2 テンキーで自機電話番号を入力します。

3 ［確定］を押します。

メモ

- 自機電話番号番号は 20 桁まで登録できます。
- 「+」は国別番号を表わす記号です。
- 番号を間違えた場合は、［クリア］を押して正しい番号を入力し直してください。

こんなことができます
1 プリントする 準備 使い方
2 コピーする
3 ファクスする 準備 使い方
4 スキャンする 準備 使い方
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

ファクスを送信する

ファクスを送信する

■操作の前に・・・・

● 短縮ダイヤルを使用するときは、あらかじめ登録しておきます。

参照

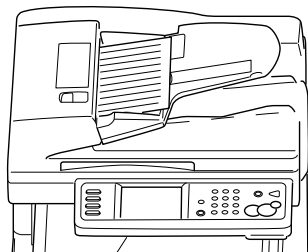
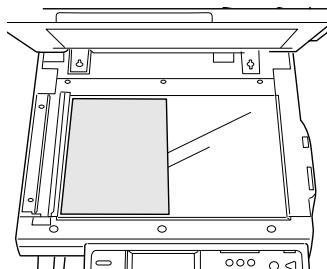
● 「短縮ダイヤル」（P.97）をご覧ください。

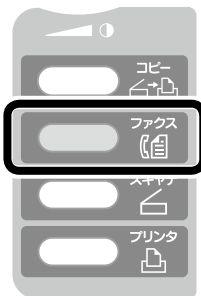
● ガラス面で送信する場合は、自動原稿送り装置に原稿がないことを確認してください。

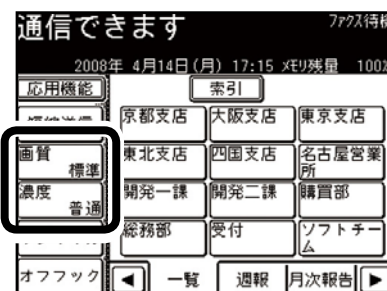
1 原稿をセットします。

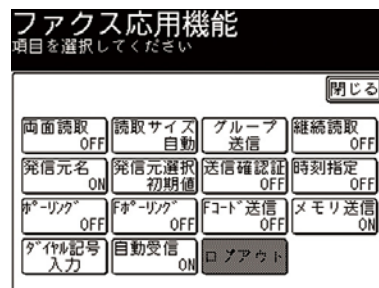
● 自動原稿送り装置

● ガラス面

参照

● 原稿のセット方法については、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

2 <ファクス>キーを押します。

3 送信画質・濃度の設定を行います。

参照

● 「送信画質を設定する」（P.81）、「送信濃度を設定する」（P.81）をご覧ください。

4 必要に応じて、［応用機能］を押し、各種機能の設定を行います。

参照

● 詳しくは、便利な機能 / 本体の設定編「いろいろなファクスのしかた」をご覧ください。

5 相手先を指定します。

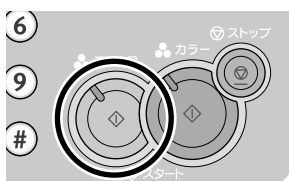
参照

● 相手先の指定方法は以下の方法があります。

-「直接入力する」（P.73）
-「短縮ダイヤルリストを使用する」（P.73）
-「宛先表を使用する」（P.74）

● 複数の相手先を指定するには、便利な機能 / 本体の設定編「多数の相手に一度に送信する」をご覧ください。

6 <モノクロスタート>キーを押します。

原稿が読み取られ、送信が開始されます。

メモ

- 通信中に送信の予約をすることができます。現在の通信が終了すると、予約した送信を開始します。最大 100 通信まで送信予約できます。

参照

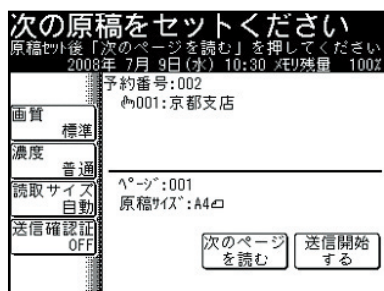
- 原稿サイズが検知できないときは、「読み取りサイズを指定する（読取サイズ）」（P.80）を参照してください。
- 送信を中止するときは、「ファクス送信を中止する」（P.85）を参照してください。

■こんなときには？

ガラス面を使って複数枚の原稿を送る。

あらかじめ、［継続読取］を ON に設定しておきます。

1 枚目読み取り後、［次のページを読む］を押します。

全ての原稿の読み取りが終わったら、［送信開始する］を押します。

宛先を指定する

直接入力する

テンキーを押して、相手先の番号を入力します。

1 テンキーで相手先のファクス番号を入力します。

メモ

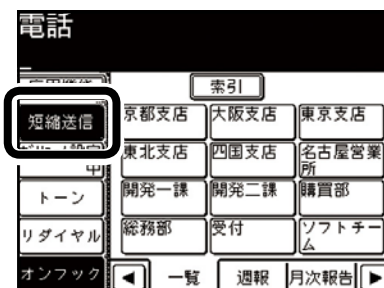
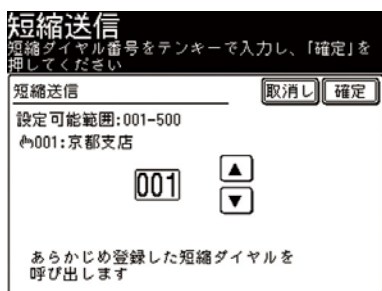
- 番号は 40 桁まで入力できます。

参照

- ダイヤル記号を入力して、様々な機能を指定できます。「ダイヤル記号について」（P.84）を参照してください。
- 入力した番号を、短縮ダイヤルに登録することができます。「テンキーで入力した番号を登録する」（P.99）を参照してください。

短縮ダイヤルリストを使用する

1 ［短縮送信］を押します。

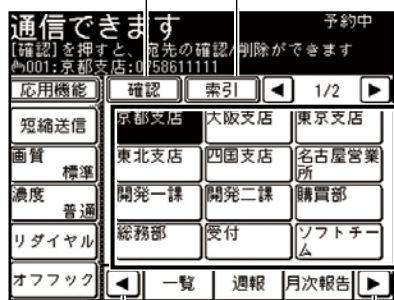
こんなことができます
1 準備 使い方 プリントする
2 コピーする
3 準備 使い方 ファクスする
4 準備 使い方 スキャンする
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

2 テンキーまたはタッチパネルの［▲］［▼］で短縮番号（001 ～ 500）を入力します。

宛先表を使用する

宛先表では、登録されたダイヤルの一覧から相手先を選択したり、読み仮名別に相手先を選択したりすることができます。

表示方法には次の４つがあります。

- 一覧
- グループ
- 番号順
- 読み仮名

確認
宛先の確認と削除をする時に押します。

索引
タブを一覧表示します。
「送信方法を設定する（メモリ送信 / リアルタイム送信）」（P.83）の「こんなときには？」を参照してください。

相手先一覧
登録した相手先が表示されます。タブによって表示内容が変わります。

タブ切り替えカーソル
複数のタブがある場合、タブを切り替える時に押します。

タブ
登録した相手先は項目ごとに分類されています。タブを押すと、分類された相手先を表示できます。お気に入りタブ設定にて表示するタブを最大３つまで登録することができます。便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。

❏ 一覧

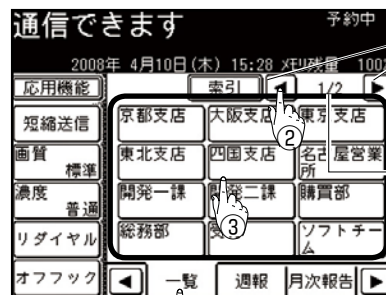
登録されている全ての短縮ダイヤルを表示します。

メモ

- 短縮ダイヤルは合計 500 件登録できます。

1 ［一覧］タブを押します。

2 ページ切り替えカーソルを押して、指定したい相手先を表示します。

3 指定したい相手先を押します。

ページ切り替えカーソル
ページを切り替えるときに押します。

ページ番号
現在表示している一覧表示のページ番号です。

相手先
短縮ダイヤルに登録されている相手先一覧です。12 宛先ごとに表示されます。

メモ

- 相手先を押すと反転表示して選択されます。もう一度押すと元の表示に戻り、選択が解除されます。
- 複数の相手先を連続して指定することができます。（同報送信）

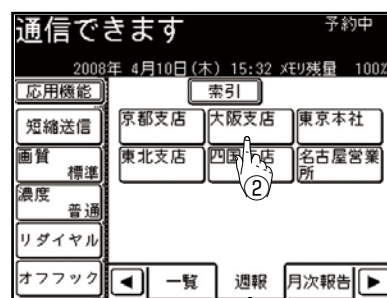
❏ グループ

短縮ダイヤルの登録時にグループ No. を設定すると、グループ No. ごとに宛先表に表示されます。

グループ内に登録された相手先から、宛先を指定することができます。

参照

- グループに名前を付けることができます。「グループダイヤルを登録 / 編集する」（P.103）を参照してください。

1 指定したい相手先が登録されているグループのタブを押します。

2 指定したい相手先を押します。

メモ

- 相手先を押すと反転表示して選択されます。もう一度押すと元の表示に戻り、選択が解除されます。
- 複数の相手先を連続して指定することができます。（同報送信）
- タブを切り替えるには、タブの横のカーソルキーを押します。

❑ 番号順

登録された短縮ダイヤルを、短縮ダイヤルの番号順に表示します。相手先をタッチパネル上から直接指定できます。番号順の表示は 100 ページあり、５宛先ごとに表示されます。

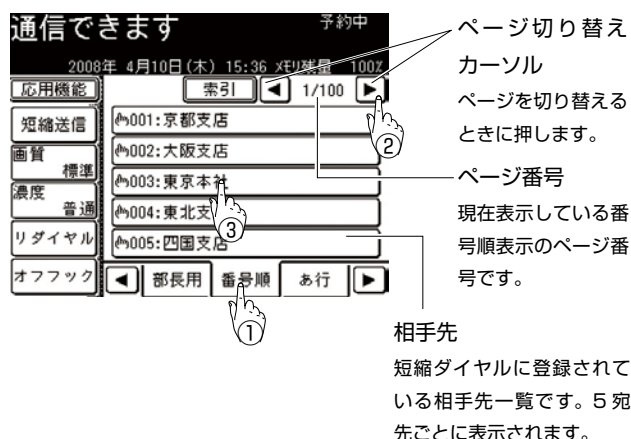
メモ

- 短縮ダイヤルは合計 500 件登録できます。

1 ［番号順］タブを押します。

2 ページ切り替えカーソルを押して、指定したい相手先を表示します。

3 指定したい相手先を押します。

メモ

- ［番号順］タブが表示されていない場合は、タブで切り替えカーソルを押して表示させます。
- 相手先を押すと反転表示して選択されます。もう一度押すと元の表示に戻り、選択が解除されます。
- 複数の相手先を連続して指定することができます。（同報送信）

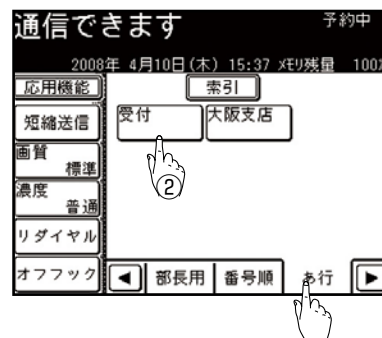
❑ 読み仮名

短縮ダイヤルの登録時に相手先名を登録すると、相手先名は五十音、アルファベット、記号に分類されて表示されます。

メモ

- 相手先名を登録しない場合は、分類されません。また、短縮ダイヤルの登録時に読み仮名を登録することにより、意図した読み仮名タブに表示させることができます。

1 短縮ダイヤルの登録時に登録した相手先名が含まれるタブを押します。

2 指定したい相手先を押します。

メモ

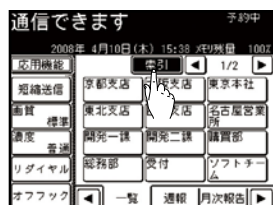
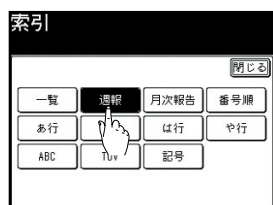
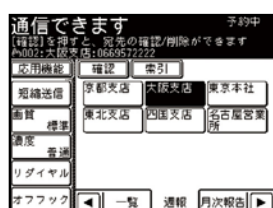
- 相手先を押すと反転表示して選択されます。もう一度押すと元の表示に戻り、選択が解除されます。
- 複数の相手先を連続して指定することができます。（同報送信）
- タブを切り替えるには、タブの横のカーソルキーを押します。

■こんなときには？

タブが多くて切り替えが面倒。

● 索引

多数の相手先を登録すると非常に多くのタブが表示されるため、指定したい相手先を見つけにくくなります。[索引]を使うとタブが一覧表示されるため、すばやく目的の相手先名を表示できます。

1 [索引] を押します。

2 表示したいタブを押します。

3 選択したタブが表示されます。指定したい相手先を押します。

● お気に入りタブ設定

待機画面の最初の画面に表示する宛先のタブを最大３つまで登録することができます。便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。

ただし、待機画面にタブが３つ以下の場合は、登録しても表示されません。

送信履歴を使用する（リダイヤル）

送信した相手先に再度ダイヤルすることをリダイヤルと呼びます。リダイヤルには本機を操作して行う「手動リダイヤル」と、相手先が話し中などで送信できない場合、本機が自動的に判断してリダイヤルする「自動リダイヤル」の２種類があります。

❑手動リダイヤルのしかた

ファクスを送った相手、電話をかけた相手を 10 件まで記憶しています。

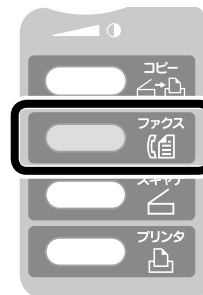
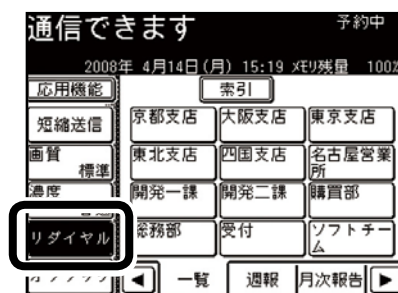
メモ

● 電話番号は 1 件につき 40 桁まで記憶しています。

1 原稿をセットします。

参照

● 原稿のセット方法については、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

2 ＜ファクス＞キーを押します。

3 [リダイヤル] を押します。

4 リダイヤルする相手先番号を選択します。

メモ

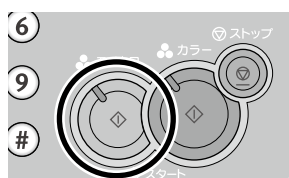
● リダイヤルは相手先の番号だけ表示します。短縮ダイヤルに登録した相手先名は表示しません。

5 ［確定］を押します。

メモ

- 番号を変更する場合は、［クリア］を押して入力し直してください。

6 複数の相手先を選択する場合は、手順３から操作を繰り返してすべての相手先を選択します。

7 ＜モノクロスタート＞キーを押します。

❑ 自動リダイヤルについて

自動送信の場合、相手が通信中などで送信できない場合は、「リダイヤル待ち」と表示され、自動的にかけ直します。

参照

- 自動リダイヤルの回数と間隔は、０回～ 15 回および０分～５分の間で変更することができます。便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。

メモ

- リダイヤル待ちの中止は、「ファクス送信を確認 / 中止する」(P.85) を参照してください。
- リアルタイム送信を行ったときは、原稿を取り除くとリダイヤルを解除します。
- リダイヤル初期値は回数３回、間隔１分に設定されています。

設定した回数のリダイヤルを行っても送信されなかった場合、メモリーに蓄積した原稿を消去し、エラーメッセージをプリントします。

参照

- エラーメッセージの内容は困ったときには / 日々のメンテナンス編「操作パネルにエラーメッセージが表示されるとき」をご覧ください。

原稿蓄積中にメモリーオーバーしたとき

原稿の蓄積中にメモリー容量をオーバーしたときは、次のようなメッセージを表示し、メモリーに蓄積した原稿を消去します。

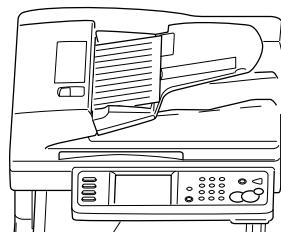
手動で送信する

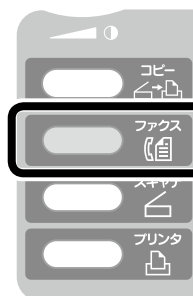
相手が手動受信の場合や、会話の後で送信する方法です。

注

- ガラス面からの手動送信はできません。

1 自動原稿送り装置に原稿をセットします。

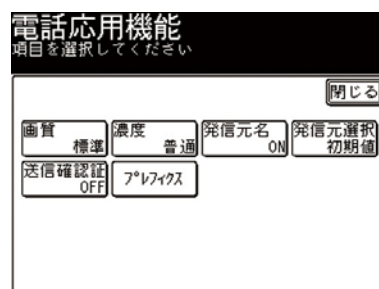
参照

- 原稿のセット方法については、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

2 <ファクス>キーを押します。

3 必要に応じて送信画質・濃度の設定を行います。

参照

- 「送信画質を設定する」(P.81)、「送信濃度を設定する」(P.81)をご覧ください。

4 必要に応じて、[応用機能] を押し、各種機能の設定を行います。

手動送信の場合、応用機能は限られた機能だけになります。

5 ［オフフック］を押します。または受話器を上げます。

メモ

- ツーという発信音を確認します。

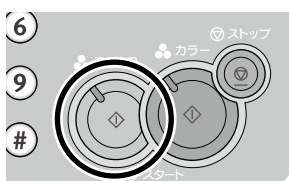
6 相手先を指定します。

参照

- 相手先の指定方法は以下の方法があります。

-「直接入力する」(P.73)
-「短縮ダイヤルリストを使用する」(P.73)
-「宛先表を使用する」(P.74)

7 「ピープルプル」という音が聞こえたら、<モノクロスタート>キーを押します。

<モノクロスタート>キーを押すと、送信が始まります。受話器を上げて発信したときは、元に戻します。

注

- 手動送信の場合、以下の機能は働きません。
  同報送信、時刻指定送信、回転送信、F コード通信、ポーリング通信、ID チェック送信、ダイヤル2度押し、同報宛先確認

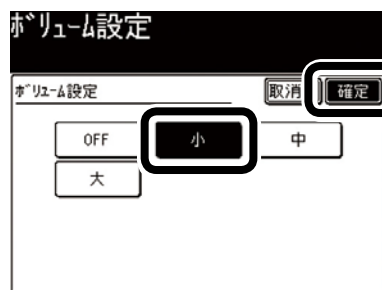
■こんなときには？

［オフフック］を押したときのスピーカーの音量を調整したい。

1 ［ボリューム設定］を押します。

2 設定したい音量を選択します。

3 ［確定］を押します。

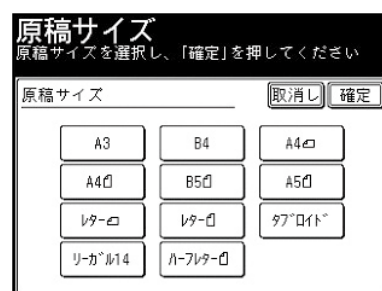
こんなことができます
1 準備 使い方 プリントする
2 コピーする
3 準備 使い方 ファクスする
4 準備 使い方 スキャンする
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

ファクス送信の設定を変更する（応用設定）

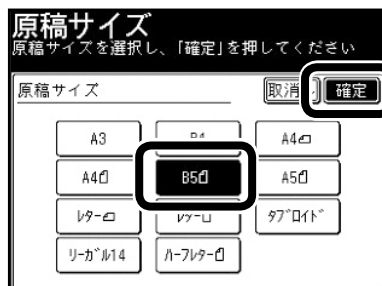
原稿サイズの自動検知について

- 自動原稿送り装置、ガラス面とも A3、B4、A4 、A4 、B5 、B5 、A5 、A5 サイズ原稿を自動検知できます。
- B5、A5 サイズの原稿は、A4 原稿として送信されます。（余白ができます）
- 回転送信を設定しているときは、A4 は A4 として送信することができます。
  便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。

読み取りサイズを指定する（読取サイズ）

ガラス面にて原稿サイズが自動検知できないとき（不定形の原稿や、正しい位置に原稿が置かれていないときなど）は、原稿の読み取りサイズを指定して送信します。

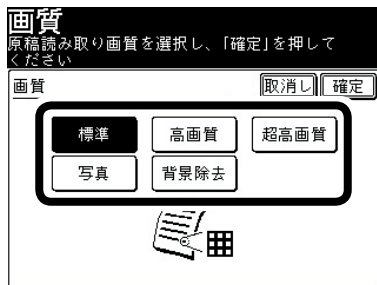
1 原稿サイズが自動検知できないとき、以下の画面になります。

2 原稿サイズを選択します。

3 ［確定］を押すと原稿の読み取りが始まります。

送信画質を設定する

原稿や文字に合わせて、送信画質を選択します。

1 ［画質］を押します。

2 希望する画質を押します。

- 標　準：普通の文字の原稿を送信するとき
- 高画質：小さな文字の原稿を送信するとき（新聞など）
- 超高画質：精密なイラストや辞書のような細かい文字を送信するとき
- 写　真：写真を送信するとき
- 背景除去：車検証などの地模様や地色のある原稿の背景を読み取りません。

3 ［確定］を押します。

メモ

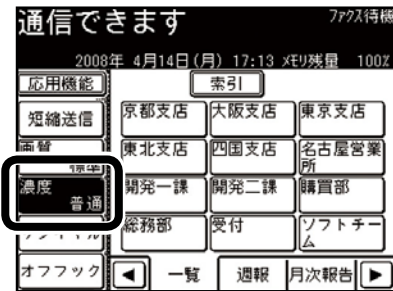
- 「超高画質」は相手機により使用できない場合があります。
- 標準モードから写真モードになるほど、通信時間が長くなります。

参照

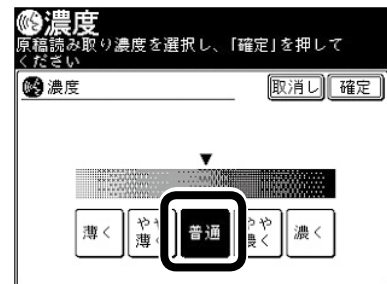
- 画質の初期値を変更できます。変更方法は便利な機能 / 本体の設定編「送信機能の初期値を変更する」を参照してください。

送信濃度を設定する

原稿や文字に合わせて、送信濃度を選択します。

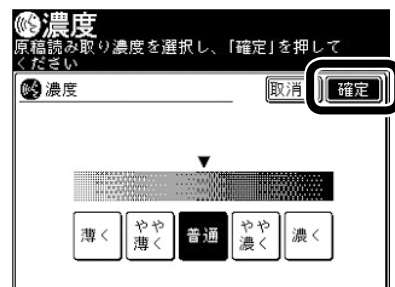
1 ［濃度］を押します。

2 希望する濃度を押します。

原稿に合わせて、5 段階に濃度を選びます。

- 濃く：濃く読み取りたいとき
- やや濃く：濃くと普通の中間
- 普通：普通の原稿のとき
- やや薄く：薄くと普通の中間
- 薄く：薄く読み取りたいとき

3 ［確定］を押します。

参照

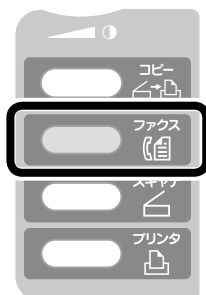
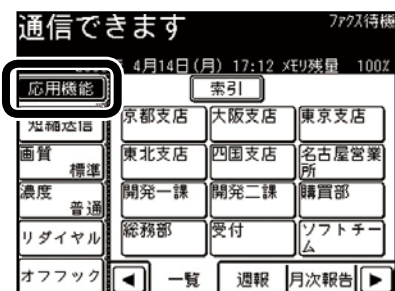
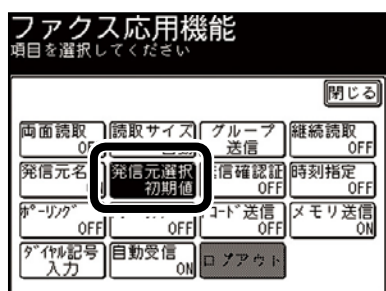
- 濃度の初期値を変更できます。変更方法は便利な機能 / 本体の設定編「送信機能の初期値を変更する」を参照してください。

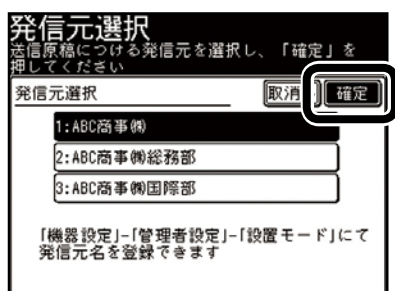
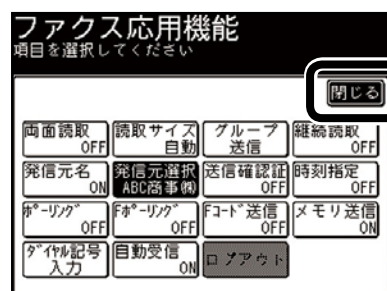
こんなことができます
1 準備 プリントする 使い方
2 コピーする
3 準備 ファクスする 使い方
4 準備 スキャンする 使い方
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

発信元名を設定する

設置モードの発信元名の設定で登録した３種類の発信元名を、通信ごとに選択して送信することができます。

参照

- 発信元名の登録は「発信元名を登録する」（P.69）をご覧ください。

1 ＜ファクス＞キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

3 ［発信元選択］を押します。

4 発信元名を選択します。

5 ［確定］を押します。

6 手順３の画面に戻ります。［閉じる］を押します。

7 送信操作を行います。

送信方法を設定する（メモリ送信 / リアルタイム送信）

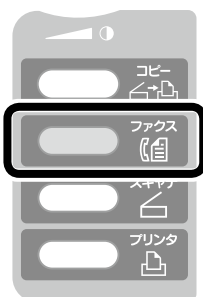
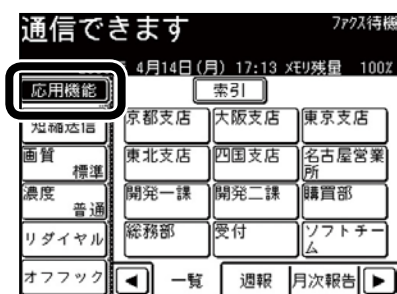
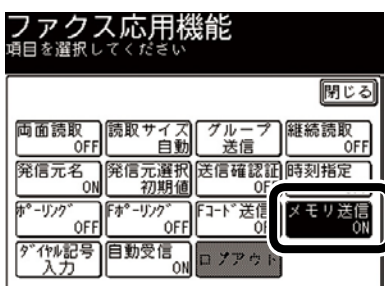
自動送信には、原稿を読み込んだ後に送信を開始するメモリ送信と、原稿を読み取りながら送信するリアルタイム送信とがあります。工場出荷時はメモリ送信が設定されていますが、メモリ送信を OFF に設定すると、１通信のみリアルタイム送信を指定することができます。

- リアルタイム送信

  リアルタイム送信とは、原稿をメモリーに読み込まずに相手へ直接送信する方法です。送信操作後、すぐに送信を開始するので、相手に送られていることを確認できます。
  ガラス面からのリアルタイム送信はできません。
  両面読取でのリアルタイム送信はできません。

- メモリ送信

  メモリ送信とは、原稿をメモリーに読み込んでから送信する方法です。送信終了を待たずに原稿を持ち帰ることができ、時間のロスが少なくなります。メモリ送信の場合は、回線の不良等で画像が乱れると自動的にそのページを送り直します。

1 ＜ファクス＞キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

3 ［メモリ送信］を押します。

4 ［ON］または［OFF］を押します。

5 ［確定］を押します。

メモ
- ON：メモリ送信
- OFF：リアルタイム送信

6 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

7 原稿をセットし、送信操作を行います。

■こんなときには？

ガラス面から送信すると、メモリーオーバーになる。

ガラス面からのリアルタイム送信はできません。リアルタイム送信に設定していても自動的にメモリ送信に切り替ります。原稿によっては、メモリーオーバーになる場合があります。その場合は、自動原稿送り装置でリアルタイム送信してください。

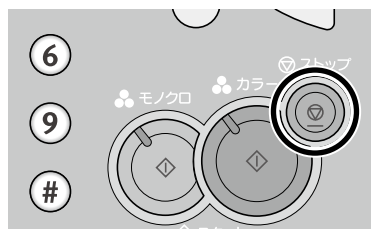
ダイヤル記号について

相手先の番号を入力するときにダイヤル記号を挿入し、様々な機能を追加することができます。ダイヤル記号は、短縮ダイヤルの登録時にも使用できます。

キー名称	液晶表示	機能および用途
ポーズ	／P	ダイヤルに間隔を空けたいときに使います。また、ファクシミリ通信網を利用するときにも使います。便利な機能 / 本体の設定編「ファクシミリ通信網サービス」をご覧ください。 （例）075-111-2222/P123 #
トーン	／T	ダイヤル回線に接続している場合で、トーンを送出したいときに使います。 （例）075-111-2222/T123 #
プレフィクス	／N	プレフィクス番号を入力することができます。便利な機能 / 本体の設定編「局番を設定する（プレフィクス)」をご覧ください。 （例）/N075-111-2222
第 1 発信	／D	内線からの 0 発信（第 1 発信音）のときに使います。 （例）0/D075-111-2222
第 2 発信	／S	ファクシミリ通信網や海外通信（準 ISD）のときに使います。一部、地域によっては第 2 発信音が出ない場合もありますので、その場合はポーズ（/P）を入力されることをおすすめします。 （例）161/S075-111-2222

ファクス送信を確認 / 中止する

ファクス送信を中止する

ファクス送信を中止したいときは、<ストップ>キーを押します。

通信予約を取り消す

通信予約文書がある場合は、<ファクス確認／中止>キーが点灯します。

<点灯>

メモ

- 通信予約されている文書がない場合は、<ファクス確認／中止>キーは消灯しています。

通信文書を確認 / 中止する

音声案内

現在通信中の文書がある場合と通信中の文書がない場合と操作が異なります。

1 <ファクス確認／中止>キーを押します。

通信中の文書がない場合は、手順 2 に進みます。

通信中の文書がある場合は、手順 5 に進みます。

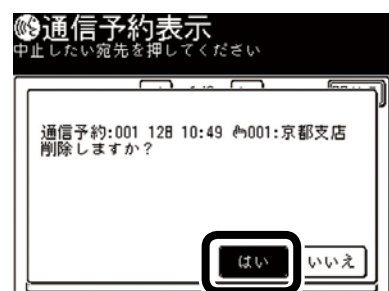
2 ［通信予約表示］を押します。

3 通信予約されている文書が表示されます。

メモ

- 現在通信中の文書は一番初めに表示します。(「通信中」と表示されています。)
- 通信予約文書は時刻順に表示します。画面を切り替えるには◀▶キーを押します。
- グループ送信、同報送信は「同報宛先」と表示されます。

4 通信を中止したい場合は、中止したい通信文書を選択します。

5 ［はい］を押します。選択した通信文書が削除されます。

メモ

- 選択した通信文書が現在通信中だった場合は、通信が中止されます。
- <リセット>キーを押すと待機画面に戻ります。

注

- 「同報送信」「グループ送信」の文書を削除した場合は、全ての同報宛先が削除されます。同報送信は、宛先を個別に削除することができます。

同報送信を確認 / 中止する

音声案内

同報送信のときは、同報宛先を確認したり、宛先を個別に消去したりすることができます。

! 注

- 現在通信中の文書がある場合と通信中の文書がない場合と操作が異なります。

1 ＜ファクス確認／中止＞キーを押します。

通信中の文書がない場合は、手順 2 に進みます。

通信中の文書がある場合は、手順 5 に進みます。

2 ［通信予約表示］を押します。

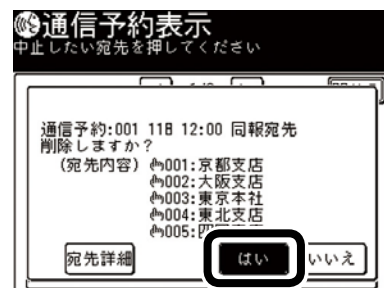
3 通信予約されている文書が表示されます。

メモ

- 画面を切り替えるには ◀ ▶ キーを押します。

4 通信を中止したい場合は、中止したい同報送信を選択します。

「同報宛先」と表示されています。

5 ［はい］を押します。選択した通信文書が削除されます。

! 注

- 全ての同報宛先が削除されます。

参照

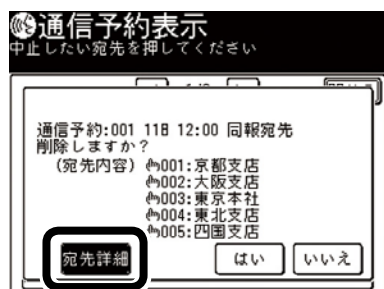
- 宛先を個別に消去するときは、「■宛先を個別に消去する」に進みます。

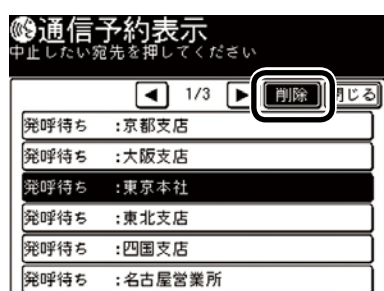
6 通信予約文書の一覧に戻るときは、［閉じる］を押します。

■宛先を個別に消去する

1 ［宛先詳細］を押します。

同報で指定されている各宛先が表示されます。

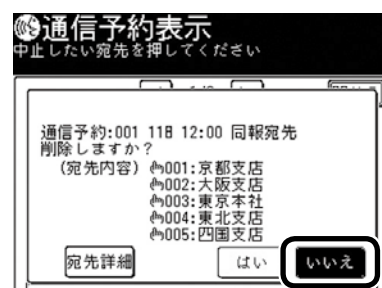
- 「発呼待ち」：まだ発呼していない宛先です。
- 「通信中」：現在通信中の宛先です。
- 「通信終了」：通信が終了した宛先です。
- 「削除中」：宛先を消去した後、実際に削除が完了するまで表示されます。
- 「リダイヤル待ち」：リダイヤル待ちの宛先です。

2 通信を中止したい場合、中止したい宛先を選択します。

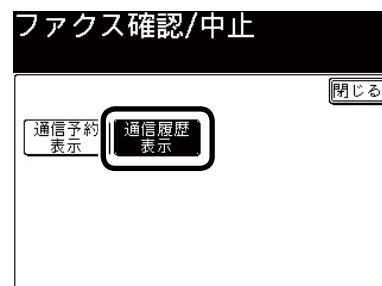
3 ［削除］を押します。選択した通信文書が削除されます。

送信 / 受信履歴を確認する

過去に通信した通信履歴（75 通信分）を、送信と受信に分けて表示できます。また、1 通信ごとの通信結果を表示することもできます。

1 <ファクス確認／中止>キーを押します。

2 現在通信中の文書がある場合は通信中の宛先内容が表示されます。

3 ［いいえ］を押します。

4 ［閉じる］を押します。

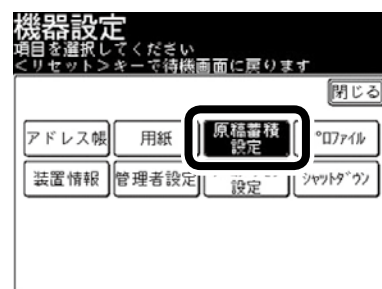
5 ［通信履歴表示］を押します。

6 ［送信履歴］を押します。

7 送信履歴を表示します。詳細情報を見たいときは、それぞれを押します。

通信予約原稿を印刷する

時刻指定送信など、通信予約している原稿を印刷して確認することができます。

1 <機器設定>キーを押します。

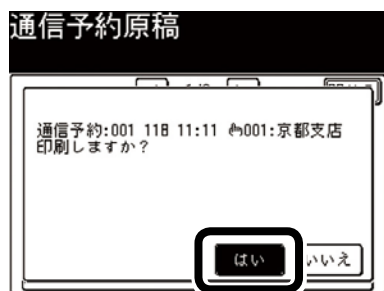
2 ［原稿蓄積設定］を押します。

3 ［印刷］を押します。

4 ［通信予約原稿］を押します。

5 印刷したい通信予約原稿を選択します。

6 [はい] を押します。

選択した通信予約原稿を印刷します。

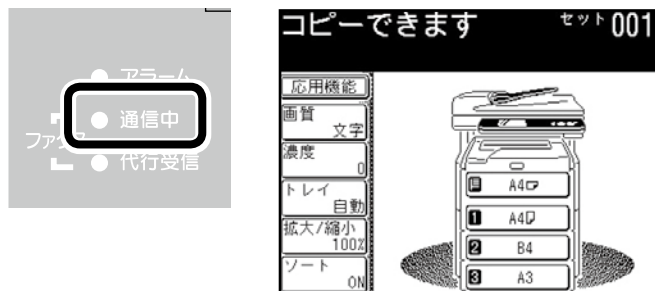
メモ

- 選択した通信予約文書がリアルタイム送信、またはポーリング受信の場合は、印刷できません。

ファクスを受信する

受信中の動作

受信中の表示

ディスプレーには相手先が表示され、受信が完了後印刷されます。通信が終了するまで通信中ランプが点灯します。

<コピー待機画面で受信した場合>

! 注

- 印刷中は用紙カセットを引き出さないでください。紙づまりの原因になります。
- フェイスダウンスタッカーに収容できる枚数は 250 枚、フェイスアップスタッカーに収容できる枚数は 100 枚です。用紙はためすぎないようにしてください。ためすぎると排出不良となり、紙づまりの原因となります。

メモ

- 相手先は次の優先で表示されます。1. 相手先に登録されている発信元名　2. 相手先に登録されている発信元番号
- 受信中にメモリーオーバーしたときは受信が中止されます。相手側に連絡し、もう一度送信するよう依頼してください。

一時的に受信文書をメモリーに蓄積する（代行受信）

代行受信とは、用紙切れ、紙づまりなどで印刷できないときに、受信文書をいったんメモリーに蓄積する機能です。用紙切れなどの処置が終わると、蓄積されている文書が自動的にプリントされます。メモリーに代行受信文書が蓄積されているときは、代行受信ランプが点灯し続けます。

! 注

- 用紙やトナーの交替は、電源を ON のまま行ってください。

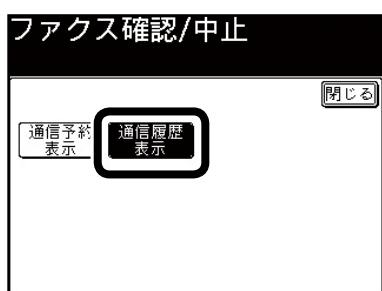
メモ

- メモリーには最大 250 通信、A4 サイズの当社標準原稿で約 1024 枚受信できますが、メモリーの使用量によって異なります。
- 代行受信中にメモリーオーバーしたときは、受信が中止されエラーメッセージが表示されます。受信文書は、用紙切れなどの処置が終わると、蓄積できたところまでが印刷されます。相手側に連絡し、もう一度送信するよう依頼してください。
- 代行受信時に電源が切れた場合、約 72 時間（連続して 48 時間通電時）記憶しています。
- <リセット>キーを押すと待機画面に戻ります。
代行受信の印刷待ちは、印刷ができる状態になると、自動的に印刷されます。

■通信履歴を確認する

代行受信文書の印刷待ち状況を確認できます。

1 <ファクス確認／中止>キーを押します。

2 ［通信履歴表示］を押します。

3 ［受信履歴］を押します。

4 受信履歴が表示されます。詳細情報を見たいときは、それぞれを押します。

受信履歴

◀ 1/3 ▶　閉じる

京都支店	10/28 10:45	OK
大阪支店	10/28 09:00	OK
大阪支店	10/28 08:45	NG
東北支店	10/27 13:30	OK
3345667788	10/27 08:55	OK
京都支店	10/26 09:25	OK

メモ

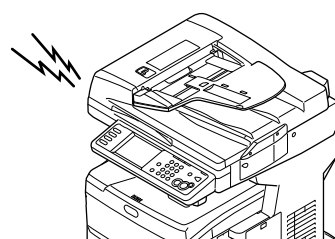
- <リセット>キーを押すと待機画面に戻ります。
  代行受信の印刷待ちは、印刷ができる状態になると、自動的に印刷されます。

受信のしかた

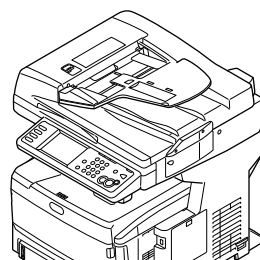
ファクス専用で自動受信する（ファクス待機）

■操作の前に・・・・

- 設置モードの受信モード設定で、ファクス待機を設定してください。「ファクス受信モードを設定する」（P.68）を参照してください。
- 呼出音が鳴るように設定できます。便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。

1 ベルが鳴ります。

参照

- 本体のベルを鳴らすには、［ブザー音量］と［呼出ブザー音］の設定が必要です。便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。
- ベル回数は 0 ～ 10 回の間で変更できます。便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。

2 受信を開始します。

■こんなときには？

呼出ベルの回数を変える。

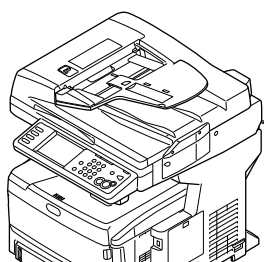
呼出ベルは、0 ～ 10 回の間で回数を設定することができます。呼出ベルの回数を増やし、着信するまでの時間を長くすることにより、電話に出やすくすることができます。設定方法は便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。

ファクスを優先して電話も受ける（ファクス / 電話待機）

■ 操作の前に・・・・

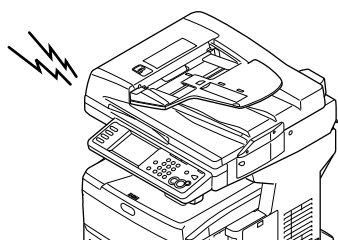
- 設置モードの受信モード設定で、「ファクス／電話待機」を設定してください。「ファクス受信モードを設定する」（P.68）を参照してください。
- 着信後しばらくは受信状態になりますので、電話のときは相手の方をお待たせするとともに、電話料金がかかります。
- 電話を受けるには、増設電話の接続が必要です。

■ 相手先がファクス送信してきた場合

1 ベルが鳴らずにすぐに受信を開始します。

メモ

- 相手先がファクスでも相手機によりベル音が鳴ることがあります。
- 受信が完了すると待機画面に戻ります。

■ 相手先が電話してきた場合

1 着信後、しばらくしてからベルが鳴ります。

メモ

- 電話のベルが鳴り続けるときは、相手先が電話をかけておられます。
- よく電話をかけてこられる相手先には、前もって少々お待ちいただくようにお伝えください。
- 相手の方はベルが鳴るまでにしばらく待たれていますので、すぐに出てください。
- 増設電話のベルも鳴ります。

2 相手先と会話します。

メモ

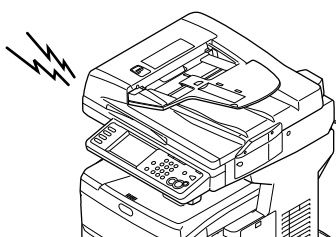
- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。
- 増設電話のダイヤルキーで<５><５>とダイヤルするか、本機の<モノクロスタート>キーを押すと受信を始めます。（受信後は受話器を戻してください）

電話を優先して自動受信もする（電話 / ファクス待機）

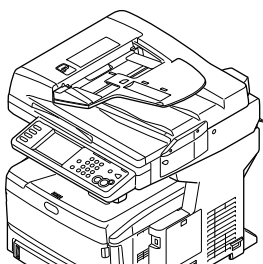
■ 操作の前に・・・・

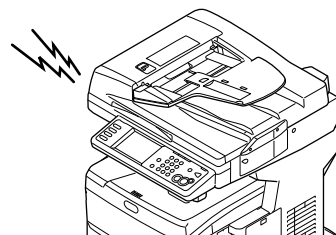
- 設置モードの受信モード設定で、「電話／ファクス待機」を設定してください。「ファクス受信モードを設定する」（P.68）を参照してください。
- 電話のとき、ベルが 2 回を越えますと、ファクスは受信状態になりますのでこちらが不在でも相手先に電話料金がかかります。
- 電話を受けるには、増設電話の接続が必要です。

■ 相手先がファクス送信してきた場合

1 ベルが鳴ります。

参照

- 本体のベルを鳴らすには、［ブザー音量］と［呼出ブザー音］の設定が必要です。便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。
- ベル回数は 0 〜 10 回の間で変更できます。便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。

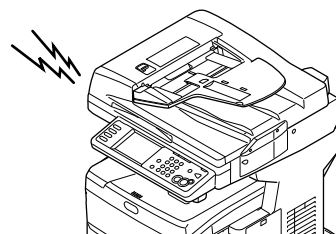
2 受信を開始します。

■ 相手先が電話してきた場合

1 ベルが鳴ります。

メモ

- ベルが鳴っている間に受話器を上げると会話できます。
- 増設電話のベルも鳴ります。

参照

- 本体のベルを鳴らすには、［ブザー音量］と「呼出ブザー音」の設定が必要です。便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。
- ベル回数は 0 〜 10 回の間で変更できます。便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。

2 再度ベルが鳴ります。（約 30 秒）

メモ

- ベルが鳴り続けるときは、相手先が電話をかけておられます。

3 相手先と会話します。

メモ

- 相手が手動送信の場合、受話器を上げても無音の場合がありますので、相手が電話でないことを口頭で確認の上、<モノクロスタート>キーを押してください。
- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。
- 増設電話のダイヤルキーで<5><5>とダイヤルするか、本機の<モノクロスタート>キーを押すと受信を始めます。（受信後は受話器を戻してください）

留守番電話とファクスを兼用する（留守 / ファクス待機）

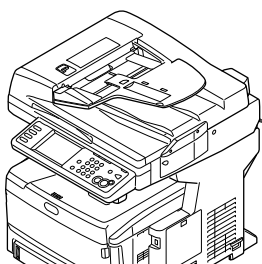
■操作の前に・・・・

- 設置モードの受信モード設定で、「留守／ファクス待機」を設定してください。「ファクス受信モードを設定する」（P.68）を参照してください。
- 留守番電話の接続コードをファクスの「増設電話」に接続してください。
- 本体のベルを鳴らすには、［ブザー音量］と［呼出ブザー音］の設定が必要です。便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。

■相手先がファクス送信してきた場合

1 留守番電話で設定された回数のベルが鳴ります。

2 応答メッセージが流れます。

3 受信を開始します。

注

- 留守番電話の種類により、留守番電話とファクスの自動切り替えが働かない場合があります。
- 相手機により自動的に受信できない場合があります。
- 留守番電話機の用件録音が満杯の状態などで、留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも受信できません。
- リモート受信はできません。

■相手先が電話してきた場合

1 留守番電話で設定された回数のベルが鳴ります。

2 応答メッセージが流れます。

メモ

- 相手が手動送信の場合は留守番電話が起動し、応答メッセージを送出してからファクスに切り替わりますので、留守番電話機の応答メッセージに「ファクスの方は送信してください」という旨の録音をしてください。

3 用件録音を開始します。

増設電話でファクスを受ける（リモート受信）

増設電話を離れた場所でご利用になる場合、増設電話からの操作でファクスを受信状態にすることができます。

1 増設電話で電話を受けます。

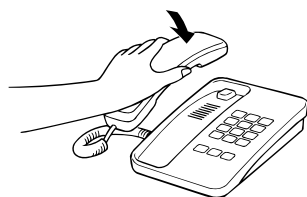
メモ

- 増設電話のベルが鳴ったら、増設電話の受話器を上げて通話します。
- 相手がファクスの場合は「ポーポー」などの音が聞こえるか、または無音です。

2 ファクスを受信する場合は、増設電話のダイヤルキーで<５><５>と押します。

注

- 通話中に増設電話のダイヤルキーで<５><５>を押すと、ファクスに切り替わってしまい、通話できなくなります。

3 無音になったことを確認し、受話器を戻します。受信を開始します。

メモ

- <５><５>と押して受信状態にすると、受話器からは何も聞こえなくなります。

■こんなときには？

リモート受信できないことがある。

本機能は増設電話の種類や地域などの諸条件により使用できないことがあります。また、以下の場合にもリモート受信できません。

- こちらから電話をかけたとき
- 本機の受信モードが「留守／ファクス待機」のとき
- 増設電話の回線種別設定と本機の回線種別設定が一致していないとき
- 本機のメモリー残量がないとき

ファクスの宛先を登録・編集する（電話帳）

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルについて

よく通信する相手先を、アドレス帳に 500 カ所まで登録することができます。

短縮ダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名のほかに、読み仮名やグループ番号も登録しておくことができます。

■操作の前に・・・・

- 短縮ダイヤルには以下の内容を登録できます。あらかじめ登録内容を準備してください。
  - 相手先番号：40 桁まで登録できます。
  - 相手先名：半角 24（全角 12）文字まで登録できます。
  - 読み仮名：宛先表で索引を使用するとき、キーワードとなる文字です。カタカナ、英数にて半角 8 文字を登録できます。
  - グループ番号：短縮ダイヤルをグループに分ける場合に登録します。グループ単位で送信したり、グループ単位で検索したりすることができます。

参照

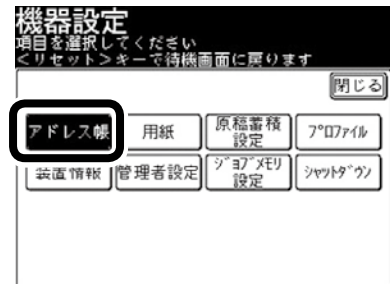
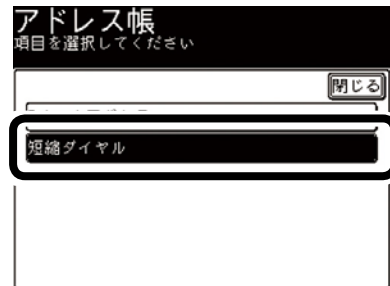
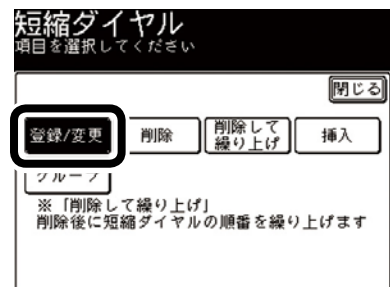
- グループに名称を付けることができます。「グループダイヤルを登録 / 編集する」（P.103）を参照してください。

短縮ダイヤルを登録 / 編集する

音声案内

短縮ダイヤルにダイヤル No. や相手先名を登録する手順を説明します。変更する場合は、それぞれの手順にて上書きまたは消去して入力し直します。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［短縮ダイヤル］を押します。

4 ［登録 / 変更］を押します。

5 登録したい短縮番号を押します。

注

- 通信予約、自動配信で使用されている短縮番号は選択できません。

メモ

- 画面を切り替えるには、◀ ▶ キーを押します。

6 相手先番号を設定します。

(1) テンキーで相手先番号を入力します。（40 桁まで）

(2)［確定］を押します。

メモ

- 初めて登録する場合は、相手先番号の入力画面が開きます。相手先番号を変更する場合は、［相手先番号］を押し、入力画面を開いて入力し直します。

参照

- ポーズなどのダイヤル記号も登録できます。「ダイヤル記号について」（P.84）を参照してください。
- プレフィクス番号を登録することができます。便利な機能 / 本体の設定編「局番を設定する（プレフィクス）」をご覧ください。

7 相手先名を登録します。

(1)［相手先名］を押します。

(2) 相手先名を入力します。

(3)［確定］を押します。

メモ

- 半角文字では 24 文字、全角文字では 12 文字まで登録できます。

参照

- 文字入力についてはセットアップ編「文字を入力する」を参照してください。

8 読み仮名を登録します。

(1)［読み仮名］を押します。

メモ

- 相手先名を入力すると、読み仮名は自動的に入力されます。変更しない場合は手順 9 に進みます。

(2) 読み仮名を入力します。

(3)［確定］を押します。

メモ

- 読み仮名に使用できる文字は、半角のカタカナ･英数字です。8 文字まで登録できます。

参照

- 文字入力についてはセットアップ編「文字を入力する」を参照してください。

9 グループを利用する場合は、グループ番号を入力します。

(1)［グループ番号］を押します。

(2) グループ番号を選択します。

(3) ［確定］を押します。

メモ

- 複数のグループ（最大 32 個）を登録することができます。

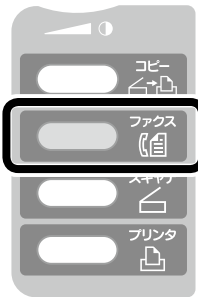
10 続けて他の短縮ダイヤルを登録する場合は、［確定］を押し、手順 5 から操作を繰り返します。

メモ

- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。
- ［確定］を押す前に<リセット>キーを押すと、登録内容が破棄されます。

未登録の短縮ダイヤル番号に直接登録する

未登録の短縮ダイヤルを押すと、自動的に登録操作になります。

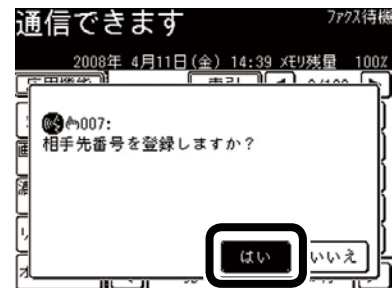
1 <ファクス>キーを押し、ファクス待機画面にします。

2 ［番号順］タブを押します。

3 未登録の短縮ダイヤル番号を押します。

タブ切り替えカーソル

メモ

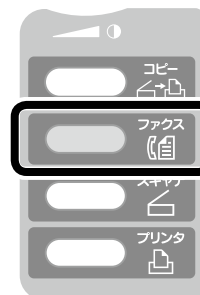
- ［番号順］タブが表示されていない場合は、タブで切り替えカーソルを押して表示させます。

4 登録する場合は［はい］を押します。

5 選択した短縮ダイヤル番号の登録手順になります。以降の操作は「短縮ダイヤルを登録 / 編集する」（P.97）手順 6 ～ 10 と同じです。

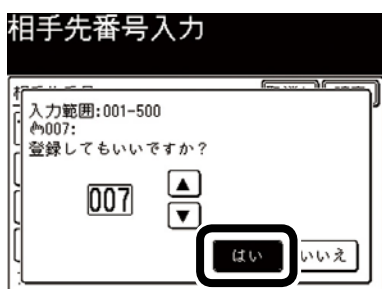
テンキーで入力した番号を登録する

音声案内

テンキーで入力した番号の登録のしかたについて説明します。

1 <ファクス>キーを押し、ファクス待機画面にします。

2 テンキーで相手先番号を入力します。

3 ［短縮登録］を押します。

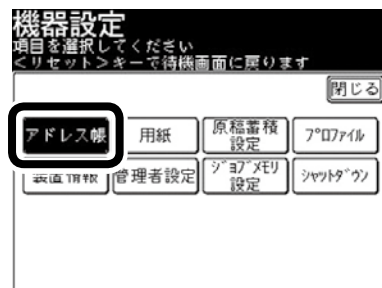
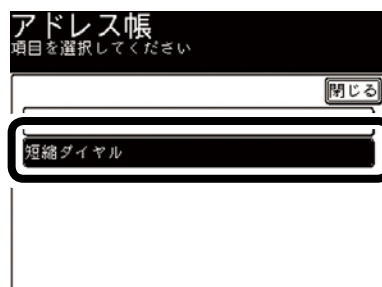
4 登録する場合は［はい］を押します。

5 短縮ダイヤルの登録手順になります。以降の操作は「短縮ダイヤルを登録 / 編集する」（P.97）手順 6 ～ 10 と同じです。

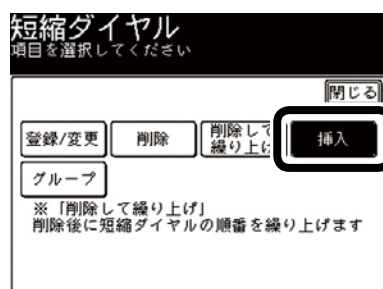
短縮ダイヤルを短縮ダイヤル番号の途中に割り込ませる

音声案内

新しい登録先を短縮ダイヤルの途中に割り込ませることができます。ただし、短縮ダイヤルの 500 が登録されている場合、この操作はできません。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

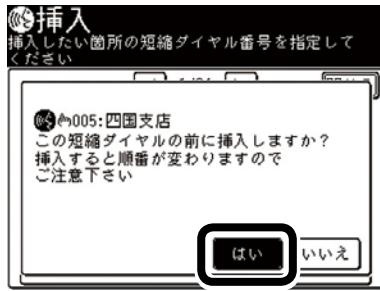
2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［短縮ダイヤル］を押します。

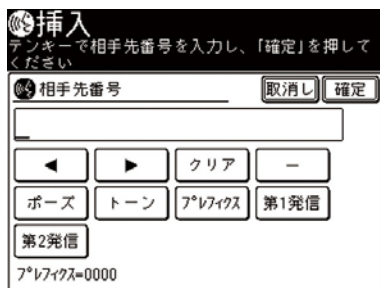
4 ［挿入］を押します。

5 短縮ダイヤルを挿入する位置の短縮ダイヤルを選択します。

注

- 短縮ダイヤル 500 は選択できません。

6 挿入する場合は［はい］を押します。

メモ

- ［いいえ］を押した場合は挿入されず、手順５に戻ります。

7 選択した短縮ダイヤルの登録手順になります。以降の操作は「短縮ダイヤルを登録 / 編集する」（P.97）手順６～10と同じです。

メモ

- 選択した短縮ダイヤル以降の番号が１つ後ろにずれます。

8 続けて挿入を行うときは、手順５～７を繰り返します。

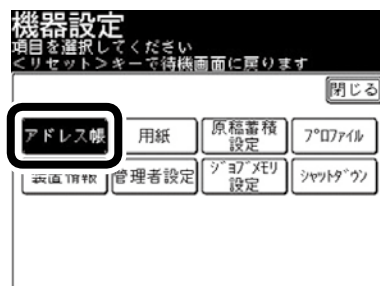
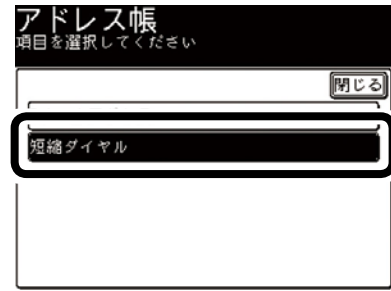
メモ

- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

短縮ダイヤルを削除する

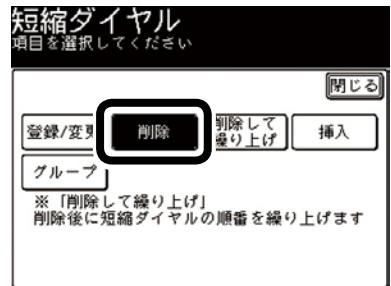
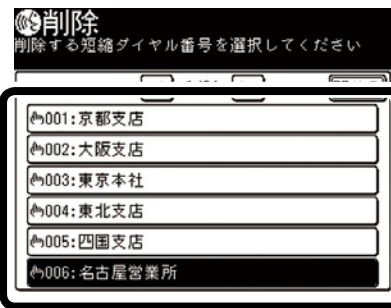
音声案内

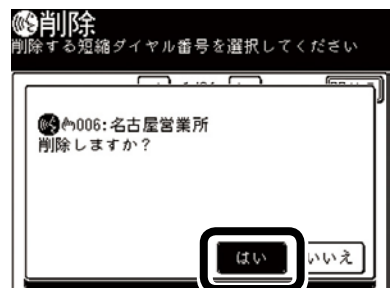
1 <機器設定>キーを押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［短縮ダイヤル］を押します。

4 ［削除］を押します。

5 削除したい短縮ダイヤルを選択します。

注

- 送信中または送信予約中の文書宛先に含まれている短縮ダイヤルで使用中の短縮ダイヤルは選択できません。
- 自動配信設定で使用されている場合は選択できません。

6 削除する場合は［はい］を押します。

メモ

- ［いいえ］を押した場合は削除されず、手順５に戻ります。

7 続けて削除を行うときは、手順５～６を繰り返します。

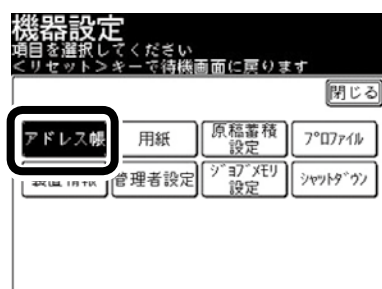
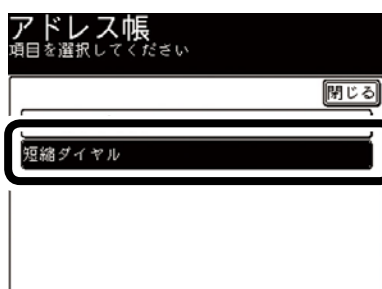
メモ

- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

短縮ダイヤルを削除して番号をつめる

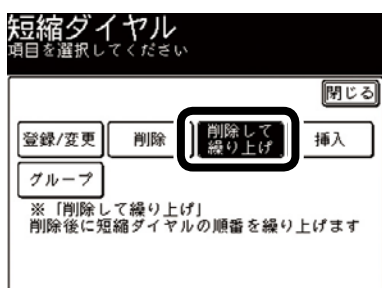
登録されている短縮ダイヤルを削除して、それ以降に登録されている短縮ダイヤルを１つずつ前につめることができます。

1 <機器設定>キーを押します。

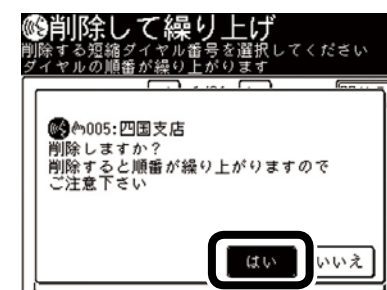
2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［短縮ダイヤル］を押します。

4 ［削除して繰り上げ］を押します。

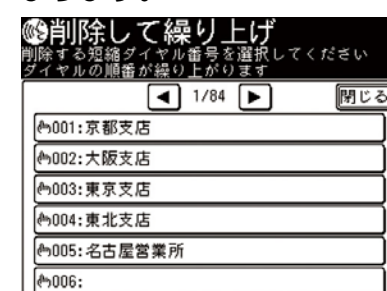
5 削除したい短縮ダイヤルを選択します。

注

- 送信予約中の文書宛先に含まれている場合は、その番号以前は選択できません。
- 自動配信設定されている短縮ダイヤルは選択できません。

6 削除する場合は［はい］を押します。

メモ

- ［いいえ］を押した場合は削除されず、手順５に戻ります。

7 選択した短縮ダイヤルが削除され、それ以降に登録されている短縮ダイヤルの番号が１つ前につまります。

注

- 短縮ダイヤル 500 を選択した場合は削除のみ行います。

8 続けて削除を行うときは、手順５～６を繰り返します。

メモ

- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

グループダイヤル（グループ番号）

グループダイヤルについて

多数の相手に送信するとき、短縮ダイヤルに登録されている相手先へグループ単位で送信することができます。

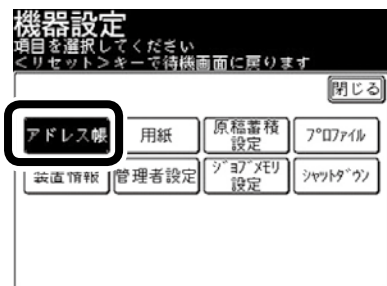
■操作の前に・・・・

グループ番号：01 ～ 32 まで登録できます。

グループダイヤルを登録 / 編集する

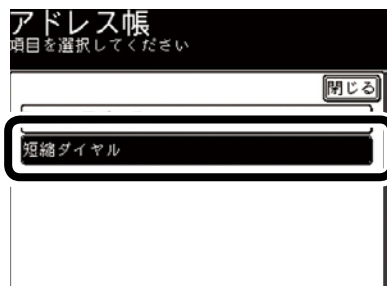
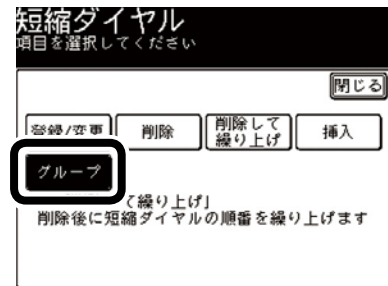
グループダイヤルを登録する手順を説明します。変更する場合は、それぞれの手順にて上書きまたは消去して入力し直します。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［短縮ダイヤル］を押します。

4 ［グループ］を押します。

5 登録したいグループ No. を押します。

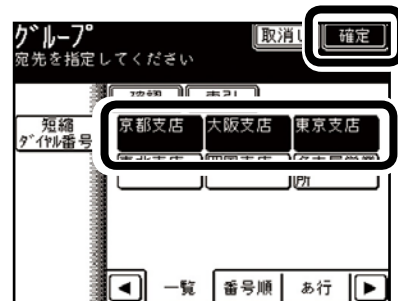
メモ

- 画面を切り替えるには、◀ ▶ キーを押します。

6 グループに登録したい相手先を設定します。

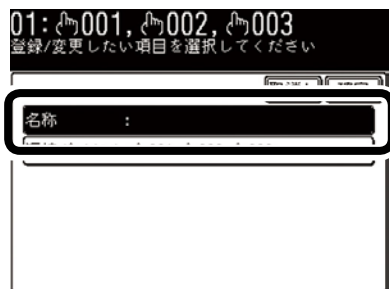
(1) 相手先を指定します。

(2) ［確定］を押します。

メモ

- テンキーでの入力はできません。

参照

- 相手先の指定方法は、「宛先を指定する」（P.73）を参照してください。

7 グループ名を登録します。

(1) ［名称］を押します。

メモ

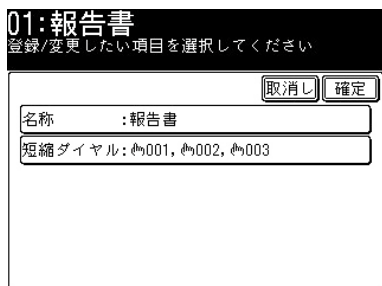
- 半角文字では 16 文字、全角文字では 8 文字まで登録できます。

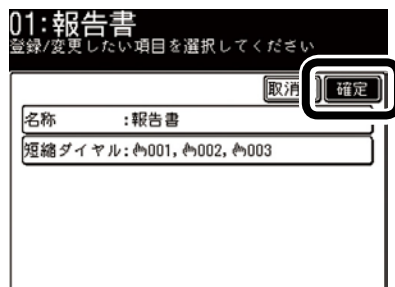
参照

- 文字入力についてはセットアップ編「文字を入力する」を参照してください。

(2) グループ名を入力します。

(3) ［確定］を押します。

8 登録内容の一覧が表示されます。

9 続けて他のグループダイヤルを登録する場合は、［確定］を押し、手順 5 から操作を繰り返します。

メモ

- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

4 スキャンする

便利なスキャナ機能

●読み取った原稿をメールで送信したり、PC や USB メモリに保存したりできます

●よく送信する相手先の E メールアドレスを登録できます

● TWAIN ドライバや WIA ドライバを使って送信できます

「TWAIN ドライバを使用する」

「WIA ドライバを使用する」

かぎ括弧がついている項目は、便利な機能 / 本体の設定編を参照してください。

こんなことができます 1 準備 使い方 プリントする 2 コピーする 3 準備 使い方 ファクスする 4 準備 使い方 スキャンする 5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア 索引

スキャナー機能の設定を始める前に

本機でスキャン To メール、スキャン To ネットワーク PC（CIFS）を行なうための設定方法を説明しています。

スキャン To メール、スキャン To ネットワーク PC（CIFS）の設定を始める前に、本機がネットワークに接続され、コンピューターからネットワークで印刷できるようになっている必要があります。

ネットワークで印刷できない場合は、本書で説明している機能はお使いになれません。「プリントする」（P.13）をお読みになり、本機をネットワークで接続してください。

以下の流れにそって、設定してください。

- 本機をネットワークプリンターとして接続します。本機をネットワークに接続しておきます。詳しい手順は、「セットアップする」（P.16）手順 1 ～ 3をご覧ください。

↓

- スキャン To メール、スキャン To ネットワーク PC（CIFS）に必要な設定項目の情報を確認し、「設定情報シート」に記入します。「設定情報を控える（設定情報シート）」（P.107）をご覧ください。

↓

- 「設定情報シート」に記入した情報を、説明手順にしたがって、本機とコンピューターに設定します。

設定情報を控える（設定情報シート）

次ページ以降をご覧になり、確認したり設定したりした内容をここにメモしてください。

スキャン To メール / スキャン To ネットワーク PC（CIFS）に共通な設定情報

No.	項目	概略説明	例	お客様記入欄
G-1	本機の管理者パスワード	本機のシステム設定を変更するためのパスワードです。 初期値は、aaaaaa です。	aaaaaa	
G-2	本機の IP アドレス	本機に割り当てられている IP アドレスです。	192.168.0.2	

スキャン To メールに必要な設定情報

No.	項目	概略説明	例	お客様記入欄
E-1	送信者	本機が E メールを送るときに使用する E メールアドレス	mc862 @ test.co.jp	(半角 80 文字以内)
E-2	SMTP サーバー	E メールを送信するときに使用するサーバーのアドレスまたは IP アドレス	smtp.test.co.jp*	
E-3	POP3 サーバー	E メールを受信するときに使用するサーバーのアドレスまたは IP アドレス	pop3.test.co.jp*	
E-4	SMTP ポート	SMTP サーバーのポート番号	587	
E-5	POP3 ポート	POP3 サーバーのポート番号	110	
E-6	認証方法	送信メールサーバーの認証	SMTP	
E-7	SMTP ユーザー ID	送信メールサーバーのアカウント名	OKIMC862	
E-8	SMTP パスワード	送信メールサーバーのパスワード	okimc862	
E-9	POP ユーザー ID	受信メールサーバーのアカウント名	user	
E-10	POP パスワード	受信メールサーバーのパスワード	okimc862	
E-11	E メール送信先の名称	本機からスキャン To メールで送りたい相手の名前	利用者	(半角 16 文字（全角 8 文字）以内)
E-12	E メールアドレス	本機からスキャン To メールで送りたい相手の E メールアドレス	user@test.co.jp	

* サーバーのアドレスを使用する場合は、WINS Sever/ DNS Sever の IP アドレスを本機に設定する必要があります。
便利な機能 / 本体の設定編「ネットワークの設定」「Web ブラウザー」を参照してください。

スキャン To ネットワーク PC（CIFS）に必要な設定情報

No.	項目	概略説明	例	お客様記入欄
C-1	送信先のコンピューター名	スキャンしたデータを転送するコンピューターの名前	PC1	
C-2	ユーザー名	スキャンしたデータを転送するコンピューターへのログインするためのユーザー名	mc862	(半角 32 文字以内、かな漢字使用不可)
C-3	パスワード	スキャンしたデータを転送するコンピューターへのログインするためのパスワード	mc862	(半角 32 文字以内、かな漢字使用不可)
C-4	プロファイル	本機に設定を登録するときの名前	販売	(半角 16 文字（全角 8 文字）以内)
C-5	共有フォルダー名	スキャンしたデータを転送するコンピューターのフォルダー名	販売部門	(半角 64 文字（全角 32 文字）以内)
C-6	スキャンファイル名	スキャンしたデータのファイル名	ScanData	(半角 64 文字（全角 32 文字）以内)

こんなことができます
1 準備 使い方 プリントする
2 コピーする
3 準備 使い方 ファクスする
4 準備 使い方 スキャンする
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

スキャナー機能に共通な設定情報を確認する

管理者のパスワードを確認する

本機の管理者に、「管理者のパスワード」を確認して、設定情報シートの **「G-1」** へ記入します。

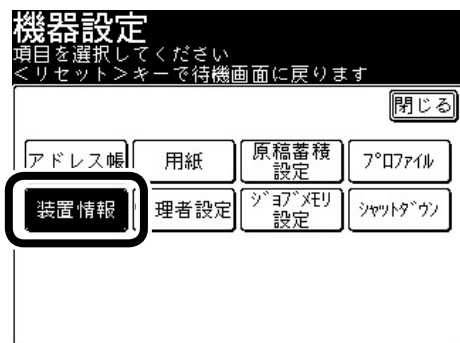
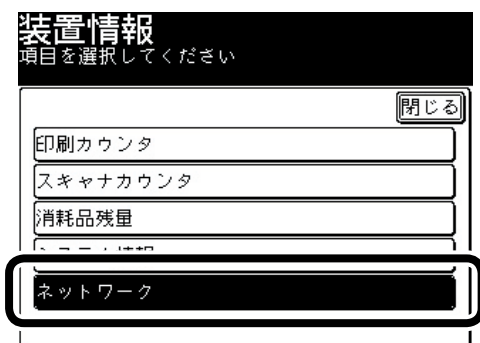
メモ

- パスワードは、大文字 / 小文字が区別されます。
- 工場出荷時の値は、aaaaaa です。

IP アドレスを確認する

以下の手順にとりかかる前に、本機がネットワークに接続されていれば、本機にはすでに IP アドレスが設定されています。

1 「機器設定」キーを押します。

2 ［装置情報］を押します。

3 ［ネットワーク］を押します。

4 IPv4 アドレスの値を、設定情報シートの **「G-2」** へ記入します。

参照

- スキャン To メールを使用する場合は、「スキャン To メールのための準備」（P.109）を参照してください。
- スキャン To ネットワーク PC（CIFS）のみ使用する場合は、「スキャン To ネットワーク PC（CIFS）のための準備」（P.116）を参照してください。

スキャン To メールのための準備

スキャン To メールとは、本機でスキャンした画像を E メールに添付して、指定した E メールアドレスに送信する機能です。

必要な情報を確認する

ネットワークの管理者が、本機のためのメールサーバーのアカウント、パスワード及びメールアドレス（送信者）等を指定している時は、その内容を設定情報シートに記入します。

[SMTP サーバー]，[POP3 サーバー] の設定を設定情報シートに記入する

この作業は、本機からスキャン To メールを送りたいコンピューターで行います。

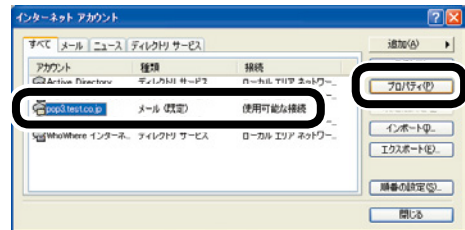
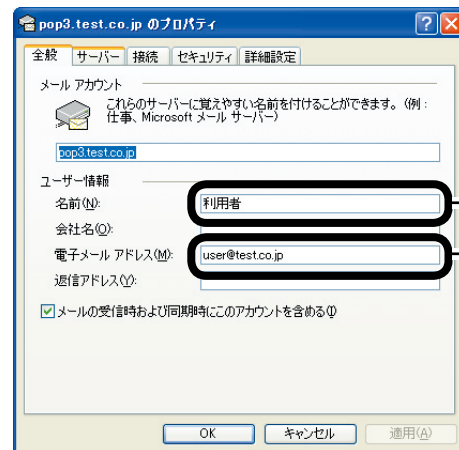
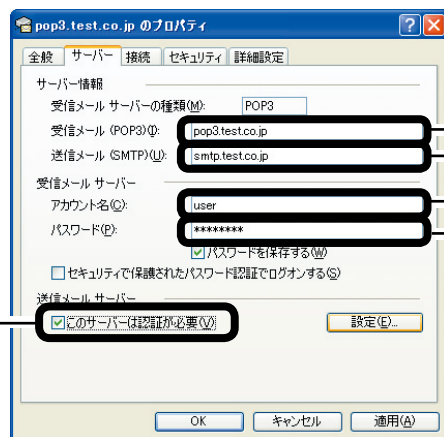
メモ

- 次の手順では、本機で使用予定のメールサーバーを使用し、Windows7 上の Windows Live メールを使用して本機からのメールを受信する場合を例にしています。異なる E メールソフトウェアを使用している場合は、E メールソフトウェアのマニュアルを参照してください。

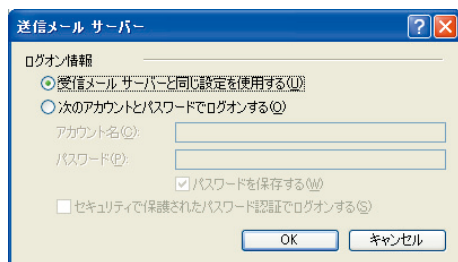
1 [スタート] をクリックし、[Windows Live メール] を選択します。

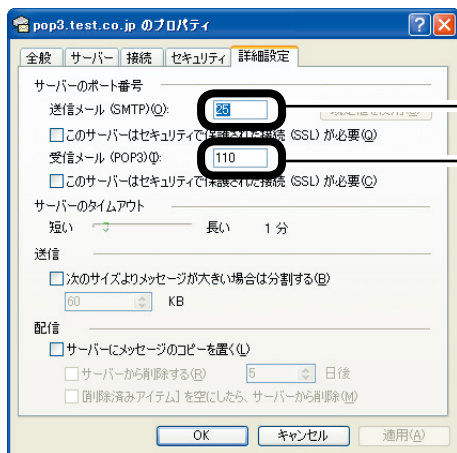
2 [ツール] メニューから [アカウント] を選択します。

メニューバーが表示されていない場合は、[メニュー] アイコンをクリックし、[メニューバーの表示] を選択します。

3 メールアカウントを選択し、[プロパティ] をクリックします。

4 [全般] タブの [名前]、[電子メールアドレス] の内容を設定情報シートの **「E-11」、「E-12」** に記入します。

5 [サーバー] タブをクリックし、下図にしたがって、設定情報シートの各欄に記入します。

ここにチェックがある場合は、「E-6」に "SMTP" と記入し、手順 6 に進みます。チェックがない場合は、"POP、または無し" と記入し、手順 8 に進みます。

6 [設定] をクリックします。

7 「送信メールサーバー」画面を確認し、設定情報シートの **「E-7」、「E-8」** を記入します。

- [受信メールサーバーと同じ設定を使用する] がチェックされている場合、**「E-9」、「E-10」** と同じ内容を **「E-7」、「E-8」** に記入します。
- [次のアカウントとパスワードでログオンする] にチェックがついている場合、[アカウント名] を **「E-7」** に記入し、パスワードを **「E-8」** に記入します。

8 [詳細設定] タブをクリックし、下図にしたがって、設定情報シートの各欄に記入します。

[送信者]（本機が使用する E メールアドレス）を確認する

本機が使用する E メールアドレスを、設定情報シートの **「E-1」** に記入します。

この E メールアドレスがネットワークの管理者から指定されている場合には、その E メールアドレスを記入します。

ADSL などをご使用されている場合には、お使いのプロバイダから E メールアドレスを取得してください。

E メールアドレスが指定されていない場合や取得されていない場合は、

- **「E-6」** の認証方法が「SMTP」または「無し」のときには、任意の名称を決め、**「E-1」** に記入します。

  例：mc862@test.co.jp

- **「E-6」** の認証方法が「POP」のときには、「E-12」と同じ名称を **「E-1」** に記入します。

注

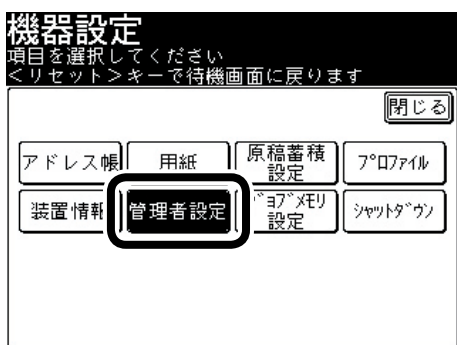
- [送信者]（E メールアドレス）を本機に設定しないと、メール送信時にメールサーバーでエラーになり、送信されません。
- 本機で E メールを受信させるときは、必ずネットワーク管理者やプロバイダから E メールアドレスを取得してください。

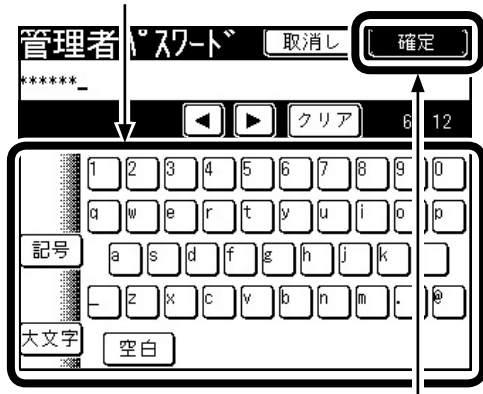
E メールアドレスやメールサーバーを設定する

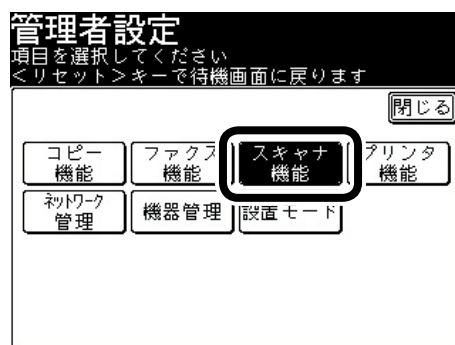
設定情報シートに記入した情報をもとに、本機の［送信者］，［SMTP サーバ］，［POP3 サーバ］，［SMTP ポート］，［POP3 ポート］，［認証方法］，［POP ユーザ ID］，［POP パスワード］，［E メール送信先の名称と E メールアドレス］を設定します。

［送信者］を設定する

1 「機器設定」キーを押します。

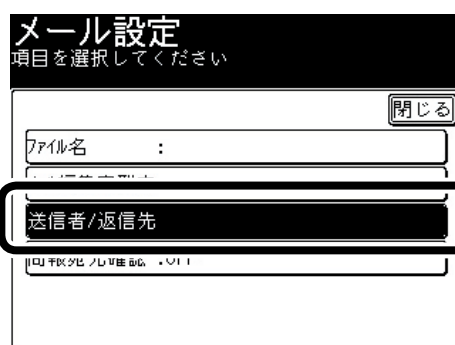
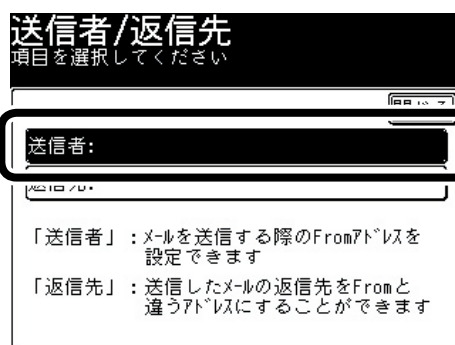
2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワード（設定情報シート「G-1」の値）を入力し、［確定］を押します。

LCD 上のキーをタッチして入力します。

全て入力したら、［確定］を押します。

4 ［スキャナ機能］を押します。

5 ［メール設定］を押します。

6 ［送信者 / 返信先］を押します。

7 ［送信者］を押します。

こんなことができます
1 プリントする 準備 使い方
2 コピーする
3 ファクスする 準備 使い方
4 スキャンする 準備 使い方
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

8 設定情報シートの「E-1」の値を入力し、[確定]を押します。

9 [送信者 / 返信先] 画面で、[閉じる] を押します。

10 [メール設定] 画面で、[閉じる] を押します。

11 [スキャナ機能] 画面で、[閉じる] を押します。

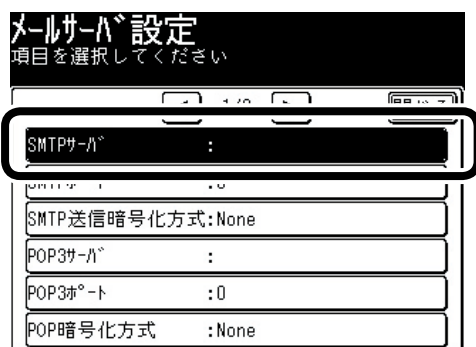
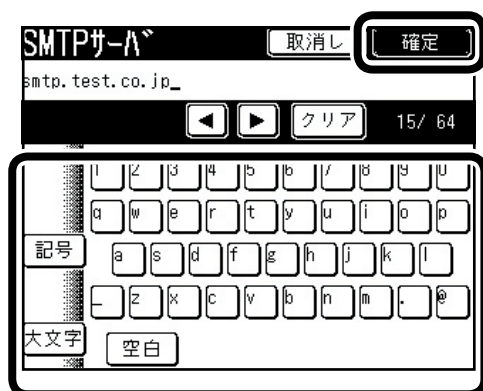
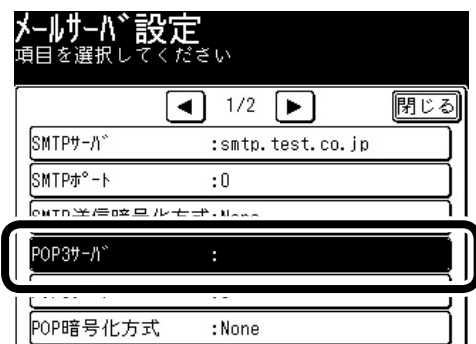
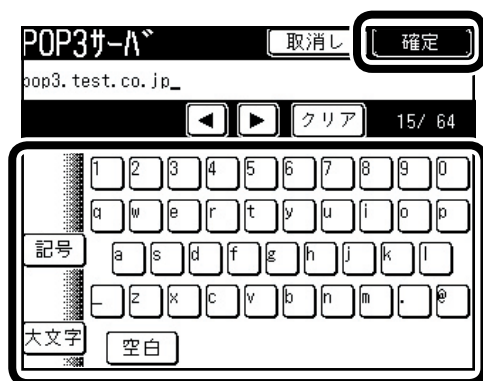
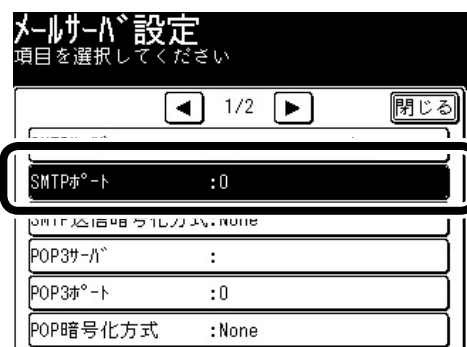
[管理者設定] 画面になったことを確認します。

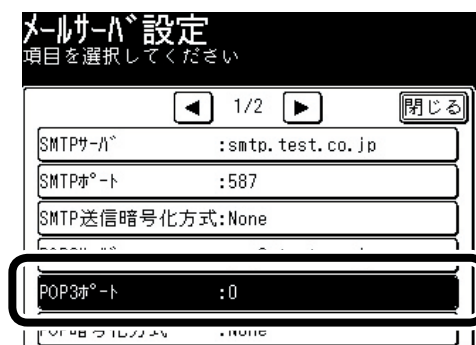
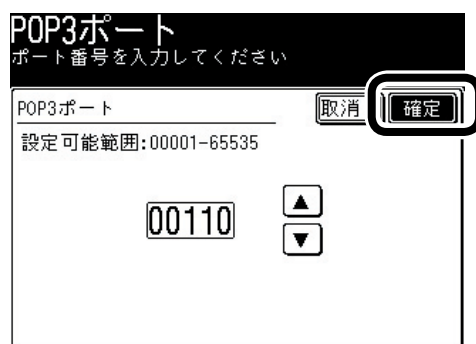
つづいて、[メールサーバ] を設定します。

[メールサーバ] に関する項目を設定する

1 [ネットワーク管理] を押します。

2 [メールサーバ設定] を押します。

3 ［SMTP サーバ］を押します。

4 設定情報シートの**「E-2」**の値を入力し、［確定］を押します。

5 ［POP3 サーバ］を押します。

6 設定情報シートの**「E-3」**の値を入力し、［確定］を押します。

7 ［SMTP ポート］を押します。

8 テンキーを使用して、設定情報シートの**「E-4」**の値を入力し、［確定］を押します。

9 ［POP3 ポート］を押します。

10 テンキーを使用して、設定情報シートの**「E-5」**の値を入力し、［確定］を押します。

11 [▶] を押します。

12 [認証方法] を押します。

13 設定情報シートの「**E-6**」の値を押し、[確定] を押します。

[認証方法] が [無し] の場合は、手順 23 へ進みます。

14 [SMTP ユーザ ID] を押します。

15 設定情報シートの「**E-7**」の値を入力し、[確定] を押します。

16 [SMTP パスワード] を押します。

17 設定情報シートの「**E-8**」の値を入力し、[確定] を押します。

18 [POP ユーザ ID] を押します。

こんなことができます
1 プリントする 準備 使い方
2 コピーする
3 ファクスする 準備 使い方
4 スキャンする 準備 使い方
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

19 設定情報シートの「E-9」の値を入力し、[確定] を押します。

20 [POP パスワード] を押します。

21 設定情報シートの「E-10」の値を入力し、[確定] を押します。

22 [メールサーバ設定] 画面で、[閉じる] を押します。

23 [ネットワーク管理] 画面で、[閉じる] を押します。

24 [はい] を押します。

25 「ネットワークカードを再起動しています」を表示し、しばらくすると、待機画面になります。

これで、スキャン To E メールの設定は完了です。

こんなことができます　1 プリントする 準備 使い方　2 コピーする　3 ファクスする 準備 使い方　4 スキャンする 準備 使い方　5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア　索引

スキャン To ネットワーク PC（CIFS）のための準備

スキャン To ネットワーク PC とは、本機でスキャンした画像を、ネットワーク接続されているコンピューターの「共有フォルダー」へ送信・保存する機能です。

注

- コンピューターに本書にしたがって共有フォルダーを作成しても良いか、ネットワーク管理者に確認した上で、設定を始めてください。

ここでは、CIFS プロトコルを利用した方法を説明します。

以下、スキャン To CIFS と表記します。

■設定の流れ

- スキャン To CIFS に必要な情報を「設定情報シート」に記入します。

↓

- スキャン To CIFS でデータを送りたいコンピューターに、本機がアクセスできるよう、コンピューターを設定します。

↓

- 設定したコンピューターに「共有フォルダー」を作成します。

↓

-「設定情報シート」に記載した値を元に、本機に「プロファイル」を登録します。

メモ

- プロファイルとは、ユーザー名、保存先のフォルダー名、保存するデータのファイル名、スキャンする解像度、コントラストや色相調整などの設定の組合せのことです。
- よく使う設定値の組合せをプロファイルとして登録しておき、使用時にそのプロファイルを指定することにより、毎回、個々の設定値を入力する必要がなくなります。

必要な情報を確認する

データを送信するコンピューターの名前を設定情報シートに記入する

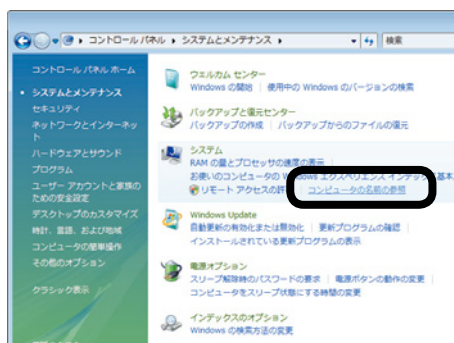
■Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 の場合

1 ［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］を選択します。

2 ［システムとセキュリティ］をクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、［システムとメンテナンス］を選択します。

3 ［システム］の「コンピュータの名前の参照」を選択します。

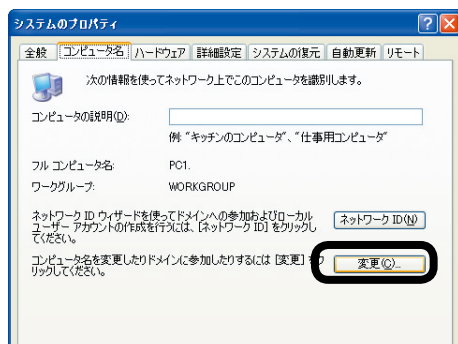
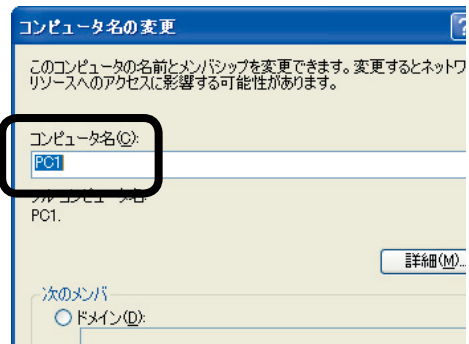
こんなことができます
1 準備 プリントする 使い方
2 コピーする
3 準備 ファクスする 使い方
4 準備 スキャンする 使い方
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

4 ［コンピュータ名］を確認し、設定情報シートの**「C-1」**へ記入します。

5 ウインドウを閉じます。

■ Windows XP/Windows Server の場合

1 ［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］＞［パフォーマンスとメンテナンス］＞［システム］を選択します。

Windows Server 2003 の場合は、[スタート]をクリックし、[コントロールパネル] > [システム] を選択します。

2 「コンピュータ名」タブを選択し、［変更］をクリックします。

3 ［コンピュータ名］を確認し、設定情報シートの**「C-1」**へ記入します。

4 ［キャンセル］をクリックして、ウインドウを閉じます。

データを送信するコンピューターへログインするためのユーザー名とパスワードを設定情報シートに記入する

ユーザー名とパスワードを決め、設定情報シートの「C-2」、「C-3」に記入します。

漢字・ひらがなは使用できません。

本機に設定を登録するときのプロファイル名を設定情報シートに記入する

プロファイル名を決め、設定情報シートの「C-4」に記入します。

漢字・ひらがなは使用できません。

送信したデータを保存するコンピューターのフォルダー名を設定情報シートに記入する

フォルダー名を決め、設定情報シートの「C-5」に記入します。

漢字・ひらがなは使用できません。

スキャンしたデータファイルに付ける名前を設定情報シートに記入する

ファイル名を決め、設定情報シートの「C-6」に記入します。

漢字・ひらがなは使用できません。

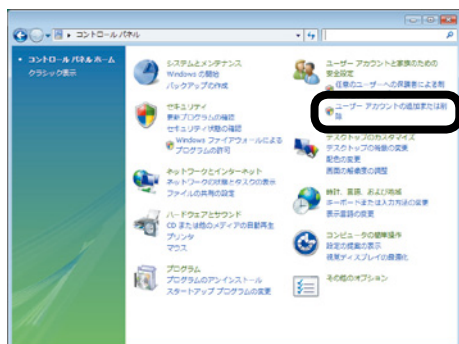
データを送信するコンピューターを設定する

コンピューターに、本機をユーザーとして登録し、共有フォルダーを設定します。

コンピューターがドメインに参加している場合、ユーザーの追加の手順が本書とは異なります。詳しくは Microsoft Windows のマニュアルを参照してください。

■ Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 の場合

1 ［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］を選択します。

2 ［ユーザーアカウントの追加または削除］をクリックします。

3 ［新しいアカウントの作成］をクリックします。

4 設定情報シートの **「C-2」** の値を入力します。

5 「標準ユーザー」が選択されているのを確認して、［アカウントの作成］をクリックします。

6 手順 5 で入力したユーザー名のアイコンをクリックします。

7 ［パスワードの作成］をクリックします。

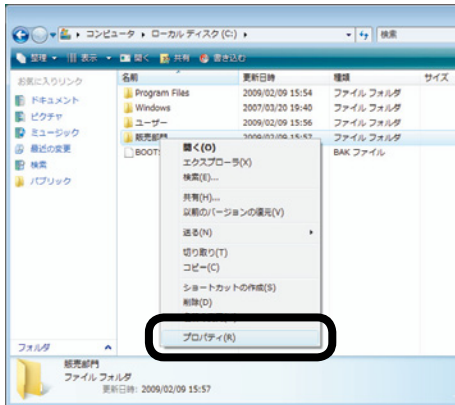
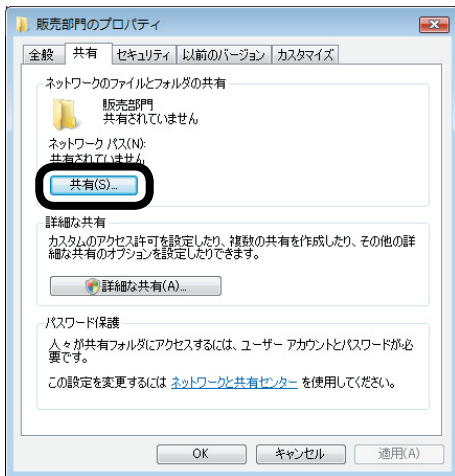
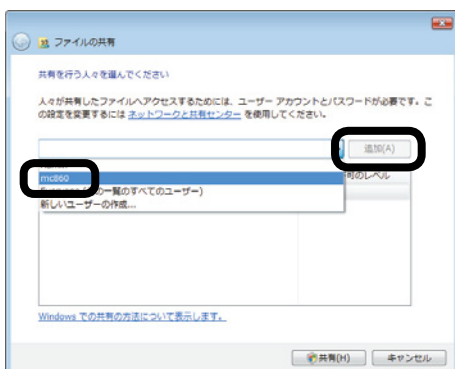
8 ［新しいパスワード］［新しいパスワードの確認］に設定情報シートの **「C-3」** の値を入力し、［パスワードの作成］をクリックします。

9 ［コントロールパネル］を閉じます。

10 コンピューターに、本機でスキャンしたデータを保存するために、設定情報シート「C-5」の名前を付けたフォルダーを作ります。

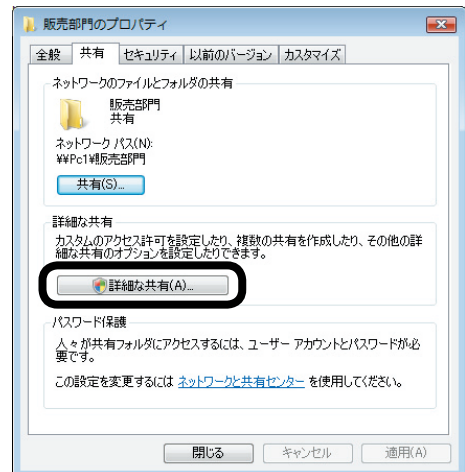
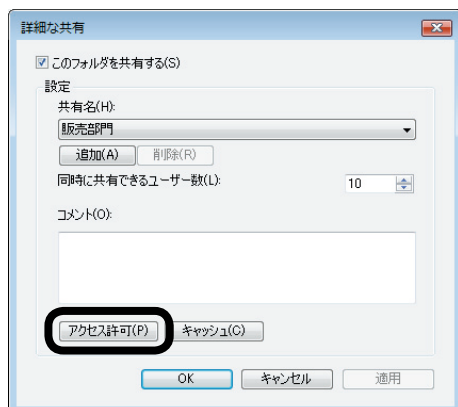
メモ

- デスクトップや［ドキュメント］、またはネットワークドライブ上ではなく、C ドライブや D ドライブなどのハードディスクドライブ直下にフォルダーを作成することをおすすめします。

11 手順 10 で作成したフォルダーを右クリックで選択し、［プロパティ］を開きます。

12「共有」タブの［共有］をクリックします。

13 手順 5 で作成したユーザーアカウントをドロップダウンリストから選択し、［追加］をクリックします。

14 手順 13 で追加したユーザーがリストに表示されたことを確認し、［共有］をクリックします。

［ネットワークの探索とファイル共有］ダイアログが表示されたら、［いいえ、接続しているネットワークをプライベートネットワークにします］をクリックします。

15［終了］をクリックします。

16 共有タブの［詳細な共有］をクリックします。

17 ［アクセス許可］をクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、手順 20 に進みます。

18 ［追加］をクリックします。

19 入力欄に「C-2」の値を入力し、[OK] をクリックします。

20 手順 13 で追加したユーザーを選択し、［フルコントロール］の［許可］にチェックをつけ、［OK］をクリックします。

21 [OK] をクリックします。

22 [閉じる] をクリックします。

参照

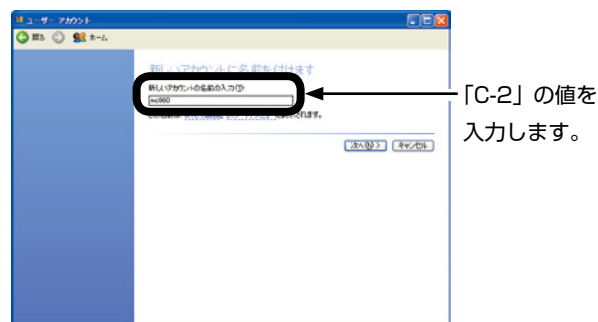
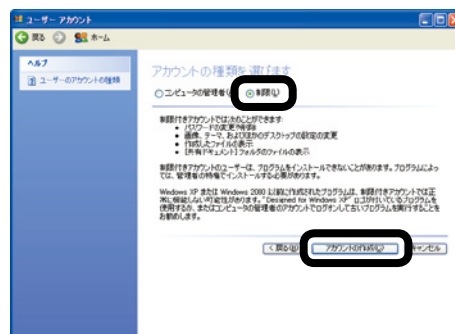
● 「プロファイルを作成する」（P.122）へ進みます。

■ Windows XP の場合

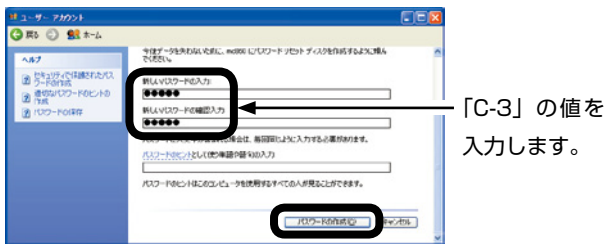
1 ［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］を選択します。

2 ［ユーザーアカウント］をダブルクリックします。

3 ［新しいアカウントを作成する］をクリックします。

4 設定情報シートの **「C-2」** の値を入力し、[次へ] をクリックします。

5 「アカウントの種類を選びます」で［制限］を選択し、［アカウントの作成］をクリックします。

6 追加したユーザーのアイコンを選択します。

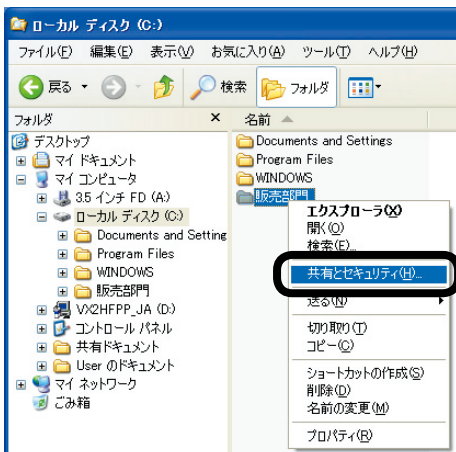
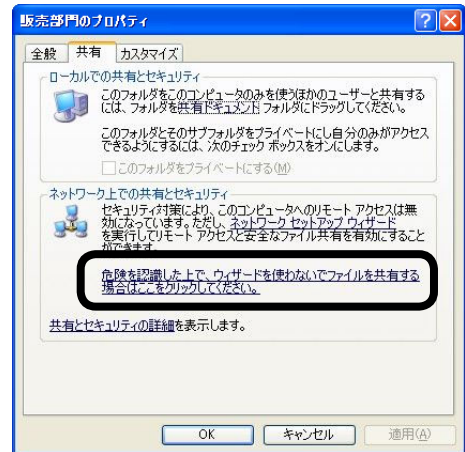
7［パスワードを作成する］をクリックします。

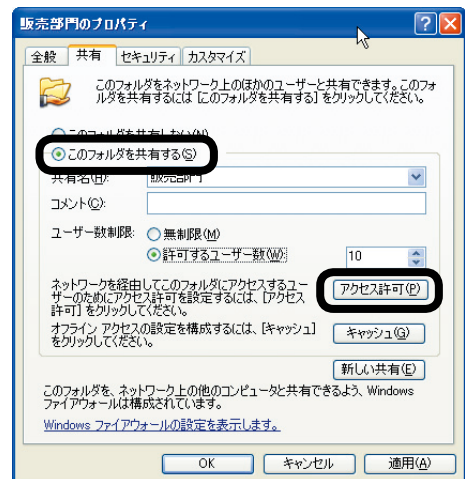
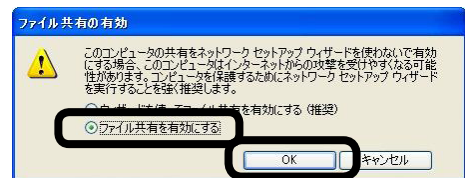
8［新しいパスワードの入力］［新しいパスワードの確認入力］欄に、設定情報シートの**「C-3」**の値を入力し、［パスワードの作成］をクリックします。

9 コントロールパネルを閉じます。

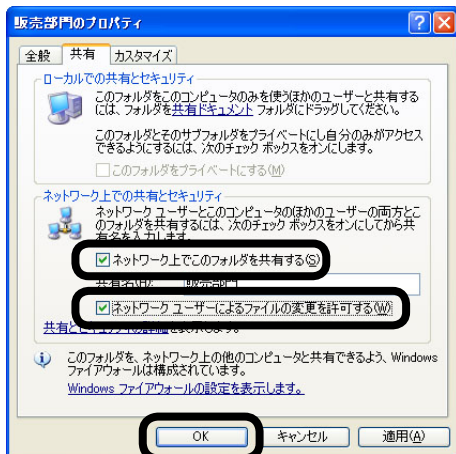
10 コンピューターに、本機でスキャンしたデータを保存するために、設定情報シート**「C-5」**の名前を付けたフォルダーを作ります。

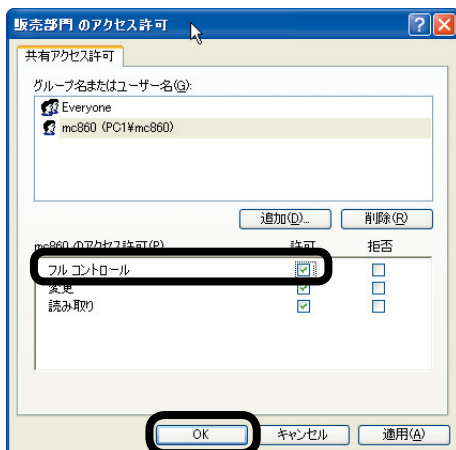
メモ

- デスクトップや［ドキュメント］、またはネットワークドライブ上ではなく、C ドライブや D ドライブなどのハードディスクドライブ直下にフォルダーを作成することをおすすめします。

11 手順 10 で作成したフォルダーを選択し、［共有とセキュリティ］を開きます。

12［危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。］をクリックします。

メモ

- 下のような画面が表示されたら、［このフォルダを共有する］にチェックを入れ、［アクセス許可］をクリックして、15 へ進みます。

13 Windows ファイアウォール　で、［ファイル共有を有効にする］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

14 [ネットワーク上でこのフォルダを共有する]、[ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する] にチェックを付け [OK] をクリックします。

📖参照

● 「プロファイルを作成する」(P.122) へ進みます。

15 [フルコントロール] の [許可] にチェックを付け、[OK] をクリックします。

16 フォルダーのプロパティを閉じます。

📖参照

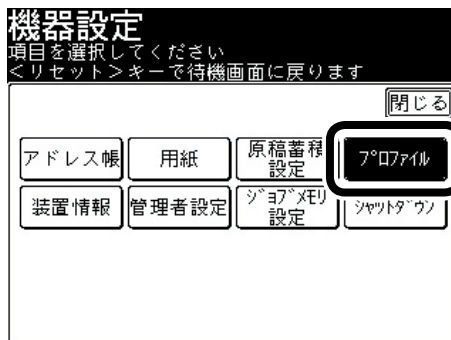
● 「プロファイルを作成する」(P.122) へ進みます。

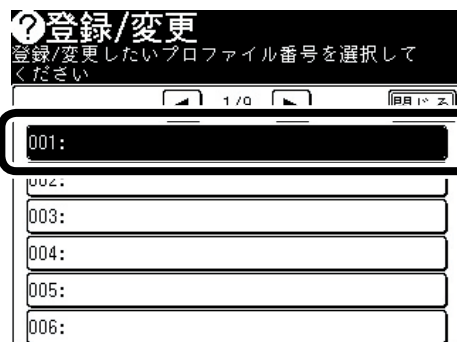
プロファイルを作成する

📖参照

● プロファイルは、Web ブラウザーや ConfigurationTool でも作成できます。詳しくは、便利な機能 / 本体の設定編「Web ブラウザー」、ユーティリティーソフトウェア編「Configuration Tool」を参照してください。

1 「機器設定」キーを押します。

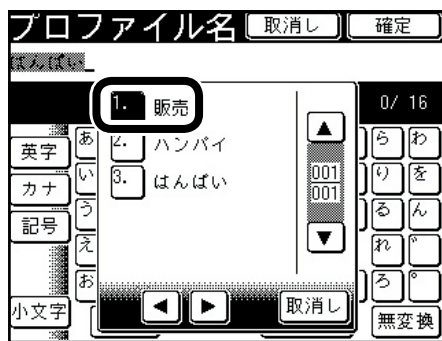
2 [プロファイル] を押します。

3 [登録 / 変更] を押します。

4 登録したいプロファイル番号を押します。

5 設定情報シート「**C-4**」に記入したプロファイル名を入力します。

ここでは、漢字で、「販売」と入力する例を説明します。

(1) かなを入力します。

(2) ［変換］を押します。

(3) 漢字を選択します。

(4) ［確定］を押します。

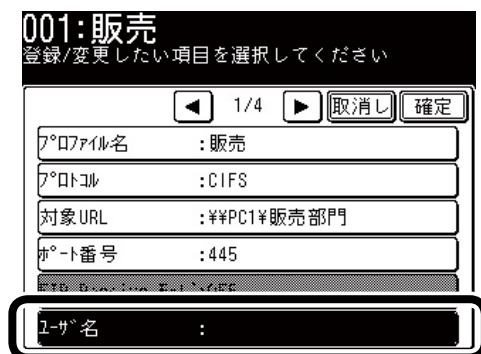
6 ［対象 URL］を押します。

7 設定情報シートの「**C-1**」、「**C-5**」に記入した値を次のように入力し、［確定］を押します。

¥¥ +「C-1」+ ¥ +「C-5」

（¥は半角です。［記号］-［半角］を押してから入力します。）

本書の例では、¥¥PC1¥ 販売部門 となります。

8 ［ユーザ名］を押します。

9 設定情報シートの「C-2」の値を入力し、[確定] を押します。

注

- ドメイン管理している場合は、ユーザ名 + @ + ドメイン名を入力します。

10 [▶] を押し、2 ページ目へ移動します。

11 [パスワード] を押します。

12 設定情報シートの「C-3」の値を入力し、[確定] を押します。

13 [ファイル名] を押します。

14 設定情報シートの「C-6」の値を入力し、[確定] を押します。

メモ

- ファイル名の文字数は、最大で半角 64 文字（全角 32 文字）以内です。
- ファイル名の最後に「#n」を付けると、送信されたファイル名の最後に自動的に連番が付与されます。
- ファイル名の最後に「#d」を付けると、送信されたファイル名の最後に自動的に日付が付与されます。

15 必要に応じて、その他の値を設定します。

16 すべての値を設定したら、[確定] を押します。

17「登録 / 変更」画面で、[閉じる] を押します。

18「プロファイル」画面で、[閉じる] を押します。

19「機器設定」画面で、[閉じる] を押します。

これで、スキャン To CIFS の設定は完了です。

設定の途中でエラーになったとき

エラーメッセージと対処方法

エラーメッセージ	原　因	対処方法
DNS 設定を確認してください <ストップ>キーを押してください	プロファイルの「対象 URL」の設定で、コンピューター名が間違っている	プロファイルの設定を確認して、コンピューター名を訂正してください。 設定情報シートの「C-1」の値です。
	ネットワーク上に、DNS サーバーが無い。	プロファイルの「対象 URL」の指定で、コンピューター名ではなく IP アドレスを指定してください。 6-2 をご覧ください。
	ユーザー名がドメインで管理されています。	ユーザー名に、ドメイン名を追加してください。 6-3 をご覧ください。
	Windows ファイアウォールで「ファイルとプリンタの共有」サービスが許可されていない。	[コントロールパネル] - [セキュリティーセンター] - [Windows ファイアウォール] を開き、[例外] タブに「ファイルとプリンタの共有」が存在し、チェックが入っていることを確認します。 「ファイルとプリンタの共有」を選択し、[編集] をクリックします。「TCP445」が存在し、チェックがはいっていることを確認します。
サーバ設定を確認してください <ストップ>キーを押してください	Windows ファイアウォールで、TCP445 が許可されていない。	
	ユーザー名がドメインで管理されています。	ユーザー名に、ドメイン名を追加してください。 6-3 をご覧ください。
サーバログイン失敗 <ストップ>キーを押してください	コンピューターまたは、プロファイルのパスワードが間違っている。	コンピューターに設定したパスワードと、プロファイルに設定したパスワードが一致しているか、確認してください。 設定情報シートの **「C-3」** の値です。
ファイル書き込み失敗 <ストップ>キーを押してください	コンピューターまたは、プロファイルのユーザー名が間違っている。	コンピューターに設定したユーザー名と、プロファイルに設定したユーザー名が一致しているか、確認してください。 設定情報シートの **「C-2」** の値です。
	共有フォルダーに書き込み許可が設定されていない。	フォルダーの共有設定を確認してください。
共有名を確認してください <ストップ>キーを押してください	プロファイルの URL 指定でフォルダーの共有名が間違っている。	共有フォルダーの名称と、プロファイルの設定とが一致しているか、確認してください。 設定情報シートの **「C-5」** の値です。
[メール送信完了] が表示されたが、E メールが届かない	E メールの宛先が間違っている。	宛先を確認して、再度送信してください。
	E メールに添付できるファイルの大きさが、ネットワークの管理者によって制限されている場合があります。	複数回に分けて送信してください。 読み取り解像度を下げてください。 モノクロで送信してください。
利用不可能なサーバです <ストップ>キーを押してください	スキャン To ネットワーク PC でデータの保存先として NAS をご利用の場合、まれに CIFS で正常に接続できない機器があります。	「CIFS 文字セット」を「UTF-16」から「Shift-JIS」に変更して再度お試しください。
ファイル名を変更してください <ストップ>キーを押してください	スキャン To ネットワーク PC でデータの保存先として FTP サーバーをご利用の場合、使用する文字コードの不一致のために正常に接続できない機器があります。	「ホスト側漢字コード」を変更して再度お試しください。 FTP サーバーとして Mac を使用している場合、「ホスト側漢字コード」を「UTF-8」に変更して再度お試しください。 また、スキャン To ネットワーク PC で FTP サーバーに保存したファイル名が文字化けする場合、「ホスト側漢字コード」の設定を変更して FTP サーバーと設定を合わせると文字化けが解消される場合があります。

DNS サーバーが無い場合の［対象 URL］の設定方法

ネットワークに DNS サーバーが無い場合、コンピューター名では、コンピューターを指定することができません。この場合は、コンピューターの IP アドレスを使用して、設定します。

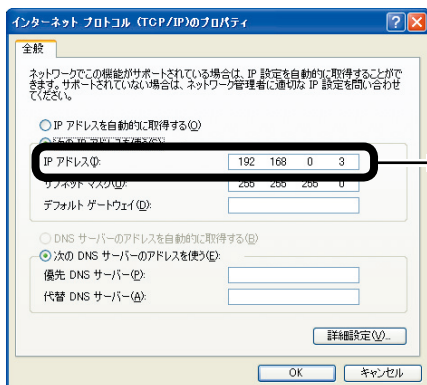
1 コンピューターの IP アドレスを調べます。

(1) ［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］を選択します。

(2) ［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。

(3) ［ローカルエリア接続］をクリックし、「ローカルエリア接続の状態」画面の「プロパティ」をクリックします。

(4) ［インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

(5) IP アドレスの値を、**「C-1」**に記入します。

参照

- IP アドレスが画面に表示されていない場合は、「■コマンドプロンプトで IP アドレスを確認する」に進んでください。

(6) ［キャンセル］をクリックしてウィンドウを閉じます。

2 本機にプロファイルを設定します。

(1) 「プロファイルを作成する」（P.122）の手順に従って、設定します。

このとき、手順 7 で入力する値は、この例の場合は、次のようになります。

¥¥ + 192.168.0.3 + ¥ + 販売部門

(¥ 及び数字は半角です。［記号］-［半角］-［英数］を押してから入力します。)

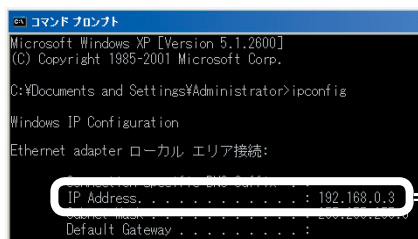
■コマンドプロンプトで IP アドレスを確認する

1 コンピューターの IP アドレスを調べます。

(1) ［キャンセル］をクリックしてウィンドウを閉じます。

(2) ［スタート］-［すべてのプログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］を選択します。

(3) 「ipconfig」と入力し、エンターキーを押します。

(4) IP Address の値を**「C-1」**に記入します。

(5) 「exit」と入力し、コマンドプロンプトを終了します。

2 本機にプロファイルを設定します。

(1) 「プロファイルを作成する」（P.122）の手順に従って、設定します。

このとき、手順 7 で入力する値は、この例の場合は、次のようになります。

¥¥ + 192.168.0.3 + ¥ + 販売部門

（¥ 及び数字は半角です。［記号］ - ［半角］ - ［英数］を押してから入力します。）

ユーザー名がドメインで管理されている場合の設定方法

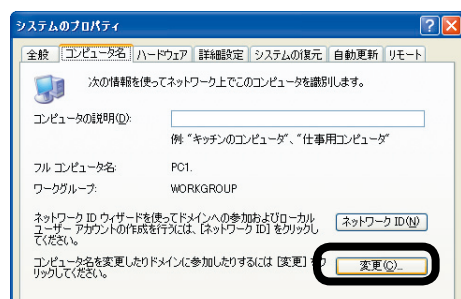
本機の LCD 画面に、[DNS 設定を確認してください]、[サーバ設定を確認してください] と表示しているときは、ネットワークがドメインで管理されている場合があります。

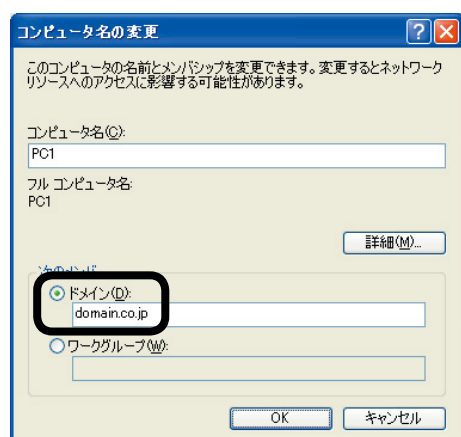
ネットワークの管理者に確認し、ネットワークがドメインで管理されている場合は、以下の手順で本機を設定します。

1 ドメイン名を確認します。

(1) [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] を選択します。

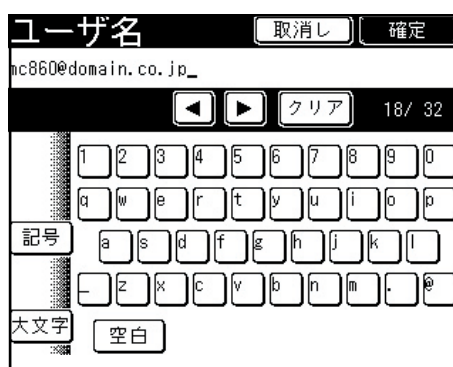
(2) [システムとセキュリティ] をクリックし、[システム] を選択します。

(3) [設定の変更] をクリックし、[変更] を選択します。

(4) ドメイン名を確認します。

図の例では、domain.co.jp がドメイン名です。

2 本機を設定します。

(1) 「プロファイルを作成する」(P.122) の手順に従って、設定します。

このとき、手順 9 で入力する値は、この例の場合は、次のようになります。

mc862 + @ + domain.co.jp

お使いのネットワーク環境によっては、エラーが解消されない場合があります。その場合は、「■ Web ページで NetBIOS ドメイン名を設定する」に進んでください。

■ Web ページで NetBIOS ドメイン名を設定する

ここでは以下の環境を例に説明します。

装置名：MC862

装置の IP アドレス：192.168.0.2

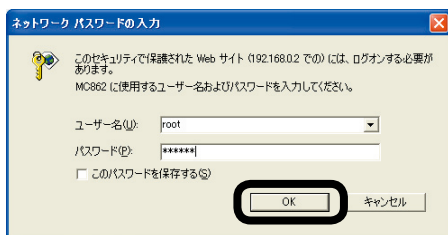
MAC アドレス：00:80:87:84:9C:9B

Web ブラウザー：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

1 Web ブラウザーを起動します。

2 [アドレス] に「http:// 装置の IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

3 ［管理者のログイン］をクリックします。

4 ［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に設定情報シートの **「G-1」** の値を入力し、［OK］をクリックします。

5 ［スキップ］をクリックします。

6 ［管理者設定］をクリックします。

7 ［ネットワーク管理］-［NBT/NetBEUI］をクリックします。

8 ［ワークグループ名］に手順 1 で確認したドメイン名の最初のピリオドまでを大文字で入力します。

この例の場合は、次のようになります。

DOMAIN

9 ［送信］をクリックします。

本機の設定が送信されます。

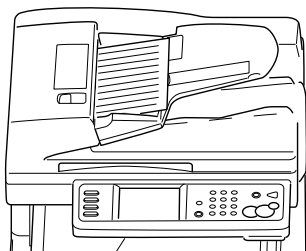
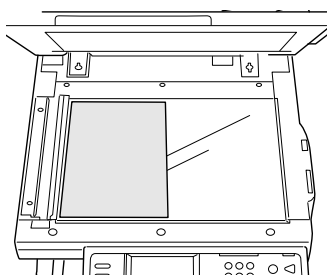
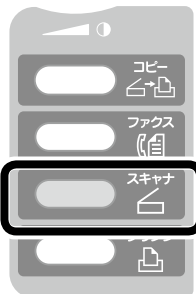
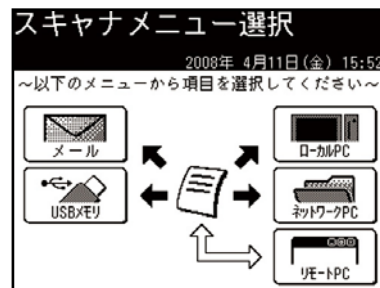
10 ユーザ名から @ + ドメイン名を削除します。

原稿をスキャンする

1 原稿をセットします。

参照

- 詳しい手順は、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

- 自動原稿送り装置

- ガラス面

2 <スキャナ>キーを押します。

3 スキャン方法を選択します。

参照

- ［メール］を選択したときは、「スキャンしたデータをメールで送信する（スキャン To メール）」(P.133) をご覧ください。
- ［USB メモリ］を選択したときは、「スキャンしたデータを USB メモリーに保存する（スキャン To USB メモリ）」(P.134) をご覧ください。
- ［ローカル PC］を選択したときは、「スキャンしたデータを USB で繋いだコンピューターに保存する（スキャン To ローカル PC)」(P.135) をご覧ください。
- ［ネットワーク PC］を選択したときは、「スキャンしたデータをネットワーク上のコンピューターに保存する（スキャン To ネットワーク PC)」(P.136) をご覧ください。
- ［リモート PC］を選択したときは、「コンピューターのアプリケーションを使用して原稿をスキャンする（スキャン To リモート PC)」(P.137) をご覧ください。

こんなことができます
1 準備 使い方 プリントする
2 コピーする
3 準備 使い方 ファクスする
4 準備 使い方 スキャンする
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

スキャンしたデータをメールで送信する（スキャン To メール）

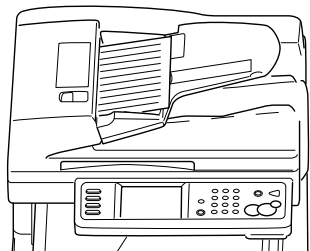
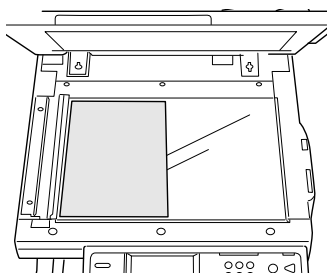
■操作の前に・・・・

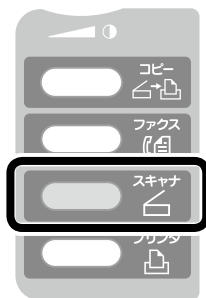
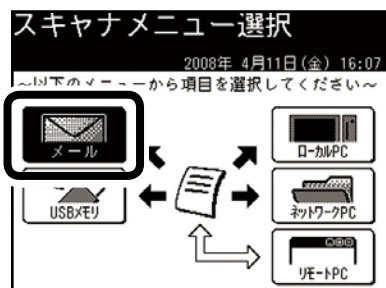
本機をネットワークに接続しておきます。詳しい手順は、「セットアップする」（P.16）手順 1 〜 3 をご覧ください。

1 原稿をセットします。

● 自動原稿送り装置

● ガラス面

参照

● セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

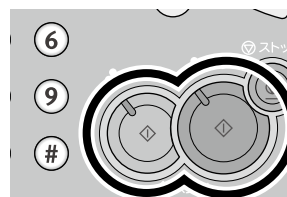
2 <スキャナ>キーを押します。

3 ［メール］を押します。

4 ［宛先指定］を押し、相手先を指定します。

メモ

● 相手先の指定方法は以下の通りです。

- アドレス帳：E メールアドレス帳
- 直接入力：相手先のメールアドレスを直接入力します
- グループ送信：E メールアドレス帳からグループを選択し、グループに登録されている複数の E メールアドレス宛に送信します。
- メール送信履歴：過去にメールを送信した E メールアドレスの履歴（10 件まで）から選択します。
- LDAP：ネットワーク上の LDAP サーバーに登録されている E メールアドレスから選択します。

5 スキャンする前に宛先を確認したいときは、［確認］を押します。

6 <カラースタート>キーまたは、<モノクロスタート>キーを押します。

スキャンしたデータを USB メモリーに保存する(スキャン To USB メモリ)

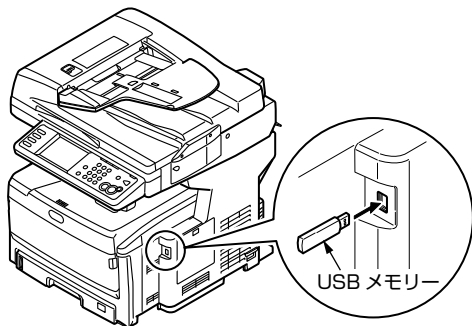
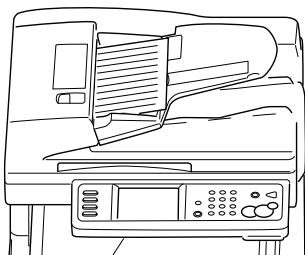
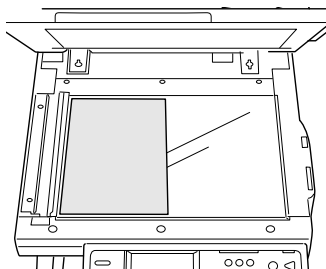
スキャナーで読み込んだデータを USB メモリーに保存します。

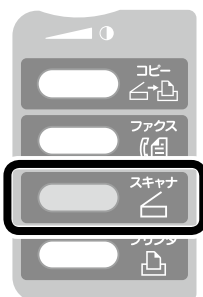
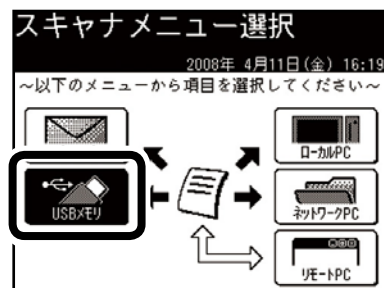
1 USB メモリーを本機に取り付けます。

2 原稿をセットします。

- 自動原稿送り装置

- ガラス面

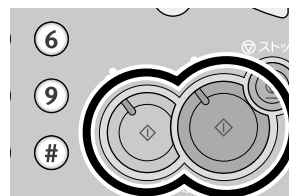
参照

- セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

3 <スキャナ>キーを押します。

4 [USB メモリ] を押します。

5 操作パネルに [スキャンできます] と表示していることを確認します。

6 画質や、濃度などを変更したいときは、ご愛用スイッチを押し、変更します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、スキャンしたデータのファイル名は『Image』となっています。
- 応用機能を使ってスキャンする方法は便利な機能 / 本体の設定編「いろいろなスキャンのしかた」をご覧ください。

7 <カラースタート>キーまたは、<モノクロスタート>キーを押します。

8 操作パネルに「保存完了　USB メモリは取り外し可能です」と表示したら、USB メモリーを外します。

スキャンしたデータを USB で繋いだコンピューターに保存する（スキャン To ローカル PC）

スキャンしたデータを、USB ケーブルで接続したコンピューターに保存します。

■操作の前に・・・・

- 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続しておきます。
- コンピューターに「ActKey」とスキャナードライバーをインストールしておきます。

参照

- スキャナードライバーは、プリンタードライバーと同時に自動的にインストールされます。詳しい手順は、「USB 経由でセットアップする（Windows）」（P.20）をご覧ください。
- 「ActKey」は「ソフトウェア　DVD-ROM」からインストールします。詳しい手順は、便利な機能 / 本体の設定編「ActKey アプリケーションを使用する」をご覧ください。

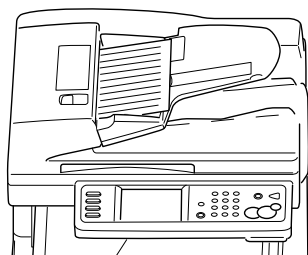
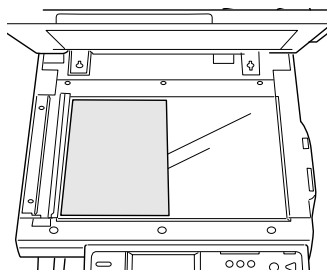
注

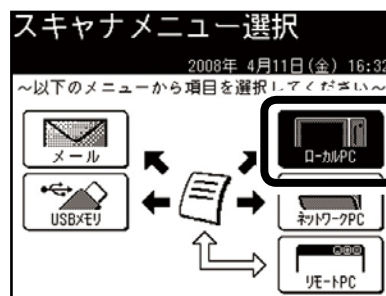
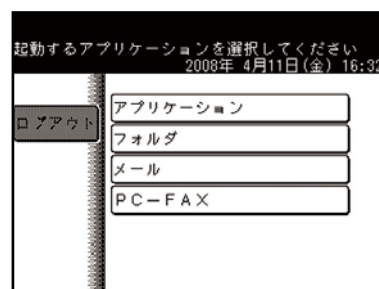
- Windows Server 2008 の場合、コンピューターにインストールしたスキャナーのプロパティにあるイベントに対する動作として、必ず［指定したプログラムを起動する］で［ActKey］を選択してください。
詳しい手順は、便利な機能 / 本体の設定編「スキャン To ローカル PC の使用時に ActKey を起動する」をご覧ください。

1 原稿をセットします。

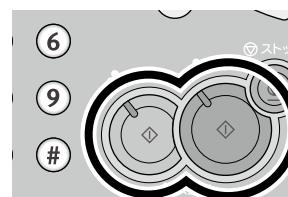
参照

- 原稿セットの詳しい手順はセットアップ編「原稿について」をご覧ください。

- 自動原稿送り装置

- ガラス面

2 ＜スキャナ＞キーを押します。

3 ［ローカル PC］を押します。

4 該当する出力先を押します。

メモ

- アプリケーション：画像編集アプリケーションを起動して、装置で読み取った画像を編集します。
- フォルダ：装置で読み取った画像を、ユーザーのコンピューター上に保存します。
- メール：メールクライアントを起動して、装置で読み取った画像を添付します。
- PC-FAX：Windows の Fax サービスを使用して、装置で読み取った画像をコンピューターのモデムから送信します。

5 ＜カラースタート＞キーまたは、＜モノクロスタート＞キーを押します。

6 ActKey が起動し、手順４で指定した処理が実行されます。

メモ

- PC-FAX を選択したときは、コンピューター上に［FAX 送信ウィザード］が起動するので、画面に従って進みます。

こんなことができます
1 準備 プリントする 使い方
2 コピーする
3 準備 ファクスする 使い方
4 準備 スキャンする 使い方
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

スキャンしたデータをネットワーク上のコンピューターに保存する（スキャン To ネットワーク PC）

スキャンしたデータをネットワーク上のコンピューターに保存します。

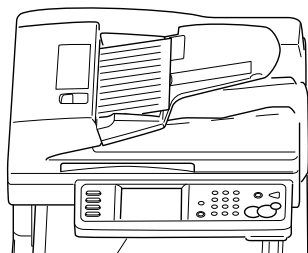
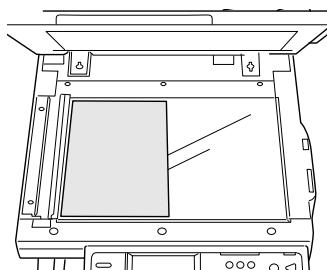
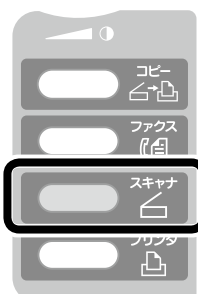
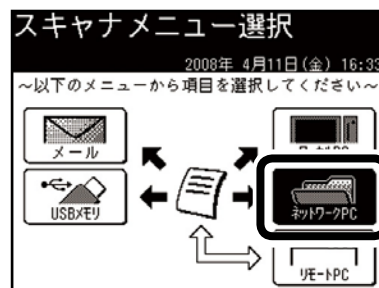
■操作の前に・・・・

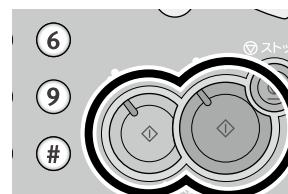
- 本機とコンピューターをネットワーク接続しておきます。
- あらかじめプロファイルを作成しておく必要があります。
  プロファイルの作成方法は、「プロファイルを作成する」（P.122）をご覧ください。

1 原稿をセットします。

参照

- 詳しい手順は、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

- 自動原稿送り装置

- ガラス面

2 ＜スキャナ＞キーを押します。

3 ［ネットワーク PC］を押します。

4 プロファイルを選択します。

5 ＜カラースタート＞キーまたは、＜モノクロスタート＞キーを押します。

コンピューターのアプリケーションを使用して原稿をスキャンする（スキャン To リモート PC）

コンピューター上で Twain または WIA に対応したアプリケーションを使用して、スキャンすることができます。

ここでは ActKey アプリケーションを使った場合を例にしています。

■操作の前に・・・・

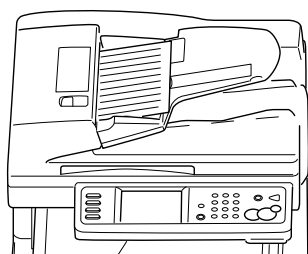
- 本機とコンピューターを USB 接続しておきます。
- コンピューターにスキャナードライバーと ActKey アプリケーションをインストールしておく必要があります。

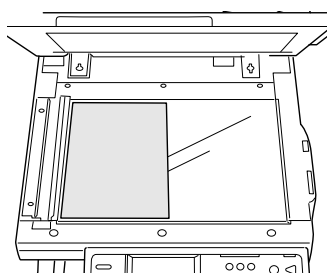
参照

- スキャナードライバーは、プリンタードライバーと同時に自動的にインストールされます。詳しい手順は、「USB 経由でセットアップする（Windows）」（P.20）をご覧ください。
- 「ActKey」は「ソフトウェア　DVD-ROM」からインストールします。詳しい手順は、便利な機能／本体の設定編「ActKey アプリケーションを使用する」をご覧ください。

1 コンピューター上で、ActKey アプリケーションを起動します。

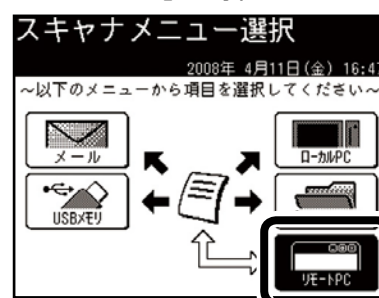
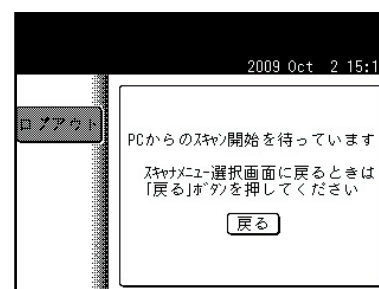
2 原稿をセットします。

- 自動原稿送り装置

- ガラス面

参照

- 詳しい手順は、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

3 <スキャナ>キーを押します。

4

(1) ［リモート PC］を押します。

(2) 操作パネルが下のようになります。

5 コンピューター上の ActKey のボタンをクリックします。
スキャンを開始します。

こんなことができます
1 準備 使い方 プリントする
2 コピーする
3 準備 使い方 ファクスする
4 準備 使い方 スキャンする
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

Eメールアドレスを登録・編集する（アドレス帳）

Eメールアドレスの登録

Eメールアドレスについて

よく通信する相手先を、500カ所まで登録することができます。

Eメールアドレス帳には、相手先のEメールや相手先名のほかに、読み仮名やグループ番号も登録しておくことができます。

■操作の前に・・・・

Eメールアドレス帳には以下の内容を登録できます。あらかじめ登録内容を準備してください。

- 相手先メールアドレス：500件まで登録できます。
- 相手先名：半角16（全角8）文字まで登録できます。
- 読み仮名：宛先表で索引を使用するとき、キーワードとなる文字です。カタカナ、英数にて半角8文字を登録できます。
- グループ番号：Eメールアドレスをグループに分ける場合に登録します。グループ単位で送信したり、グループ単位で検索したりすることができます。

参照

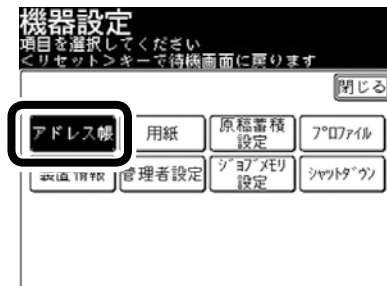
- グループに名称を付けることができます。「グループEメールアドレスを登録/変更する」（P.144）を参照してください。

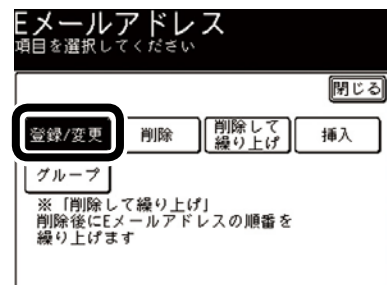
Eメールアドレスを登録/変更する

音声案内

Eメールアドレスにメールアドレスや相手先名を登録する手順を説明します。変更する場合は、それぞれの手順にて上書きまたは消去して入力し直します。

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［Eメールアドレス］を押します。

4 ［登録/変更］を押します。

5 登録したいメールアドレス番号を押します。

メモ

- 画面を切り替えるには、◄ ► キーを押します。

6 E メールアドレスを登録します。

(1) 相手先のメールアドレスを入力します。

(2) ［確定］を押します。

メモ

- 初めて登録する場合は、メールアドレスの入力画面が開きます。メールアドレスを変更する場合は、［メールアドレス］を押し、入力画面を開いて入力し直します。

7 相手先名を登録します。

(1) ［名前］を押します。

(2) 相手先名を入力します。

(3) ［確定］を押します。

メモ

- 半角文字では 16 文字、全角文字では 8 文字まで登録できます。

参照

- 文字入力についてはセットアップ編「文字を入力する」を参照してください。

8 読み仮名を登録します。

(1) ［読み仮名］を押します。

メモ

- 相手先名を入力すると、読み仮名は自動的に入力されます。変更しない場合は手順 9 に進みます。

(2) 読み仮名を入力します。

(3) ［確定］を押します。

メモ

- 読み仮名に使用できる文字は、半角のカタカナ･英数字です。8 文字まで登録できます。

参照

- 文字入力についてはセットアップ編「文字を入力する」を参照してください。

9 グループを利用する場合は、グループ番号を入力します。

(1) ［グループ番号］を押します。

(2) グループ番号を選択します。

(3) ［確定］を押します。

メモ

● 複数のグループ（最大 32 個）を登録することができます。

10 登録内容の一覧が表示されます。

11 続けて他のメールアドレスを登録する場合は、［確定］を押し、手順 5 から操作を繰り返します。

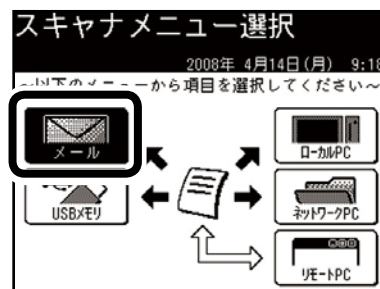
メモ

● <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

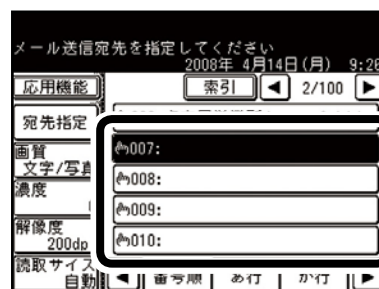
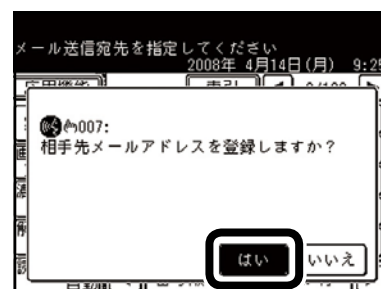
未登録 E メールアドレス番号に直接登録する

音声案内

未登録の E メールアドレス番号を押すと、自動的に登録操作になります。

1 <スキャナ>キーを押し、スキャナメニュー選択画面にします。

2 ［メール］を押します。

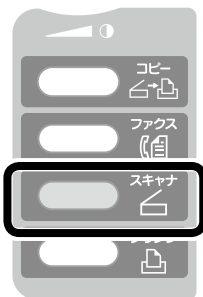
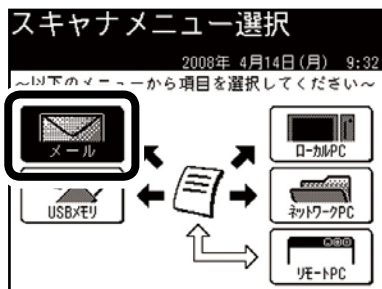
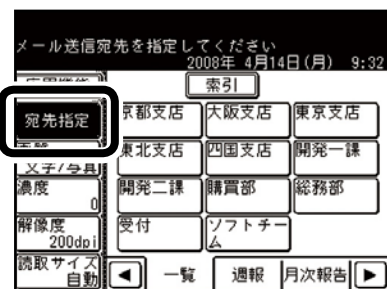
3 ［番号順］タブを押します。

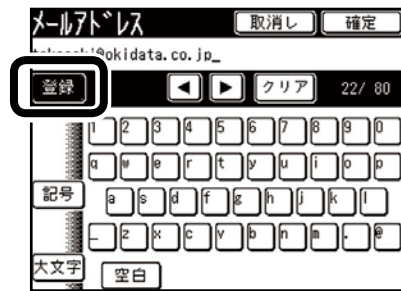
4 未登録の E メールアドレス番号を押します。

5 登録する場合は［はい］を押します。

6 選択したEメールアドレス番号の登録手順になります。以降の操作は「Eメールアドレスを登録／変更する」（P.138）手順6～11と同じです。

直接入力したメールアドレスを登録する

音声案内

直接入力したメールアドレスを登録することができます。

1 ＜スキャナ＞キーを押し、スキャナメニュー選択画面にします。

2 ［メール］を押します。

3 ［宛先指定］を押します。

4 ［直接入力］を押します。

5 メールアドレスを入力し、［登録］を押します。

6 登録する場合は［はい］を押します。

7 メールアドレスの登録手順になります。以降の操作は「Eメールアドレスを登録／変更する」（P.138）手順6～11と同じです。

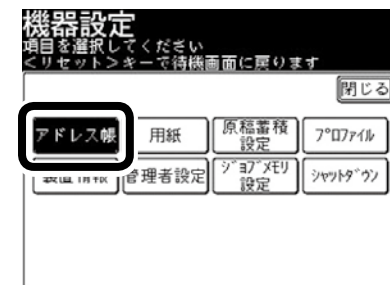
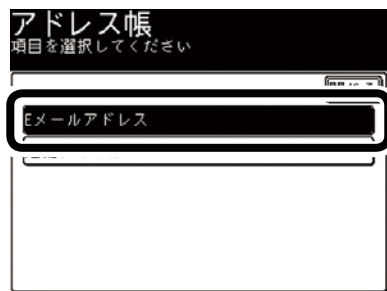
Eメールアドレス番号をメールアドレス番号の途中に割り込ませる

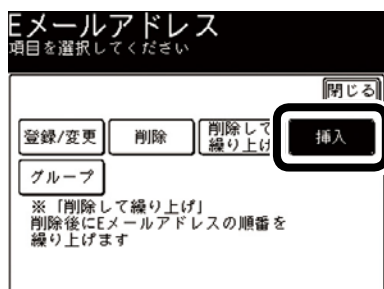
音声案内

新しい登録先をEメールアドレス番号の途中に割り込ませることができます。ただし、Eメールアドレス番号の500が登録されている場合、この操作はできません。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

こんなことができます
1 準備 使い方 プリントする
2 コピーする
3 準備 使い方 ファクスする
4 準備 使い方 スキャンする
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

3 ［Eメールアドレス］を押します。

4 ［挿入］を押します。

5 Eメールを挿入する位置のEメールアドレス番号を選択します。

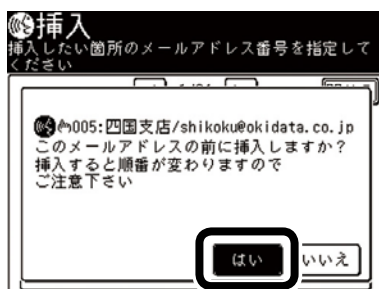
メモ

- 例えば、Eメールアドレス番号005に新しいEメールアドレスを挿入したい場合はEメールアドレス番号005を選択します。

注

- メールアドレス番号500は選択できません。
- 自動配信で配信先として登録されている宛先は選択できません。

6 挿入する場合は［はい］を押します。

メモ

- ［いいえ］を押した場合は挿入されず、手順5に戻ります。

7 選択したEメールアドレス番号の登録手順になります。以降の操作は「Eメールアドレスを登録 / 変更する」（P.138）手順6～11と同じです。

メモ

- 選択したEメールアドレス番号以降の番号が1つ後ろにずれます。

8 続けて挿入を行うときは、手順5～7を繰り返します。

メモ

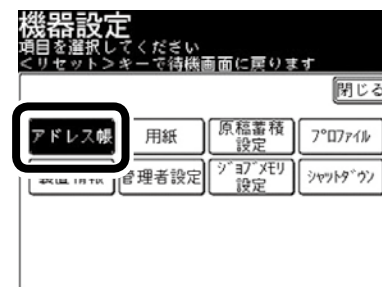
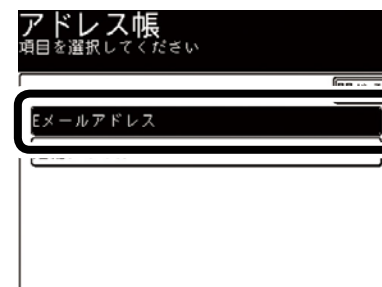
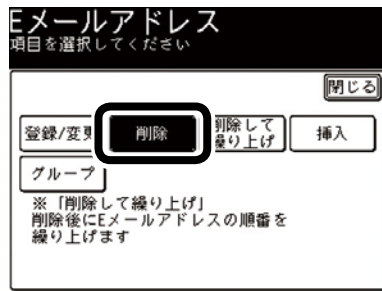
- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

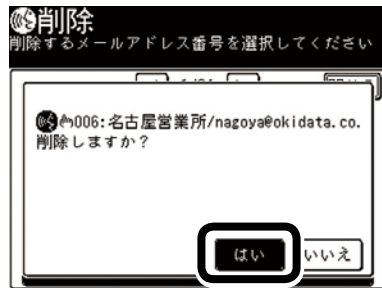
Eメールアドレス番号を削除する

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［Eメールアドレス］を押します。

こんなことができます
1 準備 使い方 プリントする
2 コピーする
3 準備 使い方 ファクスする
4 準備 使い方 スキャンする
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

4 ［削除］を押します。

5 削除したいメールアドレスを選択します。

6 削除する場合は［はい］を押します。

メモ

- ［いいえ］を押した場合は削除されず、手順５に戻ります。

7 続けて削除を行うときは、手順５、６を繰り返します。

メモ

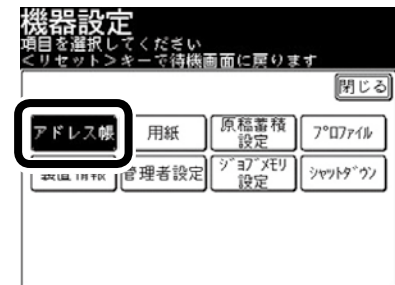
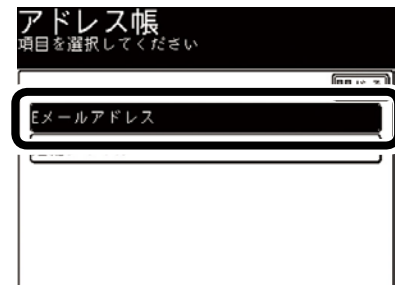
- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

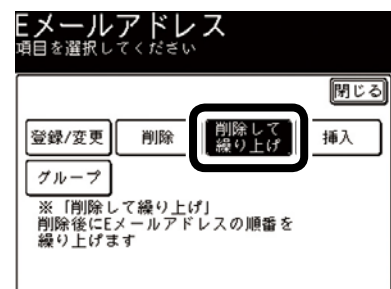
Eメールアドレス番号を削除して番号をつめる

音声案内

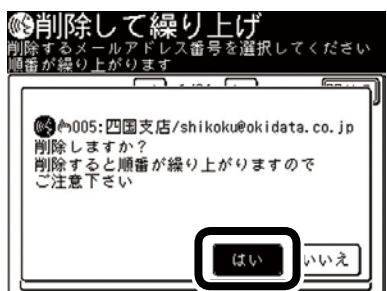
登録されているEメールアドレス番号を削除して、それ以降に登録されているEメールアドレス番号を１つずつ前につめることができます。

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［Eメールアドレス］を押します。

4 ［削除して繰り上げ］を押します。

5 削除したいEメールアドレス番号を選択します。

6 削除する場合は［はい］を押します。

メモ

- ［いいえ］を押した場合は削除されず、手順5に戻ります。

7 選択したEメールアドレス番号が削除され、それ以降に登録されているEメールアドレス番号の番号が1つ前につまります。

注

- Eメールアドレス番号500を選択した場合は削除のみ行います。

8 続けて削除を行うときは、手順5～7を繰り返します。

メモ

- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

グループEメールアドレスの登録

グループEメールアドレスについて

多数の相手に送信するとき、Eメールアドレスに登録されている相手先へグループ単位で送信することができます。

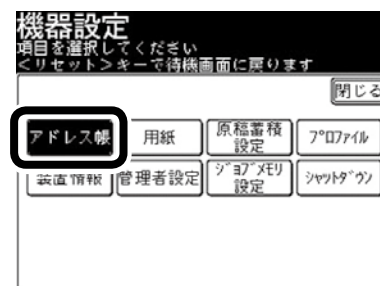
■操作の前に・・・・

グループ番号：01～32まで登録できます。

グループEメールアドレスを登録/変更する

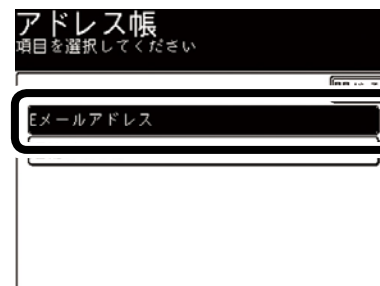
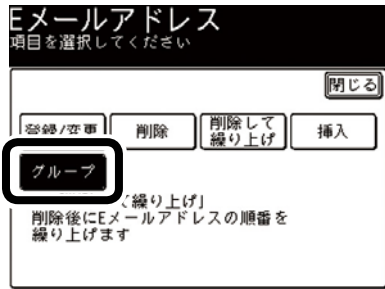
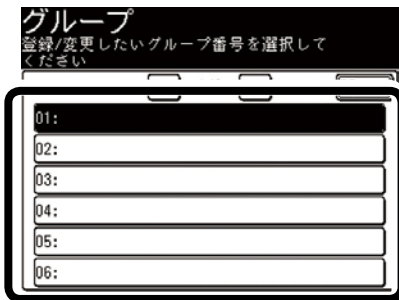
グループEメールアドレスを登録する手順を説明します。変更する場合は、それぞれの手順にて上書きまたは消去して入力し直します。

1 <機器設定>キーを押します。

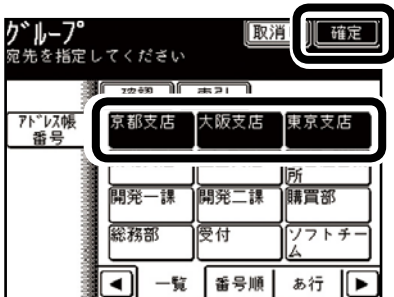
2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［Eメールアドレス］を押します。

4 ［グループ］を押します。

5 登録したいグループ No. を押します。

メモ

- 画面を切り替えるには、◀ ▶ キーを押します。

6 相手先を指定し、［確定］を押します。

メモ

- テンキーでの入力はできません。

参照

- 相手先の指定方法は「スキャンしたデータをメールで送信する（スキャン To メール）」（P.133）を参照してください。

7 グループ名を登録します。

(1) ［名称］を押します。

メモ

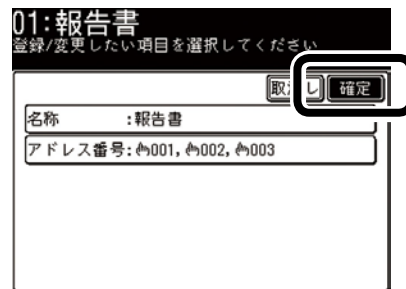
- 半角文字では 16 文字、全角文字では 8 文字まで登録できます。

参照

- 文字入力についてはセットアップ編「文字を入力する」を参照してください。

(2) グループ名を入力します。

(3) ［確定］を押します。

8 登録内容が表示されているので内容を確認して［確定］を押します。

9 グループの一覧が表示されます。

10 続けて他のグループダイヤルを登録する場合は、［閉じる］を押し、手順 5 から操作を繰り返します。

メモ

- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

E メールアドレス帳 / 電話帳の一括登録

Configuration Tool を使用して、パソコン上で作成した E メールアドレス帳や電話帳 (短縮ダイヤル) を、一括して本機に登録することができます。

Configuration Tool のセットアップについては、ユーティリティーソフトウェア編「Configuration Tool」をご覧ください。

ここでは、E メールアドレス帳を例に説明します。

■ 登録の流れ

● 本機に E メールアドレスを、1 人分だけ、登録します。

↓

● 本機から E メールアドレス帳を CSV ファイルに書き出します。

↓

● 書き出した CSV ファイルを Microsoft-Excel で編集し、アドレスを追加します。

↓

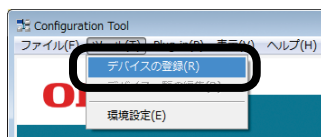
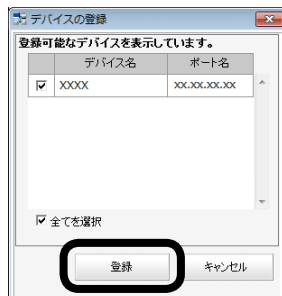
● 編集した CSV ファイルを本機へ読み込みます。

CSV ファイルを書き出す

1 Configuration Tool を起動します。

[スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [Configuration Tool] - [Configuration Tool] を選択します。

Configuration Tool に本機が登録されている場合は、手順 5 へ進みます。

2 「ツール」メニューの「デバイスの登録」を選択し、本機を検索します。

3 本機にチェックをつけ、［登録］をクリックします。

4 「デバイスの登録」画面を閉じます。

5 「登録デバイス一覧」から本機を選択し、[User Setting］をクリックします。

6 ［E メールアドレスマネージャー］をクリックします。

（電話帳を編集する場合は、［短縮ダイヤルマネージャー］をクリックします。）

7 「管理者のパスワード」に、設定情報シートの「G-1」の値を入力し、[OK] をクリックします。

8 [新規作成 (E メールアドレス)] アイコンをクリックします。

9 「名前」に設定情報シートの **「E-11」** の値を、「メールアドレス」に **「E-12」** の値を入力します。

「読み仮名」を入力し、[OK] をクリックします。

10 [ファイルへエクスポート] アイコンをクリックし、E メールアドレス帳を CSV ファイルとして書き出します。

CSV ファイルにアドレスを追加する

1 書き出した CSV ファイルを、Microsoft-Excel で開きます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	RecordID	EntryNumber	Name	Pinyin	EmailAddress	Members	
2	#000	1	利用者		user@test.co.jp		
3							

! 注

● CSV ファイルを開いたときに既に入力されている項目名などを変更しないでください。

2 CSV ファイルに登録したい内容を入力します。

A（RecordID）列には、必ず先頭に # を付けて #001, #002,・・・と続けて登録する分だけ追加します。

B（EntryNumber）列には、2, 3,・・・と登録する分だけ追加します。

C（Name）列には、宛先名を入力してください。

! 注

● 宛先名は、E メールアドレス帳では、全角で 8 文字以内、電話帳では、全角で 12 文字以内です。

D（Pinyin）列には、読み仮名を半角カタカナで 8 文字以内で入力します。

E（EmailAddress）列に E メールアドレス（電話帳の場合は Fax の電話番号）を入力してください。

メモ

● 電話番号の最初の 0 が削除されてしまう場合、表示形式で文字列を指定し、半角で入力してください。

F（Members）列は入力不要です。

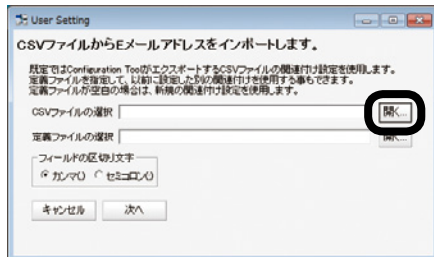
3 すべての入力が終わったら、ファイルを CSV 形式で保存し、Microsoft-Excel を終了します。

! 注

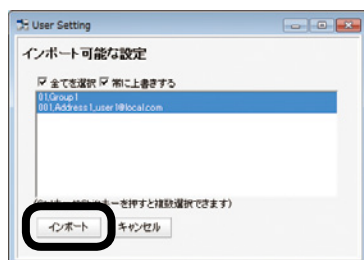
● 本機に登録可能な件数は、E メールアドレス帳、電話帳とも、それぞれ 500 件までです。
それ以上の件数が入力されたファイルは、4-3 で説明する、ファイルのインポートができません。

CSV ファイルをインポートする

1 E メールアドレスマネージャーの ［ファイルからインポート］ アイコンをクリックします。

2 [CSV ファイルの選択] から [開く] をクリックします。

3 インポートしたいファイルを選択し、[開く] をクリックします。

4 [次へ] をクリックします。

5 インポートする E メールアドレスを選択して、［インポート］ をクリックします。

注

- 文字数が制限を越えていたり、Excel を終了していない場合は、「ファイルをインポートできません」と表示されます。

6 [デバイスへ保存] アイコンをクリックします。

7 Configuration Tool を終了します。

これで、E メールアドレス帳の登録は完了です。

5

本機で利用できるユーティリティーソフトウェア

便利なユーティリティーソフトウェア

● Windows 用 /Machintosh 用のユーティリティーが利用できます

かぎ括弧がついている項目は、便利な機能 / 本体の設定編を参照してください。

こんなことができます
1 準備 使い方 プリントする
2 コピーする
3 準備 使い方 ファクスする
4 準備 使い方 スキャンする
5 本機で利用できるユーティリティーソフトウェア
索引

ユーティリティーの一覧

Windows/Macintosh 共通ユーティリティー

ユーティリティー名	説　明	動作環境	参照先
PS ハーフトーン調整ユーティリティ	各色の CMYK 色とハーフトーン濃度を調整することで、画像の濃度を調整できます。	● Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003 ● Mac OS X 10.3.9 ～ 10.7	ユーティリティーソフトウェア編
カラー調整ユーティリティ	カラーマッチングを調整します。 パレットカラーの出力色の調整や、ガンマ値や原色の色相･色彩を調整することによって出力色の全体傾向を変更することができます。		
Web ブラウザー	本機に表示されているメッセージを確認したり、ネットワークの設定の他、各種設定を行うことができます。	Microsoft Internet Explorer Ver.5.5 以上または Netscape Navigator Ver.6.0 以上、または、Safari がインストールされ、TCP/IP で動作しているコンピューター	便利な機能 / 本体の設定編
プリントジョブアカウンティングクライアント	ユーザー名とユーザー ID をプリンタードライバーに設定します。	● Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003 ● Mac OS X 10.3.9 ～ 10.7	ユーティリティーソフトウェア編

Windows ユーティリティー

ユーティリティー名	説　明	動作環境	参照先
Configuration Tool	本機のアクセス制御設定とメニューの変更、E メールアドレス、短縮ダイヤル番号、プロファイル、PIN 番号、自動配信設定ができます。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003	ユーティリティーソフトウェア編
色見本印刷ユーティリティ	色見本を印刷します。このユーティリティーでは、印刷する色を確認できます。このユーティリティーは、プリンタードライバーをインストールすると自動的にインストールされます。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003	ユーティリティーソフトウェア編
OKI LPR ユーティリティ	ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、本機の状態を確認することができます。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003 TCP/IP で動作しているコンピューター	ユーティリティーソフトウェア編
Network Extension	プリンタードライバーから本機の設定項目を確認したり、オプション構成の設定ができます。 ネットワーク接続でプリンタードライバーをインストールした時は、自動的にインストールされます。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003 TCP/IP で動作しているコンピューター	ユーティリティーソフトウェア編
PrintSuperVision MultiPlatform Edition ※ 1	ネットワークに接続される本機やプリンターを管理する Web ベースのアプリケーションです。複数の装置の設定情報や消耗品情報を確認できます。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003 詳しくは沖データホームページをご覧ください。	−
Web Driver Installer ※ 1	ネットワーク接続される本機やプリンターを表示し、プリンタードライバーインストールモジュールをダウンロードし、クライアントのコンピューターにインストールする Web アプリケーションです。	Windows Server 2003/ Windows XP Professional 日本語版 詳しくは、沖データホームページをご覧ください。	−
TELNET	本機のネットワークの設定をすることができます。		ユーティリティーソフトウェア編
PDF Print Direct	アプリケーションを起動せずに、PDF ファイルを印刷することができます。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003	ユーティリティーソフトウェア編
プリンタ表示言語セットアップ	操作パネルやメニューの表示言語を変更できます。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003	ユーティリティーソフトウェア編
ActKey	読み取った画像を、指定したアプリケーションへ転送したいとき、電子メールクライアントソフトウェアのメールに添付したいとき、コンピューター内の指定したフォルダーへ保存するとき、PC-Fax ソフトウェアでファクス送信を行いたいときに使用します。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003	便利な機能 / 本体の設定編

※ 1　ソフトウェア DVD-ROM には入っていません。沖データホームページよりダウンロードしてください。

ユーティリティー名	説　明	動作環境	参照先
プリントジョブアカウンティング Lite ※ 1	ジョブの情報をログとして取得し、集計を行うことができます。	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003	ユーティリティーソフトウェア編

※ 1　ソフトウェア DVD-ROM には入っていません。沖データホームページよりダウンロードしてください。

Macintosh ユーティリティー

ユーティリティー名	説　明	動作環境	参照先
プロファイルアシスタント　※ 1	本機のハードディスク内に ICC プロファイルを登録・管理します。ICC プロファイルはドライバーの［グラフィックプロ］モードのカラーマッチングに使用します。	Mac OS X 10.3.9 ～ 10.7	ユーティリティーソフトウェア編
パネル言語セットアップ	操作パネルやメニューの表示言語を変更できます。	Mac OS X 10.3.9 ～ 10.7	ユーティリティーソフトウェア編
NIC 設定ツール	ネットワークの設定ができます。	Mac OS X 10.3.9 ～ 10.7	ユーティリティーソフトウェア編

※ 1　ソフトウェア DVD-ROM には入っていません。沖データホームページよりダウンロードしてください。

ユーティリティーをインストールする

Windows の場合

以下の手順で、お使いになりたいユーティリティーソフトウェアをインストールします。

1 「ソフトウェア DVD-ROM」をセットします。

2 [自動再生] が表示されたら、[Setup.exe の実行] をクリックします。

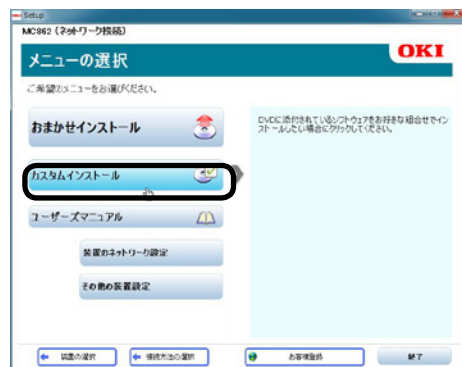
3 [ユーザアカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。

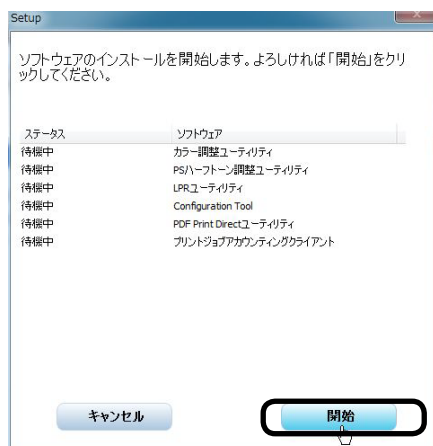
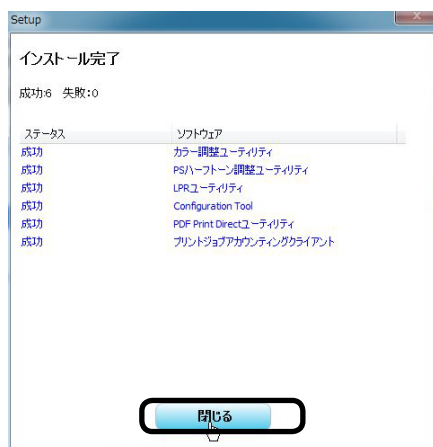
4 「使用許諾契約」をよく読み、「同意する」をクリックします。

5 環境についてのアドバイスを読み、「次に進む」をクリックします。

6 利用する装置を選択し、「次に進む」をクリックします。

7 装置の接続方法を選択し、「次に進む」をクリックします。（本例ではネットワーク接続を選択します。）

8 「カスタムインストール」をクリックします。

9 インストールしたいソフトウェアにチェックを付け、「インストール」をクリックします。

10 ソフトウェアを確認し、「開始」をクリックします。

11 インストールが完了したら「閉じる」をクリックします。

12 メニュー画面で「終了」をクリックすると終了します。

Macintosh の場合

ドラッグ＆ドロップで任意の場所にコピーします。「ソフトウェア DVD-ROM」から直接起動することもできます。

1 「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターに挿入します。

2 [OKI] > [Utilities] フォルダーをダブルクリックします。

3 インストールしたいユーティリティーのフォルダーをドラッグ＆ドロップで任意の場所にコピーします。

メモ

- 起動するにはフォルダー内のユーティリティーアイコンをダブルクリックします。

アルファベット

C

D

E

I

M

P

S

U

W

かな

あ

い

え

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

め

ゆ

よ

り

る

お客様相談センター

0120-654-632

(携帯電話からは 0570-055-654)

ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間　9:00〜20:00 月曜日〜金曜日
9:00〜17:00 土曜日
（ただし 祝日、年末年始等を除く）

発行日　2012年　8月
44143502EE Rev1